

お知らせ

資料提供先

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成27年度 中国地方整備局関係予算概要

事業実施箇所の当初配分(県別)については、国土交通省のホームページ
<http://www.mlit.go.jp/policy/file000004.html> をご覧下さい

中国地方整備局予算概要については、中国地方整備局のホームページ
<http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/yosan/h27.htm> をご覧下さい

電話でのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

TEL082-221-9231(代表)

(港湾空港関係)

TEL082-511-3900(代表)

【予算一般】	会 計 課 長	片 桐	元 宣	(直通:082-511-6041)
【総括】	企 画 課 長	祢 津	知 広	(直通:082-511-6111)
【都市・住宅】	都市・住宅整備課長	島 村	泰 彰	(直通:082-511-6191)
【河川・直轄】	河川計画課長	榎 谷	有 吾	(直通:082-511-6231)
【河川・補助】	地域河川課長	湯 浅	文 司	(直通:082-511-6241)
【道路・直轄】	道路計画課長	岡 本	雅 之	(直通:082-511-6301)
【道路・補助】	地域道路課長	田 中	敏 彦	(直通:082-511-6311)
【港 湾】	港湾計画課長	嘉 屋	健 二	(直通:082-511-3905)
【空 港】	港湾空港整備・補償課長	佐 藤	良 治	(直通:082-511-3907)
【営 繕】	計 画 課 長	安 齊	真 吾	(直通:082-511-6381)
【交付金】	広域計画課長	和 田	昌 也	(直通:082-511-6131)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官	平 川	雅 文
環境調整官	田 尾	和 也

目 次

I. 予算の全体概要

1. 配分方針	1
2. 予算の規模	2
3. 予算の概要	2
4. 平成27年度中国地方整備局予算総括表	
(1) 全体総括表	7
(2) 補助事業県別内訳表	8

II. 直轄・補助事業の概要 ※社会資本総合整備事業を含まない

1. 平成27年度主な完成予定事業一覧	9
2. 主要事業箇所	10
○主要事業箇所【県別】	11
○事業別一覧表	16
○トピックス	18

III. 社会資本総合整備事業の概要

1. 社会資本総合整備事業	95
2. 予算の概要	95
○都道府県・政令市が管理する道路の 平成27年度供用予定事業	97
○トピックス	98

I. 予算の全体概要

1. 配分方針

- (1) 平成27年度国土交通省関係予算については、大規模化・激甚化する水害・土砂災害や大規模地震等に備えるための防災・減災対策、高度成長期以降に整備されたインフラの老朽化対策、成長著しいアジア諸国との都市間競争に勝ち抜くための成長戦略の具体化など我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「国民の安全・安心の確保」、「地域の活性化」及び「成長戦略の具体化」の3分野に重点化し計上したところである。
- (2) これを踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、国民の命と暮らしを守り、国土強靱化の取組を推進するための防災・減災対策、戦略的なインフラ老朽化対策を進めるとともに、活力ある地域を形成するため、「コンパクト＋ネットワーク」の推進、子育て世代や高齢者等が豊かに暮らせる生活環境の整備等を図る。また、成長戦略の具体化に向け国際競争力の強化に必要な基盤・環境の整備等を推進し、デフレからの脱却や経済の好循環の実現に対応することとする。

具体的には、

- ・ 気候変動等に備えた災害リスクの最小化のための水害・土砂災害対策
- ・ インフラ老朽化対策等のための戦略的な維持管理・更新
- ・ 地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
- ・ 子育て支援・福祉政策等と連携した住宅等の整備促進
- ・ 効率的な物流ネットワークの強化
- ・ 競争力強化のための社会資本の総合的整備（社会資本整備総合交付金）

などについて、地域の実情や要望等を勘案し、配分を行う。

2. 予算の規模

中国地方整備局関係予算総事業費 4,617億円 (前年比1.0倍)

うち { 直轄事業費 1,690億円(前年比0.97倍)
補助事業費 2,927億円(前年比1.02倍)

<内 訳>

- ・河川関係 462億円
- ・道路関係 1,253億円
- ・港湾空港関係 188億円
- ・都市・住宅関係 70億円
- ・営繕関係 7億円
- ・社会資本総合整備 2,637億円

{ 国土交通省全体事業費 7兆5,085億円(前年比1.00倍)
うち { 直轄事業費 2兆4,346億円(前年比1.00倍)
補助事業費 5兆0,739億円(前年比1.00倍)

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※社会資本総合整備に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

3. 予算の概要

<河川関係> [462億円(1.09)]

気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害や切迫する大規模地震に対し、ハード・ソフト一体となった予防的対策や、平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害等、甚大な被害が発生した地域における再度災害防止対策等の取組を推進するとともに、管理施設の老朽化に対応するため、新技術の導入や長寿命化計画策定を通じたトータルコストの縮減を図る等の取組を推進します。

また、賑わい、美しい景観、豊かな自然環境を備えた水辺を創出し、魅力あるまちづくりを支援します。

◇平成27年度主な新規着手事業

広島西部山系直轄特定緊急砂防事業 【広島県・直轄】(P38)

◇平成27年度主な完成予定事業

斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）【鳥取県・直轄】(P21)

庄原生活貯水池整備事業【広島県・補助】(P39)

<道路関係> [1, 253億円(0.96)]

直轄事業については、国民の命と暮らしを守る代替性の確保や地域活性化に資する道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保、また、我が国の成長力を確保する物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備を推進するため、開通目標の達成に向け、計画的な事業実施に取り組みます。また、安全・安心の確保のための交通事故対策や無電柱化の推進などの局所的な対策についても計画的な事業実施に取り組みます。

道路の維持修繕については、道路を常時良好な状態に保つため、巡回、清掃、除草、除雪等の維持作業や、定期点検及びその結果に基づく橋梁、トンネル等の計画的な修繕、緊急輸送道路の防災・震災対策、積雪寒冷地域等における雪寒対策を実施します。

◇平成27年度主な新規着手事業

(主) 岡山赤穂線 (岡山環状道路) 中井～宍甘

【岡山市・補助】(P62)

◇平成27年度主な完成予定事業

国道54号 三刀屋拡幅(部分完成) 【島根県・直轄】(P53)

国道180号 総社・一宮バイパス(部分完成)

【岡山県・直轄】(P59)

国道178号 岩美道路(部分完成) 【鳥取県・補助】(P49)

国道374号 湯郷勝央道路(延伸) 【岡山県・補助】(P61)

(主) 山口宇部線 小郡JCT(仮称) 【山口県・補助】(P76)

◇平成27年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

【主な調査箇所】

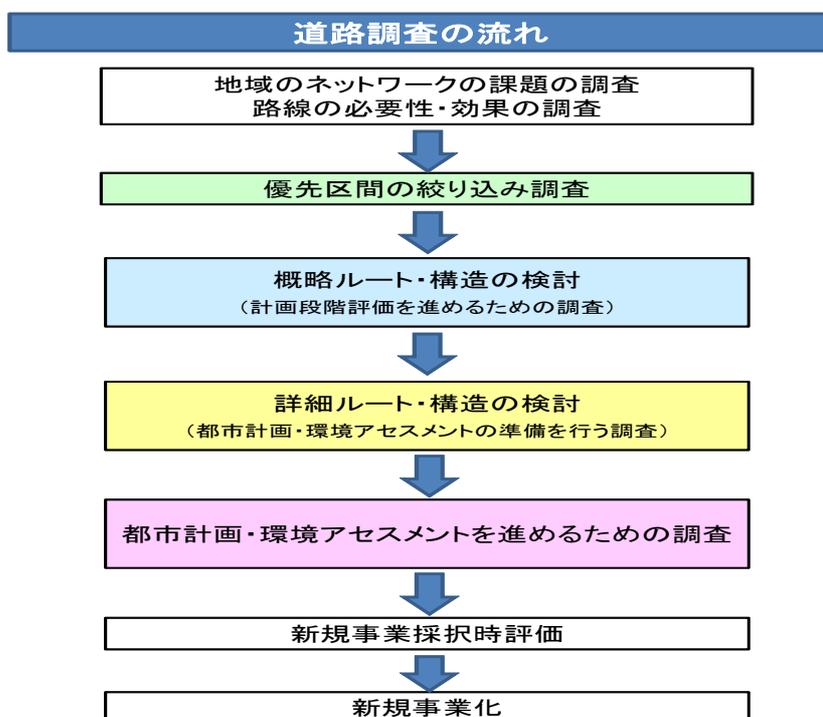
都市計画・環境アセスメントを進めるための調査
島根県 山陰道 福光～浅利

概略ルート・構造の検討 (計画段階評価を進めるための調査)

鳥取県 鳥取豊岡宮津自動車道 鳥取～福部
鳥取県 山陰道 はわい～大栄東伯
島根県・山口県 山陰道 小浜～田万川、木与付近、大井～萩
山口県 山陰道 三隅～長門、俵山～豊田

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。



＜港湾空港関係＞ [188億円 (0.84)]

資源・エネルギー等の安定的かつ安価な輸入の実現に向けた効率的な海上輸送の形成により成長戦略の具体化をします。また、高潮に備えた港湾海岸の整備や港湾施設・海岸保全施設、及び空港の老朽化対策による国民の安全・安心の確保、地域の基幹産業の競争力強化のための港湾施設の整備による地域の活性化を進めます。

◇平成27年度主な新規着手事業

境港ふ頭再編改良事業	【鳥取県・直轄】(P78)
広島港ふ頭再編改良事業	【広島県・直轄】(P85)

◇平成27年度主な完成予定事業

鳥取港防波堤整備事業	【鳥取県・直轄】(P77)
広島港航路・泊地整備事業	【広島県・直轄】(P84)
岩国港臨港道路整備事業 (部分完成)	【山口県・直轄】(P89)

＜都市・住宅関係＞〔70億円（0.76）〕

国営備北丘陵公園の適切な運営管理を実施するとともに、公園施設の老朽化対策を推進します。

また、大規模建築物等の耐震診断・改修を推進するとともに、子育て世帯等の多様な世帯が安心して健康に暮らすことができるよう既存住宅団地の再生に向けた取組等を推進します。

◇平成27年度主な新規着手事業

地域居住機能再生推進事業（岡山市） 【岡山市・補助】（P94）

＜営繕関係＞〔7億円（1.26）〕

既存官庁施設を安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業を実施します。

また、官庁施設の地震対策を推進するため、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を図ります。

◇平成27年度主な新規着手事業

鳥取第3地方合同庁舎の長寿命化 【鳥取県・直轄】（P92）

◇平成27年度主な完成予定事業

水島港湾合同庁舎の耐震化 【岡山県・直轄】（P93）

＜社会資本総合整備事業関係＞〔2,637億円（1.03）〕

※「社会資本総合整備事業」は、「社会資本整備総合交付金」、「防災・安全交付金」をいう。

社会資本総合整備事業については、地方公共団体等が作成した社会資本総合整備計画に基づき、同計画の目標を実現するための事業に対し、地方公共団体の要望を踏まえ、下記の方針のとおり所要額を配分します。

1. 社会資本整備総合交付金

経済・地域の活性化を推進する観点から、都市・地域の競争力を強化する成長基盤の整備、「コンパクト＋ネットワーク」の推進や豊かな生活環境の整備、観光・産業振興の取組の強化など、PPP/PFIの活用等により官民の多様な関係者が連携して取り組む、あるいは民間投資を喚起する総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

2. 防災・安全交付金

国土強靱化等の取組により国民の安全・安心の確保を推進する観点から、

頻発する風水害・土砂災害や大規模地震・津波に対する総合的な防災・減災対策、インフラ長寿命化計画を踏まえた総合的な老朽化対策等を緊急に進める総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

その際、以下の整備計画への配分に特に配慮します。

○ 各事業の重点配分の対象事業を総合的に組み合わせて以下のイメージのように横串・大括り化した整備計画

- ・ 防災・減災に関する総合的な計画に基づき、広域的かつ関係機関が共同して分野横断的に、ハード・ソフト事業に取り組む整備計画
- ・ インフラ長寿命化基本計画の考え方に則って、地方公共団体の区域内のインフラを総点検した上で、地方公共団体等が策定した長寿命化計画に基づいて取り組む整備計画

○ 効果促進事業を効果的に組み合わせて効率的に目標を達成する創意工夫がなされている整備計画

4. 平成27年度 中国地方整備局予算総括表

(1) 全体総括表

【事業費】

(単位：百万円)

区 分	平成27年度			平成26年度			(a/b)
	本省配分	一括配分	計(a)	本省配分	一括配分	計(b)	
治 水	31,236	13,511	44,747	28,034	13,071	41,105	1.089
直 轄	19,483	13,511	32,994	17,377	13,071	30,448	1.084
補 助	11,753	0	11,753	10,657	0	10,657	1.103
海 岸	1,612	0	1,612	1,539	0	1,539	1.047
直 轄	1,612	0	1,612	1,539	0	1,539	1.048
道 路	83,556	41,772	125,328	99,840	31,066	130,906	0.957
直 轄	73,633	41,772	115,405	89,410	31,066	120,476	0.958
補 助	9,923	0	9,923	10,430	0	10,430	0.951
港湾整備	17,148	320	17,468	20,698	200	20,898	0.836
直 轄	16,289	0	16,289	20,028	0	20,028	0.813
補 助	859	320	1,179	670	200	870	1.355
空港整備	288	0	288	388	0	388	0.742
直 轄	288	0	288	388	0	388	0.742
住宅対策	501	4,999	5,500	4,065	4,075	8,140	0.676
補 助	501	4,999	5,501	4,065	4,075	8,140	0.676
市街地整備	641	0	641	265	0	265	2.419
補 助	641	0	641	265	0	265	2.417
都市水環境整備	4	851	855	7	919	926	0.923
直 轄	4	851	855	7	919	926	0.923
国営公園等	862	0	862	864	0	864	0.998
直 轄	862	0	862	864	0	864	0.998
補 助	0	0	0	0	0	0	0.000
社会資本整備総合交付金	103,527	0	103,527	98,388	0	98,388	1.052
補 助	103,527	0	103,527	98,388	0	98,388	1.052
防災・安全交付金	160,156	0	160,156	158,234	0	158,234	1.012
補 助	160,156	0	160,156	158,234	0	158,234	1.012
一 般 公 共 計	399,531	61,453	460,984	412,321	49,331	461,652	0.999
直 轄	112,171	56,134	168,305	129,613	45,056	174,669	0.964
補 助	287,360	5,319	292,679	282,709	4,275	286,984	1.020
官庁営繕	0	702	702	0	558	558	1.258
直 轄	0	702	702	0	558	558	1.258
合 計	399,531	62,155	461,686	412,321	49,889	462,210	0.999
直 轄	112,171	56,836	169,007	129,613	45,614	175,227	0.965
補 助	287,360	5,319	292,679	282,709	4,275	286,984	1.020

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※本省配分とは本省において全国的な観点から箇所付けを行うもの

※一括配分とは本省配分以外の事業について、地方整備局が管轄区域内において主体的に箇所付けを行うもの

※社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

(2) 補助事業 県別内訳表

(事業費ベース 単位：百万円)

	鳥 取 県			島 根 県			岡 山 県		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	0	0	0	5,080	0	5,080	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	3,120	0	3,120	150	0	150	3,643	0	3,643
港 湾 整 備	0	0	0	0	320	320	320	0	320
住 宅 対 策	0	793	793	0	1,575	1,575	0	2,279	2,279
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	295	0	295
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	10,019	0	10,019	15,752	0	15,752	19,399	0	19,399
防災・安全交付金	22,111	0	22,111	31,456	0	31,456	25,457	0	25,457
合 計	35,250	793	36,043	52,438	1,895	54,333	49,114	2,279	51,392

	広 島 県			山 口 県			合 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	2,135	0	2,135	4,538	0	4,538	11,753	0	11,753
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路	910	0	910	2,100	0	2,100	9,923	0	9,923
港 湾 整 備	0	0	0	539	0	539	859	320	1,179
住 宅 対 策	4	145	149	497	207	705	501	4,999	5,501
市 街 地 整 備	346	0	346	0	0	0	641	0	641
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本整備総合交付金	36,782	0	36,782	21,575	0	21,575	103,527	0	103,527
防災・安全交付金	42,097	0	42,097	39,035	0	39,035	160,156	0	160,156
合 計	82,273	145	82,418	68,284	207	68,492	287,360	5,319	292,679

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

II. 直轄・補助事業の概要

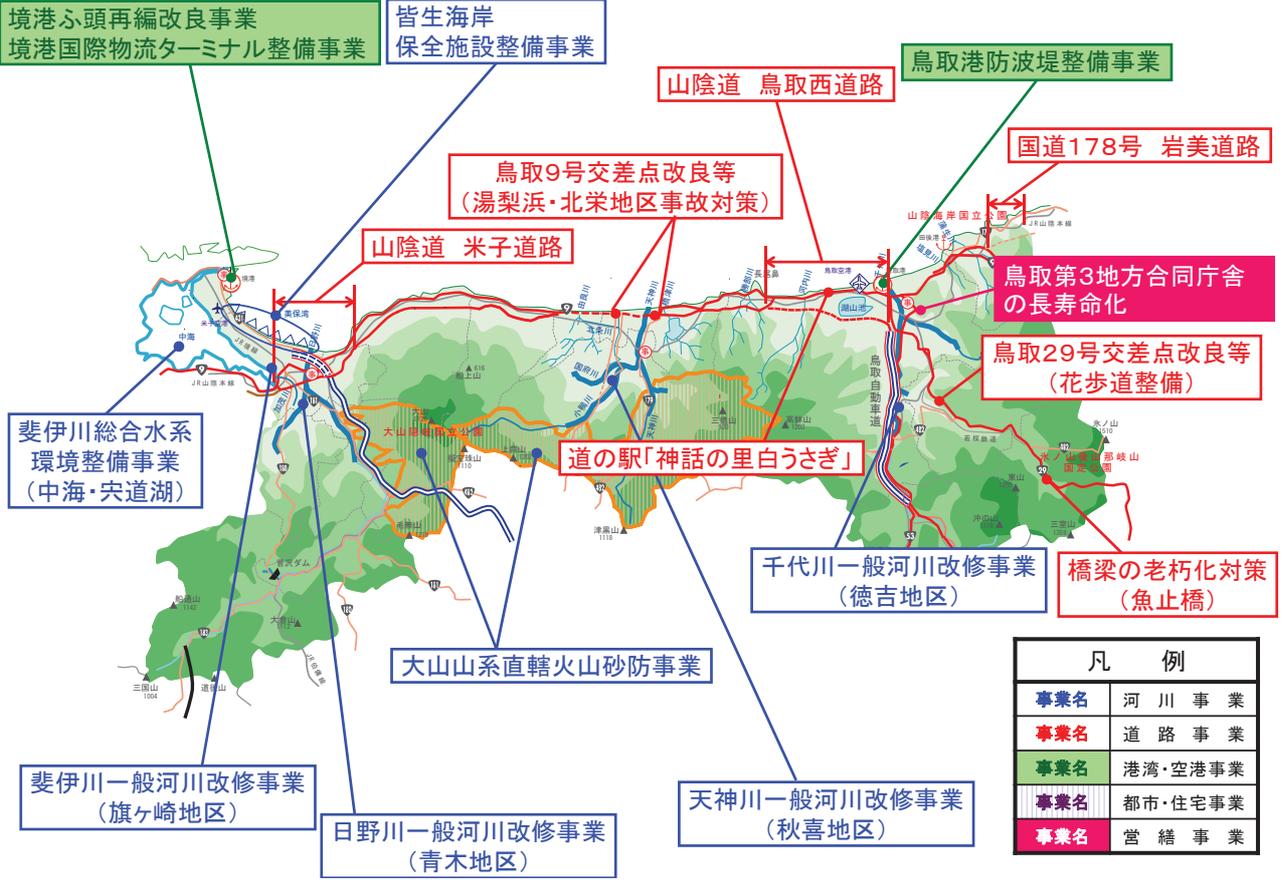
1. 平成27年度 主な完成予定事業一覧



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度	番号
鳥取県					
斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	河川	直轄		H27完成予定	河-4
鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-6
一般国道178号 岩美道路	道路	補助	鳥取県	H27完成予定 (浦富IC～岩美IC)	道-7
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-1
島根県					
一般国道54号 三刀屋拡幅	道路	直轄		H27完成予定 (部分)	道-11
島根9号交差点改良等（乙吉地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-13
島根54号交差点改良等（坂本歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-14
岡山県					
一般国道180号 総社・一宮バイパス	道路	直轄		H27完成予定 (部分)	道-17
一般国道374号湯郷勝央道路（延伸）	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-19
水島港湾合同庁舎の耐震化	営繕	直轄		H27完成予定	営-2
広島県					
庄原生活貯水池整備事業（広島県）	河川	補助	広島県	H27完成予定	河-21
広島185号交差点改良等（広自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-27
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-8
山口県					
山口190号交差点改良等（小野田地区交差点改良）	道路	直轄		H27完成予定	道-32
山口2号電線共同溝（南花岡電線共同溝）	道路	直轄		H27完成予定	道-33
（主）山口宇部線 小郡JCT（仮称）	道路	補助	山口県	H27完成予定	道-34
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14

2.主要事業箇所

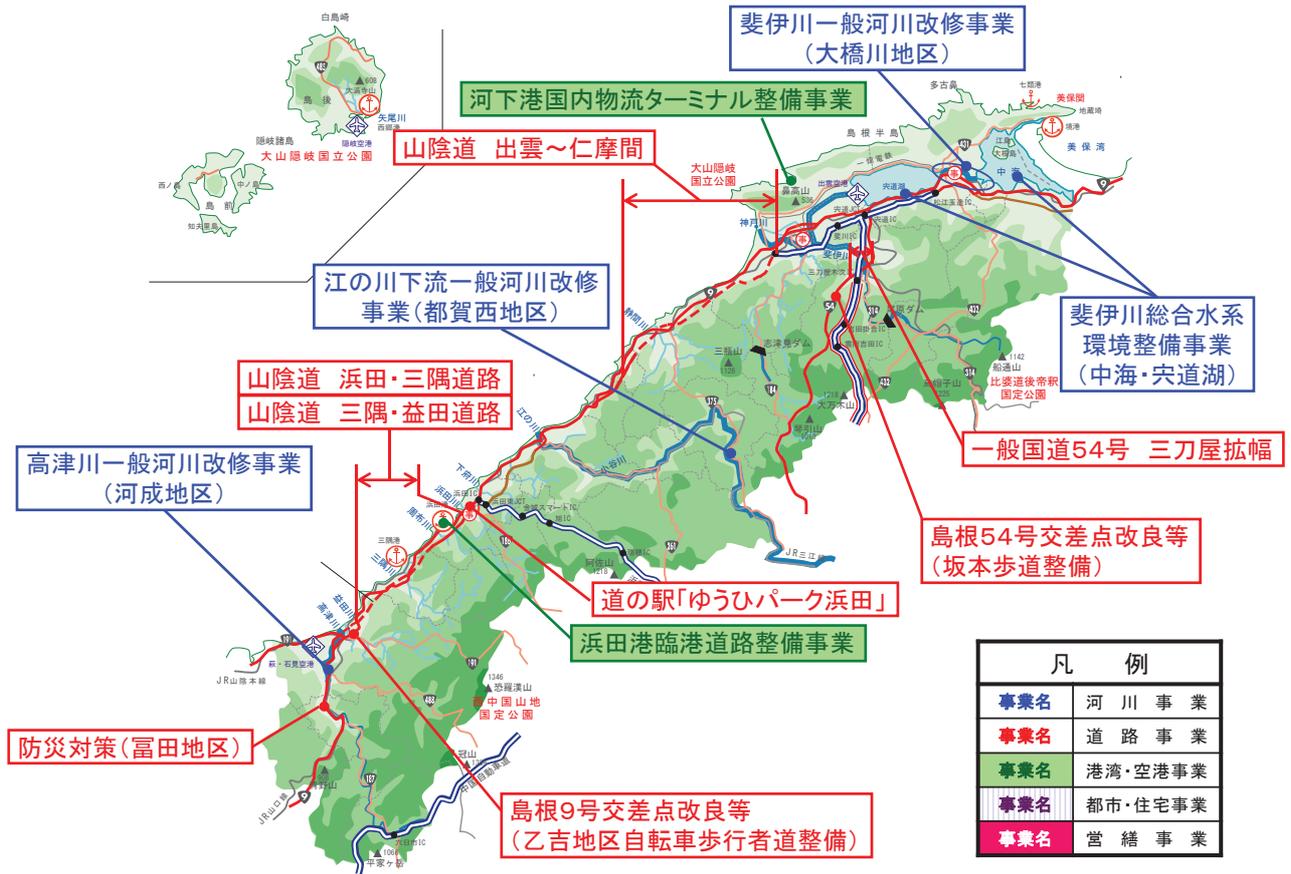
主要事業箇所【鳥取県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	河川	直轄		—	河-1
天神川一般河川改修事業（秋喜地区）	河川	直轄		—	河-2
日野川一般河川改修事業（青木地区）	河川	直轄		—	河-3
斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	河川	直轄		H27完成予定	河-4
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-5
大山山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-6
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-7
橋梁の老朽化対策（魚止橋）	道路	直轄		—	道-1
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定※ （吉岡温泉IC（仮称）～ 青谷IC）	道-2
一般国道9号 米子道路	道路	直轄		—	道-3
道の駅「神話の里白うさぎ」	道路	直轄		—	道-4
鳥取9号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策）	道路	直轄		—	道-5
鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-6
一般国道178号 岩美道路	道路	補助	鳥取県	H27完成予定 （蒲富IC～岩美IC）	道-7
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-1
境港ふ頭再編改良事業	港湾	直轄		—	港-2
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		H28完成予定	港-3
鳥取第3地方合同庁舎の長寿命化	営繕	直轄		H28完成予定	営-1

※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査がH27年度迄に完了する場合

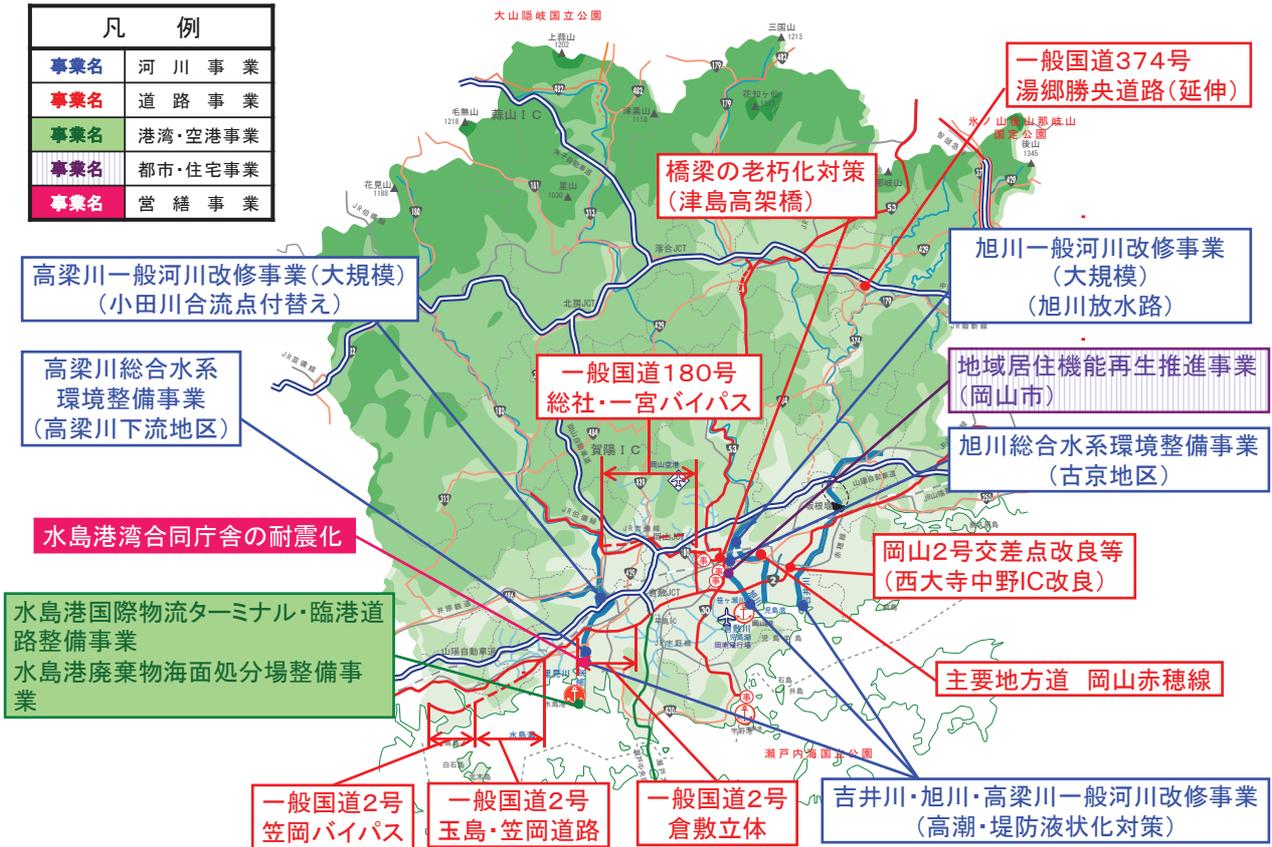
主要事業箇所【島根県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-8
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・穴道湖）	河川	直轄		—	河-5
江の川下流一般河川改修事業（都賀西地区）	河川	直轄		—	河-9
高津川一般河川改修事業（河成地区）	河川	直轄		—	河-10
防災対策（富田地区）	道路	直轄		—	道-8
山陰道 出雲～仁摩間	道路	直轄		H30完成予定※ （多伎IC～大田IC）	道-9
山陰道 浜田・三隅道路、三隅・益田道路	道路	直轄		H28完成予定 （西村IC～石見三隅IC）	道-10
一般国道54号 三刀屋拡幅	道路	直轄		H27完成予定 （部分）	道-11
道の駅「ゆうひパーク浜田」	道路	直轄		—	道-12
島根9号交差点改良等（乙吉地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-13
島根54号交差点改良等（坂本歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-14
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
河下港国内物流ターミナル整備事業	港湾	補助	島根県	—	港-5

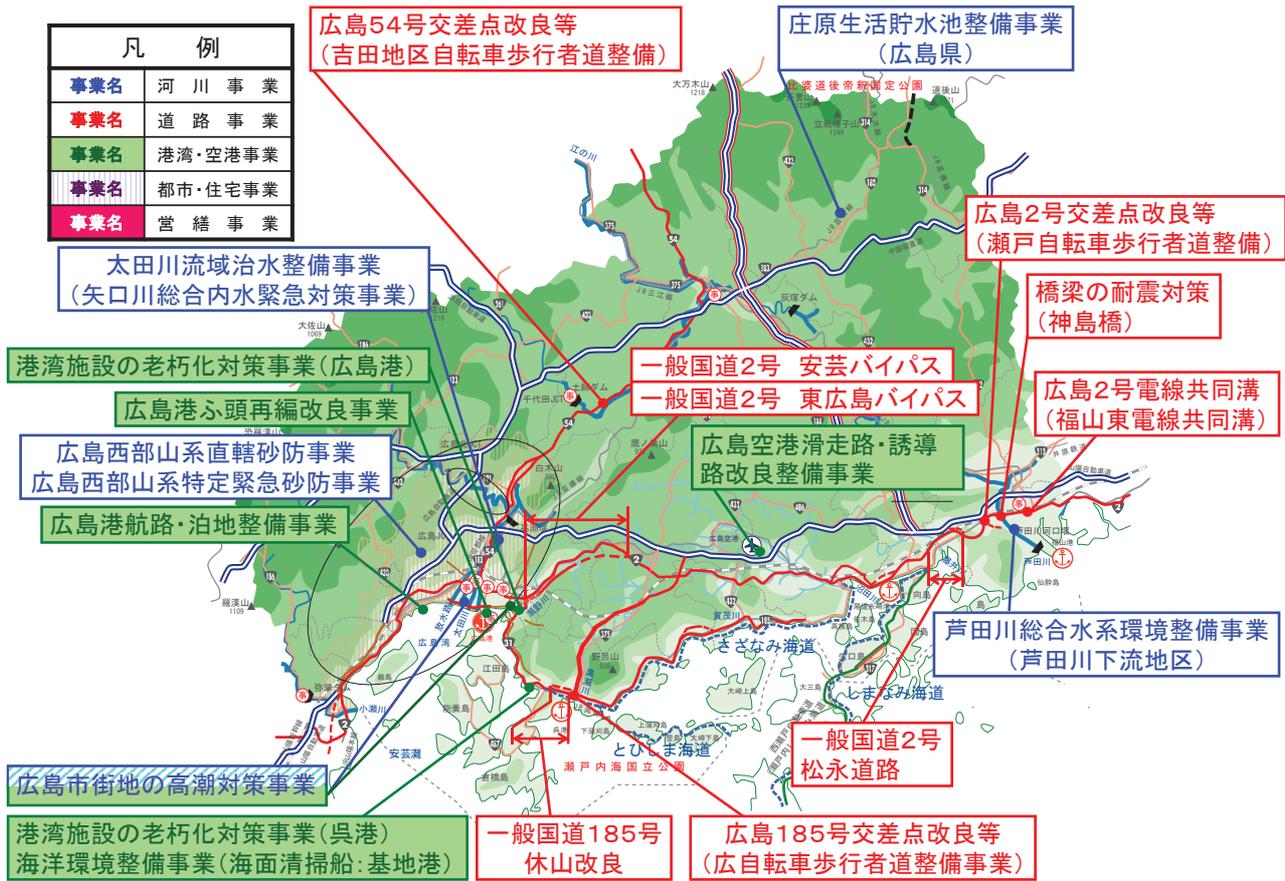
※用地取得及び猛禽類の保全対策が速やかに完了する場合

主要事業箇所【岡山県】



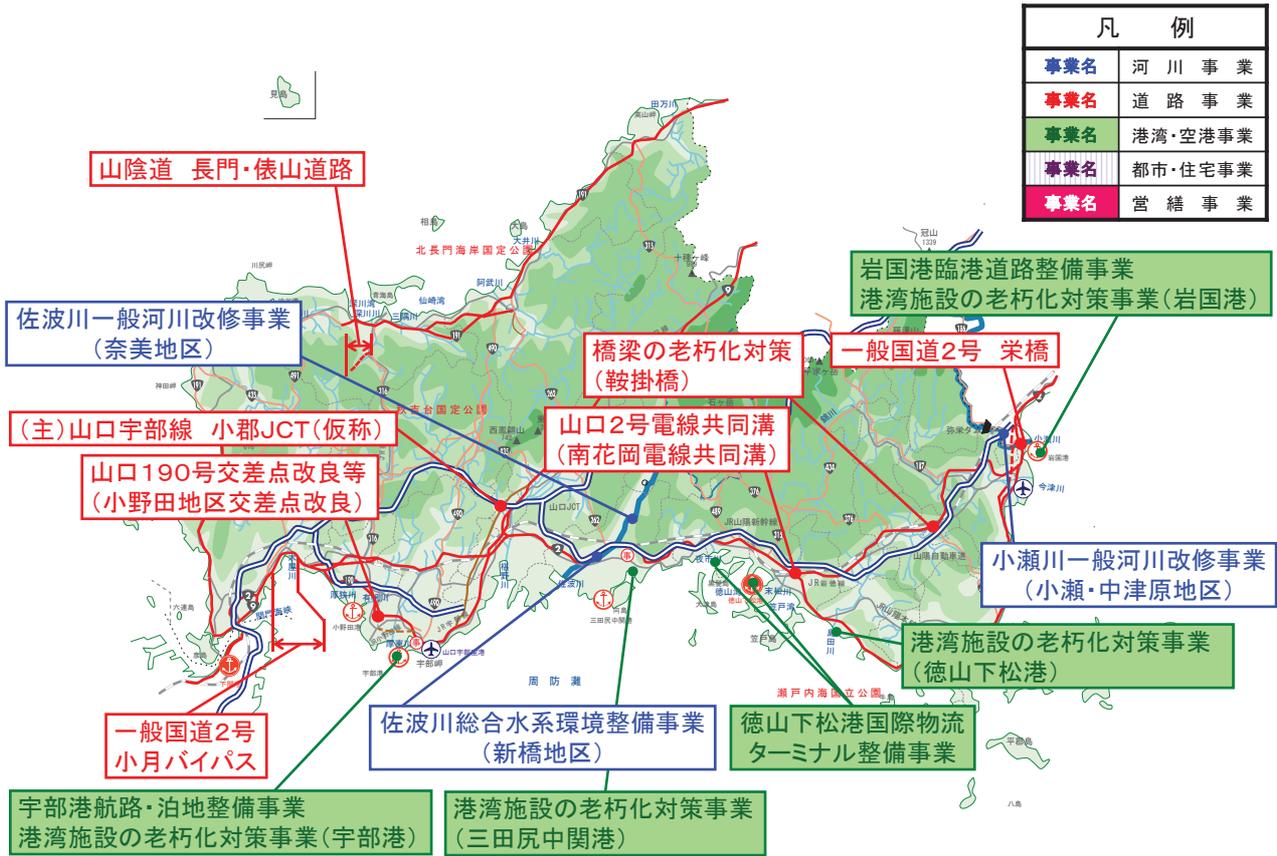
事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業(高潮・耐震対策)	河川	直轄		—	河-11
旭川一般河川改修事業(大規模)(旭川放水路)	河川	直轄		—	河-12
高梁川一般河川改修事業(大規模)(小田川合流点付替え)	河川	直轄		—	河-13
旭川総合水系環境整備事業(古京地区)	河川	直轄		—	河-14
高梁川総合水系環境整備事業(高梁川下流地区)	河川	直轄		—	河-15
橋梁の老朽化対策(津島高架橋)	道路	直轄		—	道-1
一般国道2号 倉敷立体	道路	直轄		H31完成予定	道-15
一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期) 一般国道2号 笠岡バイパス	道路	直轄		—	道-16
一般国道180号 総社・一宮バイパス	道路	直轄		H27完成予定 (部分)	道-17
岡山2号交差点改良等(西大寺中野IC改良)	道路	直轄		H28完成予定	道-18
一般国道374号湯郷勝央道路(延伸)	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-19
主要地方道 岡山赤穂線	道路	補助	岡山市	—	道-20
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定 (部分)	港-6
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-7
水島港湾合同庁舎の耐震化	営繕	直轄		H27完成予定	営-2
地域居住機能再生推進事業(岡山市)	住宅	補助	岡山市	—	都-1

主要事業箇所【広島県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-16 港-10
太田川流域治水整備事業 (矢口川総合内水緊急対策事業)	河川	直轄	—	—	河-17
芦田川総合水系環境整備事業 (芦田川下流地区)	河川	直轄	—	—	河-18
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄	—	—	河-19
広島西部山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄	—	—	河-20
庄原生活貯水池整備事業 (広島県)	河川	補助	広島県	H27完成予定	河-21
橋梁の耐震対策 (神島橋)	道路	直轄	—	—	道-21
一般国道2号 松永道路	道路	直轄	—	H28完成予定	道-22
一般国道2号 安芸バイパス・東広島バイパス	道路	直轄	—	—	道-23
一般国道185号 休山改良	道路	直轄	—	H29完成予定	道-24
広島2号交差点改良等 (瀬戸自転車歩行者道整備)	道路	直轄	—	H28完成予定	道-25
広島54号交差点改良等 (吉田地区自転車歩行者道整備)	道路	直轄	—	—	道-26
広島185号交差点改良等 (広島自転車歩行者道整備)	道路	直轄	—	H27完成予定	道-27
広島2号電線共同溝 (福山東電線共同溝)	道路	直轄	—	H28完成予定	道-28
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄	—	H27完成予定	港-8
広島港ふ頭再編改良事業	港湾	直轄	—	—	港-9
海洋環境整備事業	港湾	直轄	—	—	港-11
広島空港滑走路・誘導路改良整備事業	空港	直轄	—	—	港-12
港湾施設の老朽化対策事業 (広島港、呉港)	港湾	直轄	—	—	港-16

主要事業箇所【山口県】



凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営繕事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
佐波川一般河川改修事業 (奈美地区)	河川	直轄		—	河-22
小瀬川一般河川改修事業 (小瀬・中津原地区)	河川	直轄		—	河-23
佐波川総合水系環境整備事業 (新橋地区)	河川	直轄		—	河-24
橋梁の老朽化対策 (鞍掛橋)	道路	直轄		—	道-1
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		—	道-29
一般国道2号 栄橋	道路	直轄		H28完成予定	道-30
一般国道2号 小月バイパス	道路	直轄		H28完成予定	道-31
山口190号交差点改良等 (小野田地区交差点改良)	道路	直轄		H27完成予定	道-32
山口2号電線共同溝 (南花岡電線共同溝)	道路	直轄		H27完成予定	道-33
(主) 山口宇部線 小郡JCT (仮称)	道路	補助	山口県	H27完成予定	道-34
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-15
港湾施設の老朽化対策事業 (徳山下松港、岩国港、三田尻中関港、宇部港)	港湾	直轄・補助	国・山口県	—	港-16

事業別一覧表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	河川	直轄		—	河-1
天神川一般河川改修事業（秋喜地区）	河川	直轄		—	河-2
日野川一般河川改修事業（青木地区）	河川	直轄		—	河-3
斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	河川	直轄		H27完成予定	河-4
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-5
大山山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-6
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-7
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-8
江の川下流一般河川改修事業（都賀西地区）	河川	直轄		—	河-9
高津川一般河川改修事業（河成地区）	河川	直轄		—	河-10
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業（高潮・耐震対策）	河川	直轄		—	河-11
旭川一般河川改修事業（大規模）（旭川放水路）	河川	直轄		—	河-12
高梁川一般河川改修事業（大規模）（小田川合流点付替え）	河川	直轄		—	河-13
旭川総合水系環境整備事業（古京地区）	河川	直轄		—	河-14
高梁川総合水系環境整備事業（高梁川下流地区）	河川	直轄		—	河-15
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-16 港-10
太田川流域治水整備事業（矢口川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		—	河-17
芦田川総合水系環境整備事業（芦田川下流地区）	河川	直轄		—	河-18
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-19
広島西部山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		—	河-20
庄原生活貯水池整備事業（広島県）	河川	補助		H27完成予定	河-21
佐波川一般河川改修事業（奈美地区）	河川	直轄		—	河-22
小瀬川一般河川改修事業（小瀬・中津原地区）	河川	直轄		—	河-23
佐波川総合水系環境整備事業（新橋地区）	河川	直轄		—	河-24

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
橋梁の老朽化対策（魚止橋）	道路	直轄		—	道-1
山陰道 鳥取西道路	道路	直轄		H29完成予定※1 （吉岡温泉IC（仮称） ～青谷IC）	道-2
一般国道9号 米子道路	道路	直轄		—	道-3
道の駅「神話の里白うさぎ」	道路	直轄		—	道-4
鳥取9号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策）	道路	直轄		—	道-5
鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-6
一般国道178号 岩美道路	道路	補助	鳥取県	H27完成予定 （浦富IC～岩美IC）	道-7
防災対策（富田地区）	道路	直轄		—	道-8
山陰道 出雲～仁摩間	道路	直轄		H30完成予定※2 （多伎IC～大田IC）	道-9
山陰道 浜田・三隅道路、三隅・益田道路	道路	直轄		H28完成予定 （西村IC～石見三隅 IC）	道-10
一般国道54号 三刀屋拡幅	道路	直轄		H27完成予定 （部分）	道-11
道の駅「ゆうひパーク浜田」	道路	直轄		—	道-12
島根9号交差点改良等（乙吉地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-13
島根54号交差点改良等（坂本歩道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-14
橋梁の老朽化対策（津島高架橋）	道路	直轄		—	道-1
一般国道2号 倉敷立体	道路	直轄		H31完成予定	道-15
一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	道路	直轄		—	道-16
一般国道2号 笠岡バイパス	道路	直轄		—	道-16
一般国道180号 総社・一宮バイパス	道路	直轄		H27完成予定 （部分）	道-17
岡山2号交差点改良等（西大寺中野IC改良）	道路	直轄		H28完成予定	道-18
一般国道374号湯郷勝央道路（延伸）	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-19
主要地方道 岡山赤穂線	道路	補助	岡山市	—	道-20

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
橋梁の耐震対策（神島橋）	道路	直轄		—	道-21
一般国道2号 松永道路	道路	直轄		H28完成予定	道-22
一般国道2号 安芸バイパス・東広島バイパス	道路	直轄		—	道-23
一般国道185号 休山改良	道路	直轄		H29完成予定	道-24
広島2号交差点改良等（瀬戸自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H28完成予定	道-25
広島54号交差点改良等（吉田地区自転車歩行者道整備）	道路	直轄		—	道-26
広島185号交差点改良等（広島自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H27完成予定	道-27
広島2号電線共同溝（福山東電線共同溝）	道路	直轄		H28完成予定	道-28
橋梁の老朽化対策（鞆掛橋）	道路	直轄		—	道-1
山陰道 長門・俵山道路	道路	直轄		—	道-29
一般国道2号 栄橋	道路	直轄		H28完成予定	道-30
一般国道2号 小月バイパス	道路	直轄		H28完成予定	道-31
山口190号交差点改良等（小野田地区交差点改良）	道路	直轄		H27完成予定	道-32
山口2号電線共同溝（南花岡電線共同溝）	道路	直轄		H27完成予定	道-33
（主）山口宇部線 小郡JCT（仮称）	道路	補助	山口県	H27完成予定	道-34

※1 用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査がH27年度迄に完了する場合

※2 用地取得及び猛禽類の保全対策が速やかに完了する場合

○港湾・空港整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-1
境港心頭再編改良事業	港湾	直轄		—	港-2
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		H28完成予定	港-3
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
河下港国内物流ターミナル整備事業	港湾	補助	島根県	—	港-5
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定 (部分)	港-6
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-7
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		H27完成予定	港-8
広島港心頭再編改良事業	港湾	直轄		—	港-9
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄		—	港-10※
海洋環境整備事業	港湾	直轄		—	港-11
広島空港滑走路・誘導路改良整備事業	空港	直轄		—	港-12
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-15
港湾施設の老朽化対策事業	港湾	直轄・補助	国・山口県	—	港-16

※河-16に掲載

○営繕事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取第3地方合同庁舎の長寿命化	営繕	直轄		H28完成予定	営-1
水島港湾合同庁舎の耐震化	営繕	直轄		H27完成予定	営-2

○都市・住宅整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
地域居住機能再生推進事業（岡山市）	住宅	補助	岡山市	—	都-1

事業推進

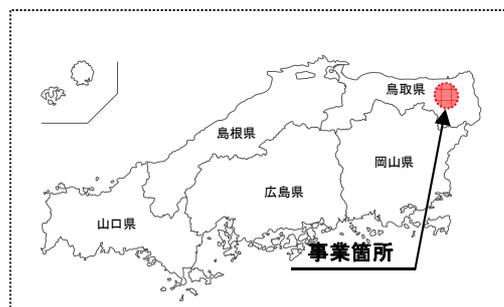
1. 事業の必要性及び概要

当該地区は、固定堰による洪水時の水位のせき上げや流下断面の不足により、流下能力が不足しています。

このため、流下能力確保を図るために当該地区の堰改修及び河道掘削を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市河原町徳吉地区



3. 平成27年度 予定事業内容

千代川徳吉地区において、堰改修・河道掘削L=300mを実施します。



凡 例	
平成26年度末迄:	黒色
平成27年度予算:	赤色
平成28年度以降:	緑色



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和54年10月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

事業推進

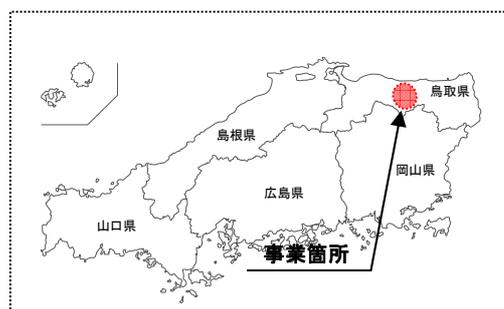
1. 事業の必要性及び概要

天神川水系は急流河川であることから、洪水時に堤防侵食の危険性が高く、過去には河岸侵食等が多数発生しています。天神川支川国府川の秋喜地区周辺には住宅地や工業団地が広がっていることから、堤防が決壊した場合の影響は甚大なものとなります。

このため、当該地区において堤防の侵食防止対策を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県倉吉市秋喜地区



3. 平成27年度 予定事業内容

天神川支川国府川秋喜地区において、侵食対策L=395mを実施します。



4. 期待される整備効果

河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

日野川支川法勝寺川は全川にわたって流下能力が低く、下流部の堤防が決壊した場合にははん濫水が米子市街地(鳥取県内人口第2位)まで達し、甚大な被害となることが想定されます。

また、支川小松谷川合流部では法勝寺川の影響等による内水被害が過去10年の内に4回発生しており、流下能力向上および内水被害軽減のための緊急的な対策が必要です。

このため、流下能力確保を図るための河道掘削、背割堤、堰改築等の整備を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県米子市青木地区



3. 平成27年度 予定事業内容

法勝寺川青木地区において、堰改築等を実施します。



4. 期待される整備効果

戦後最大洪水である昭和34年9月洪水が再び発生した場合においても、米子市街地への浸水被害の防止を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業
はたがさき
(旗ヶ崎地区)

事業費3,756百万円
※斐伊川水系全体

河-4
【鳥取県】

完成予定

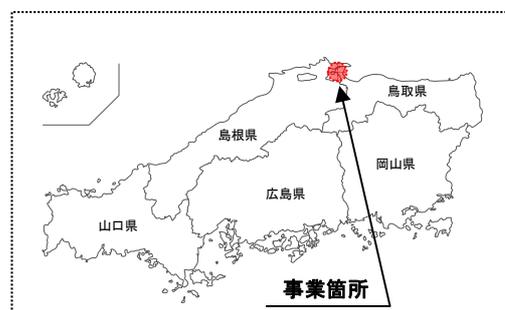
1. 事業の必要性及び概要

旗ヶ崎地区は、宅地の地盤高が低く中海の湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害(平成14年、平成15年、平成16年)を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための水門整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

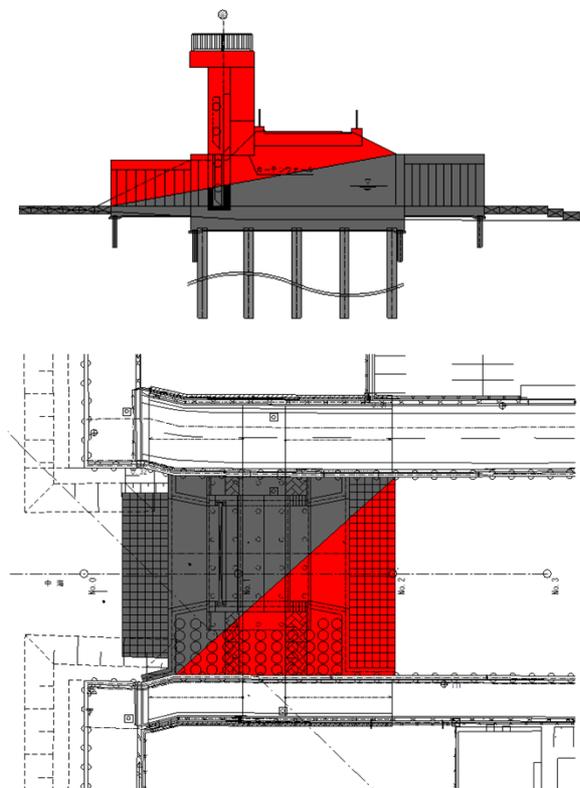
2. 事業箇所

鳥取県米子市旗ヶ崎地区



3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、中海旗ヶ崎地区において、水門等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である平成15年9月高潮(既往最高水位)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

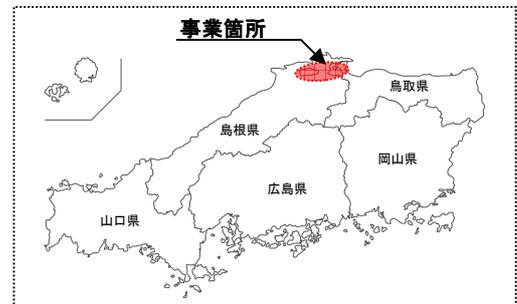
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

斐伊川水系斐伊川の中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂を実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～ 島根県松江市浜佐田町地区



3. 平成27年度 予定事業内容

中海：浅場造成 A=10千m²、覆砂 A=140千m²
 宍道湖：浅場造成 A=10千m²



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、生物の生息環境が改善され、自然が本来もつ浄化機能を回復して湖内の水質浄化を図るとともに、湖岸の景観も向上します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には浸食されやすい火山堆積物や風化した花崗岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水はん濫から保全することを目的として砂防堰堤等の整備を実施しています。

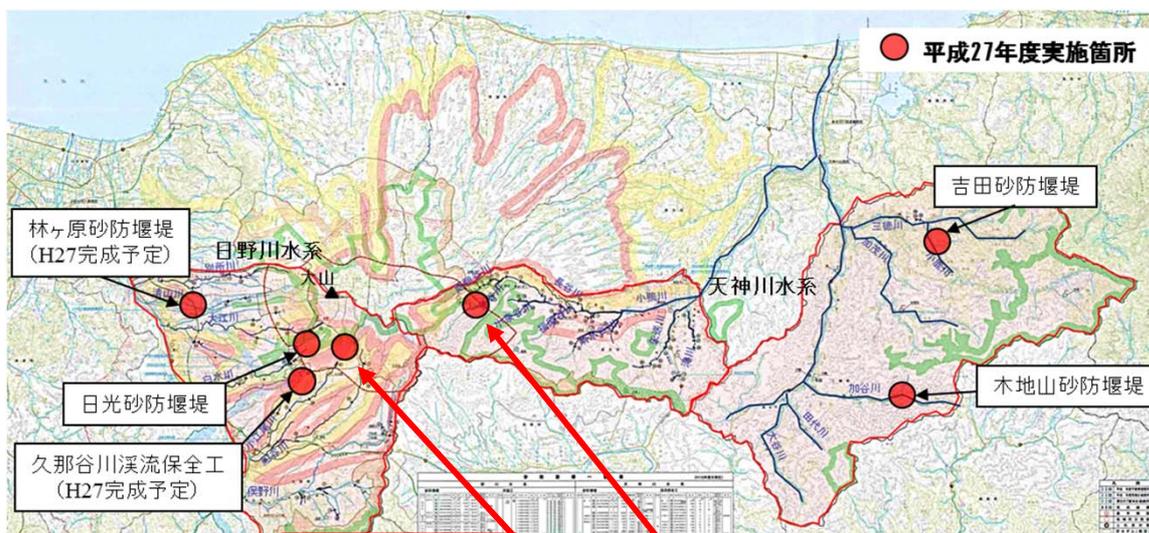
2. 事業箇所

大山山系(天神川) : 鳥取県倉吉市、東伯郡三朝町
 大山山系(日野川) : 鳥取県伯耆町、江府町



3. 平成27年度 予定事業内容

天神川水系において砂防施設3基、日野川水系において砂防施設4基の整備を実施します。



三の沢砂防堰堤において、土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。



野添5号砂防堰堤において土砂災害の軽減及び小鴨川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。

4. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、米子市・倉吉市等の下流市街地において、土砂を起因とする洪水はん濫の防止・軽減を図ります。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

皆生海岸は、「かな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには家屋や商業店が多数進出し人口も集中していることから、砂浜を保全するために沖合施設の設置や養浜を実施しています。

2. 事業箇所

鳥取県米子市～境港市



3. 平成27年度 予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、両三柳地区において沖合施設(離岸堤)1基を設置します。また、富益地区において砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所にて狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

大橋川改修は、斐伊川治水計画(①上流部のダム建設、②中流部の放水路建設と本川改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備)の一つで、平成23年8月に大橋川中流の追子地区の堤防整備の工事に着手しました。

今後は堤防整備等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県松江市福富町～松江市東茶町地区



3. 平成27年度 予定事業内容

大橋川において、築堤、向島川樋門新設、用地補償等を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ごうのかわ
江の川下流一般河川改修事業
つがにし
(都賀西地区)

事業費968百万円
※江の川下流水系全体

河-9
【島根県】

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

当該地区は、堤防断面が不足するとともに、堤防詳細点検の結果、堤防の浸透に対する安全性が不足しています。

このため、必要な堤防幅の確保及び堤防の浸透に対する安全性確保のために築堤、浸透対策を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

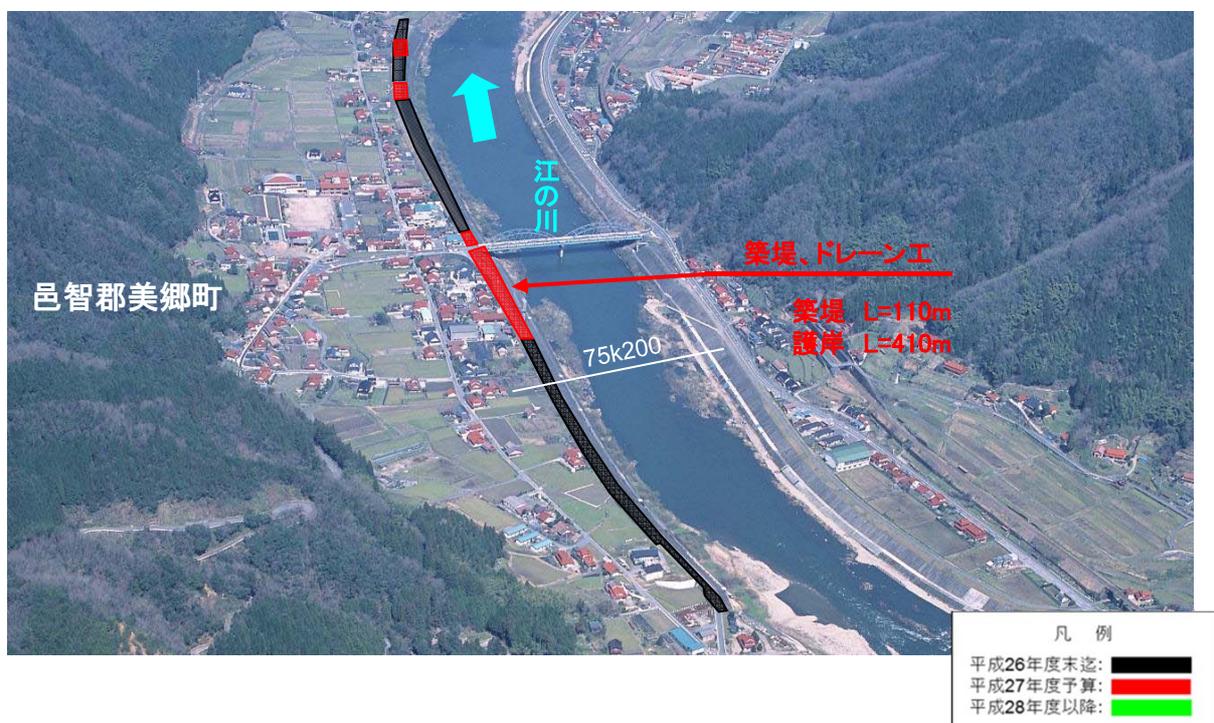
2. 事業箇所

島根県邑智郡美郷町都賀西地区



3. 平成27年度 予定事業内容

江の川下流都賀西地区において、築堤L=110m、浸透対策等を実施します。



4. 期待される整備効果

戦後最大洪水である昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

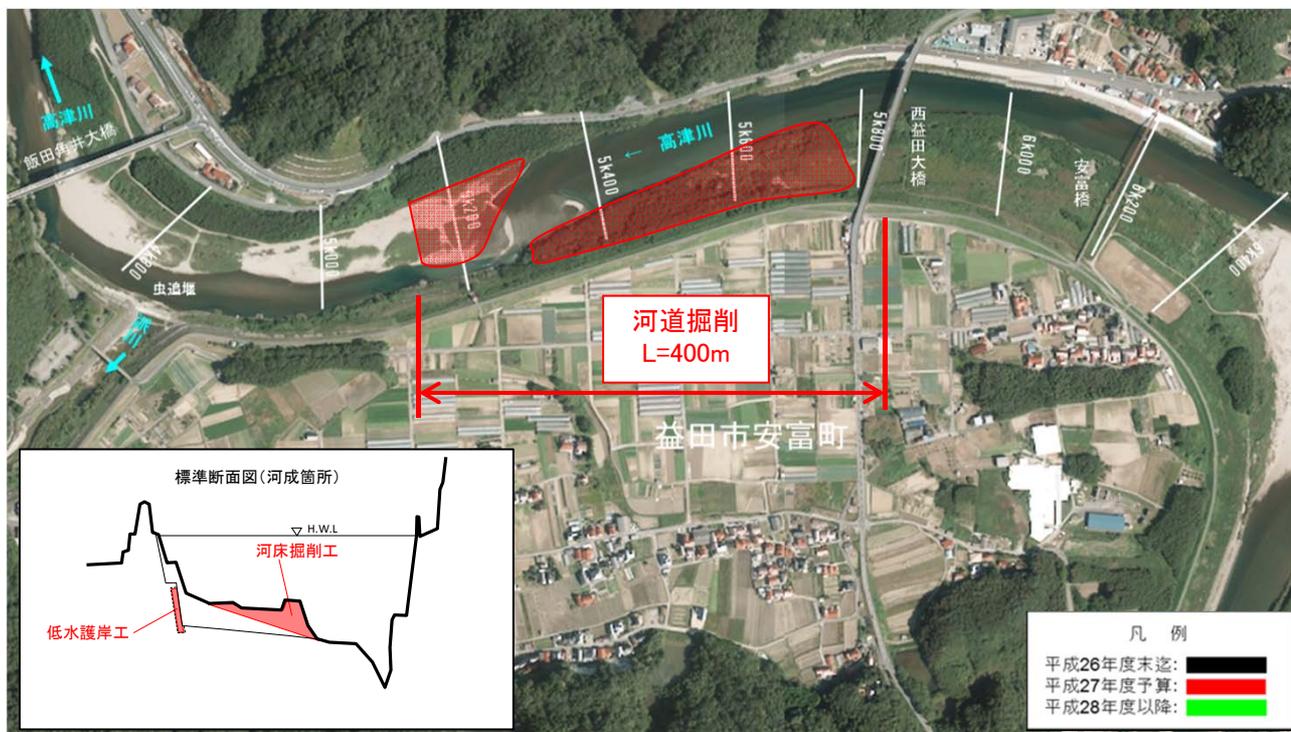
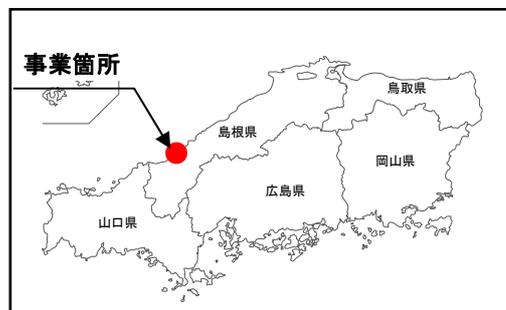
高津川は全川にわたり流下能力が不足しており、河道掘削による流下能力の確保が必要です。特に当該箇所は流下能力が不足していることから、上下流バランス等を考慮しながら、流下能力を確保し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県益田市安富町河成地区

3. 平成27年度 予定事業内容

高津川河成地区において、河道掘削L=400m等を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

よしいがわ あさひがわ たかはしがわ

吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業 (高潮対策・耐震対策)

事業費3,469百万円
※3水系全体

河-11

【岡山県】

1. 事業の必要性及び概要

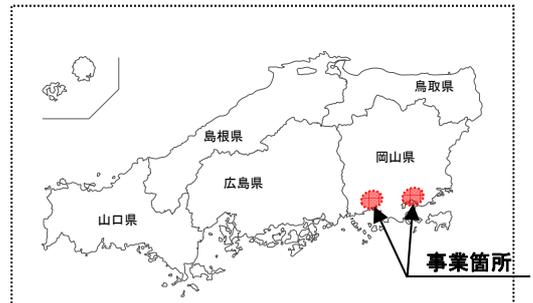
事業推進

岡山平野は、過去からの干拓により形成されたゼロメートル地帯が広がっており、吉井川・旭川・高梁川の河口部の沿川地区においては、平成16年の度重なる台風の襲来による高潮の影響により浸水被害を受けたため、継続的に高潮堤防整備を進めています。

また、東日本大震災を契機として、平成23年度よりレベル2地震動に対する耐震対策を実施しており、堤防の耐震対策の実施により、早期に安全性の向上を図ります。

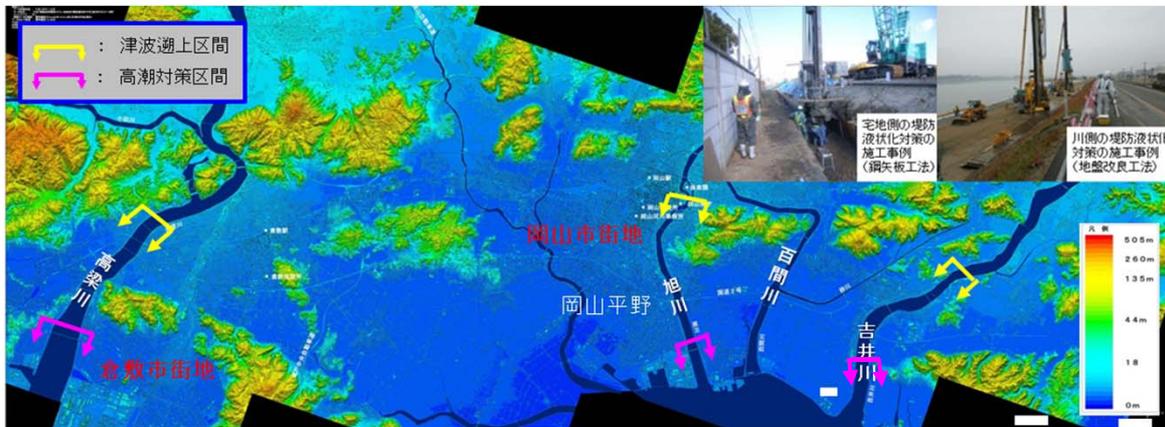
2. 事業箇所

岡山県岡山市東区九幡地区
岡山県岡山市中区平井地区
岡山県倉敷市乙島、鶴新田地区



3. 平成27年度 予定事業内容

吉井川・旭川・高梁川の下流部において、高潮対策(築堤L=620m)、堤防液状化対策L=620mを実施します。



4. 期待される整備効果

大規模地震時における液状化等による堤防の被災を軽減することで、堤内地への河川水等のはん濫による二次被害が軽減されます。また、高潮堤防を整備することで、既往最大の高潮に対する浸水被害が解消されます。

事業推進

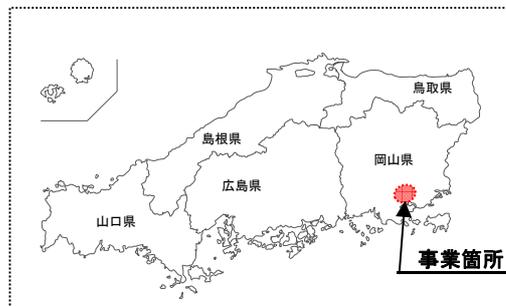
1. 事業の必要性及び概要

旭川放水路(百間川)は、岡山市街地を洪水被害から守るため、昭和45年度から抜本的な河川改修(大規模工事)に着手し、平成9年には堤防が概成、平成26年度には河道の整備、河口水門の増設が完了しています。

今後は、旭川と百間川の適切な洪水分派機能を確認するための分流部の改築を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

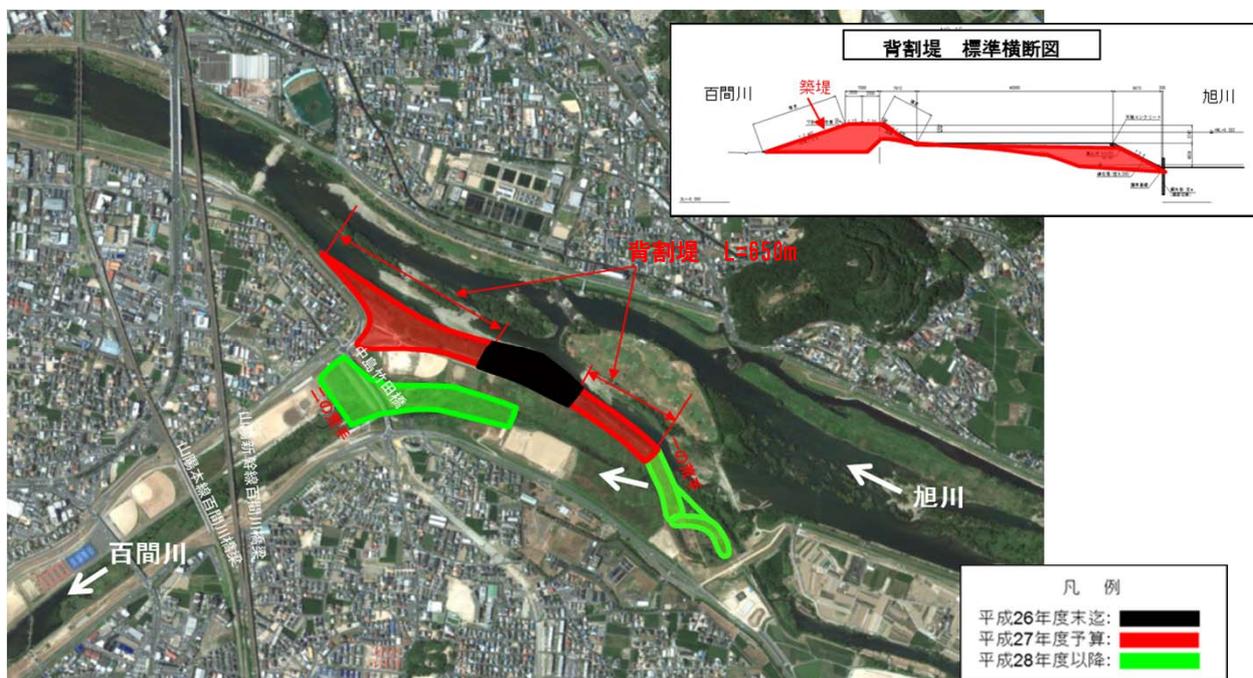
2. 事業箇所

岡山県岡山市中区今在家地区



3. 平成27年度 予定事業内容

旭川放水路(百間川)の分流部において、背割堤整備を実施します。



4. 期待される整備効果

適切な洪水分流機能の確保により、旭川及び旭川放水路(百間川)における浸水被害の防止・軽減が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

小田川は高梁川と比べ勾配が緩く、洪水時には高梁川の水位の影響を受け小田川の水位が長時間高くなります。小田川沿川では、昭和47年7月洪水や昭和51年9月洪水で大規模な浸水被害が発生しており、抜本的な治水対策が必要です。

本事業は、小田川が高梁川と合流する位置を約4.6km下流に付替えることで洪水時の水位を下げ、戦後最大規模(昭和47年7月)の洪水が再び発生しても、河川水の氾濫による小田川沿川の浸水被害の防止を図ります。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市船穂町ふなお ～ 岡山県倉敷市真備町まび



3. 平成27年度 予定事業内容

事業区域内の補償等を実施します。

想定浸水戸数 約 3,500戸
床上浸水戸数 約 3,100戸
床下浸水戸数 約 400戸

※S47.7洪水規模発生時における小田川(国管理区間)沿川の浸水戸数



4. 期待される整備効果

小田川沿川は市街化の進行が著しく、住宅総数は約30年間で1.4倍に増加しており、小田川合流点付替えにより安心安全な生活基盤が形成されます。また、高梁川の酒津地点の堤防の決壊等により一度氾濫すると倉敷市の中心市街地に甚大な被害が発生するおそれがありますが、小田川合流点付替えにより、この水害リスクも低減します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

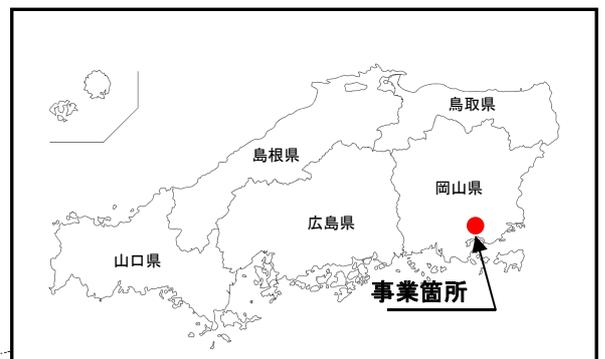
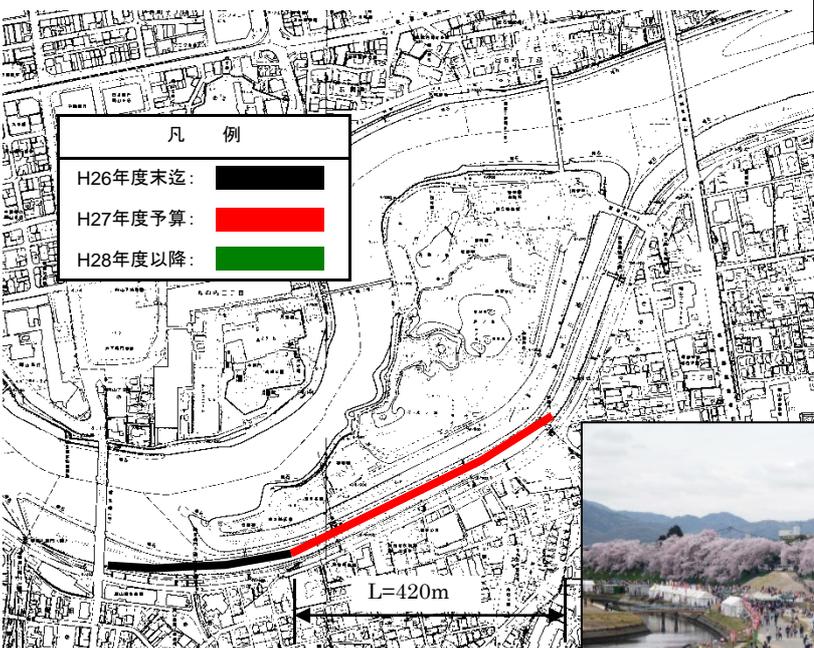
旭川水系旭川の古京箇所は、岡山市中心部に位置し、日本三名園のひとつである後樂園や岡山城等の歴史的な文化施設が集中し、多くの観光客で賑わう地域です。本箇所「旭川さくらみち」の堤防上には、近く植え替えが必要な老朽化した桜並木があります。本箇所の桜並木を計画的な植え替え等により今後も継続的に保全していけるよう、植樹基準に適合させ河川堤防の安全性を高めるための護岸整備を行います。

2. 事業箇所

岡山県岡山市中区住吉町地先

3. 平成27年度 予定事業内容

古京箇所において護岸L=420m等を実施します。



岡山さくらカーニバルの様子
(平成27年4月)

昨年度の護岸工事の実施状況

4. 期待される整備効果

河川堤防の安全性を高め、「旭川さくらみち」の桜並木を今後も継続的に保全し、本地域の継続的な活性化に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

高梁川水系高梁川の潮止堰は塩害防止ならびに取水を目的として整備されていますが、近年、天然アユの遡上が減少しています。

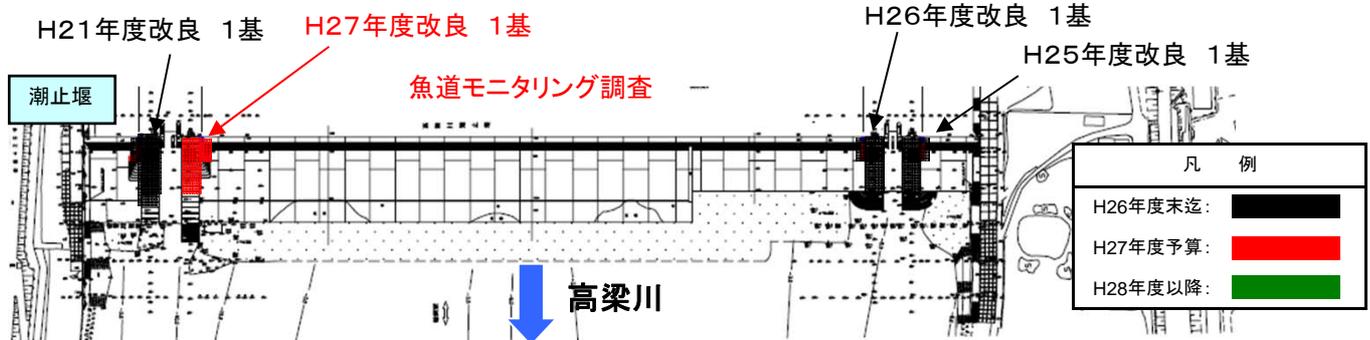
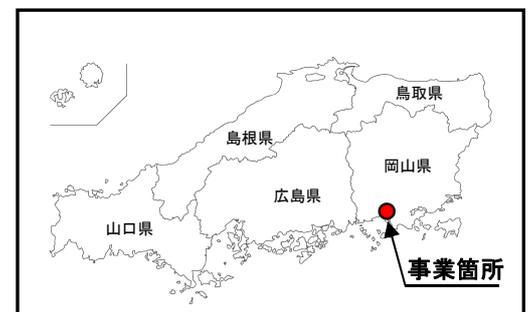
潮止堰には魚道が4基設置されているものの、十分な機能を発揮していないことが過年度調査で判明しているため、魚道改良を実施することにより、生息環境の縦断的な連続性を確保し、魚類等の生息条件の改善を図ります。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市玉島～連島町地区

3. 平成27年度 予定事業内容

高梁川下流箇所において、魚道整備N=1基、モニタリング調査を実施します。



4. 期待される整備効果

魚道改良の実施により汽水域と淡水域の連続性を確保することで、天然アユ等の降海型の魚類などの生息条件の改善を図ることにより、河川本来が持つ生息・生育環境を確保する機能を回復します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

「ゼロメートル地帯」の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、堤防等が沈下・崩壊する可能性があり、満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。

2. 事業箇所

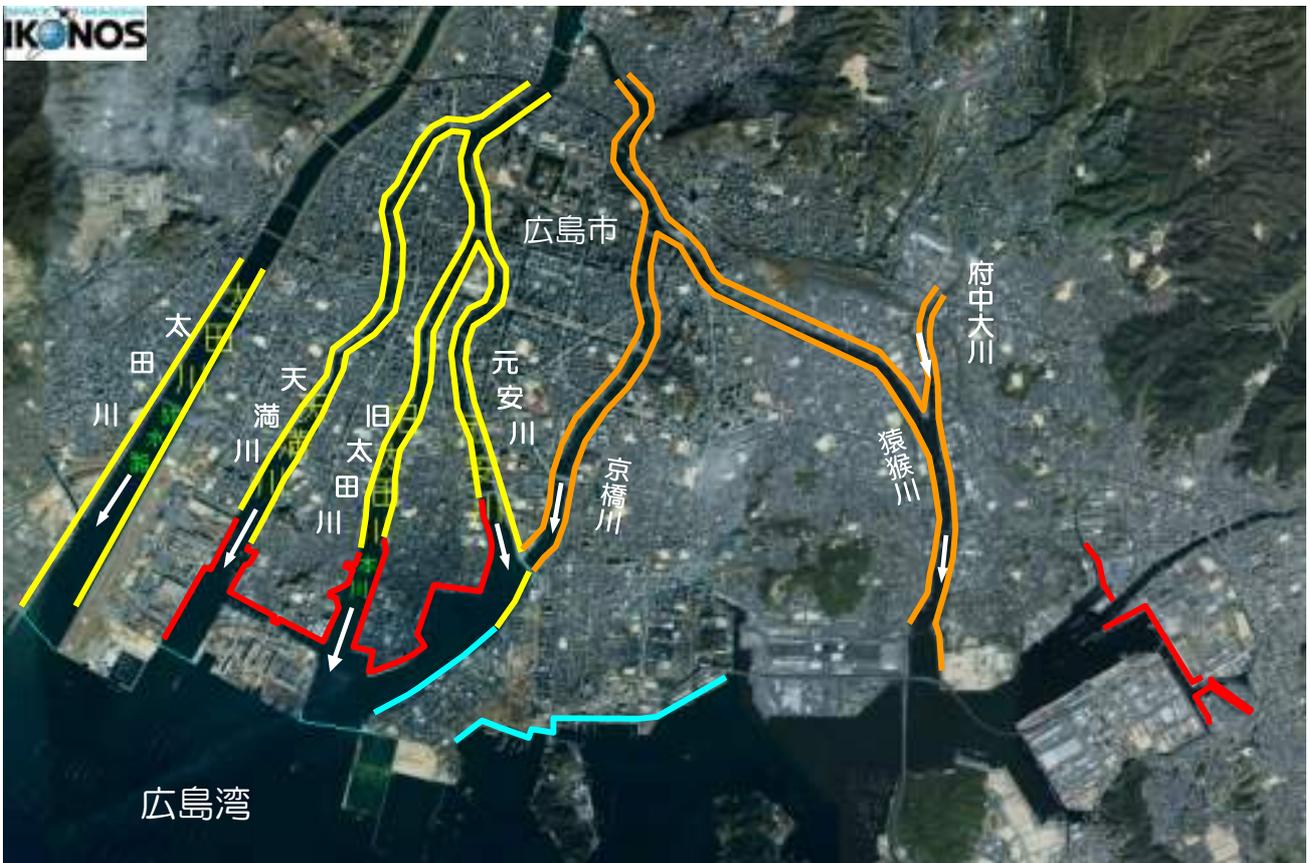
広島県広島市、
安芸郡海田町



凡例:

河川直轄整備区間	黄色線
河川補助計画区間	オレンジ線
海岸直轄整備区間	赤線
海岸補助計画区間	水色線

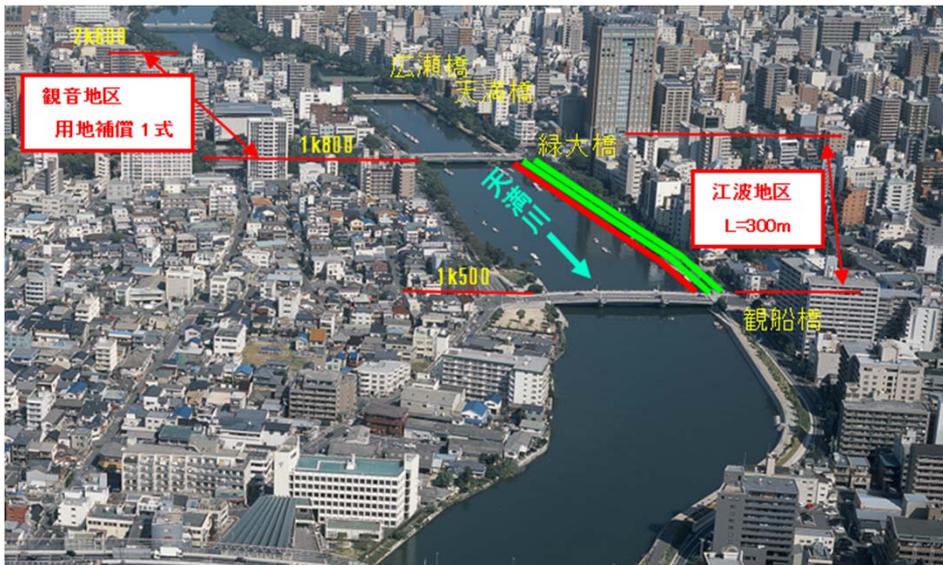
注)河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金へ移行



3. 平成27年度 予定事業内容

河川事業区間について

広島市街地では、近年度々(H3、H11、H16(観測史上最高潮位を観測 TP+2.96m))高潮による浸水被害が発生しており、浸水被害が発生した区間を「再度災害防止区間」に位置づけ重点的に整備を進め、平成24年度には当該区間においては、再度災害防止の目標堤防高(T.P.+3.40m)を整備済みです。平成27年度は、天満川の江波地区において、高潮堤防の整備を実施します。



海岸事業区間について

広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けています。また、今後発生が危惧される東南海・南海地震への対策も進める必要があります、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

このため、中央西地区(江波、吉島)、中央東地区(矢野、船越)において、高潮、津波に対応するため、護岸の嵩上げ、耐震改良を実施します。



4. 期待される整備効果

- 河川・港湾海岸が一体的に高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 広島市街地の海岸護岸の嵩上げ、耐震改良を実施することにより、背後の市街地の浸水被害を防止・軽減し、市民の生命、財産を守ります。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

矢口川は流域面積5.2km²の一级河川ですが、その下流部は昭和40年代以降に宅地化が進み、平成17年、22年と立て続けに内水による浸水被害が発生しています。
 このため、平成24年7月に、国・県・市・地域が協働で内水対策を行う「矢口川総合内水対策計画」を策定し、国は排水機場の増設(4m³/s→12m³/s)を実施しています。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区矢口地区

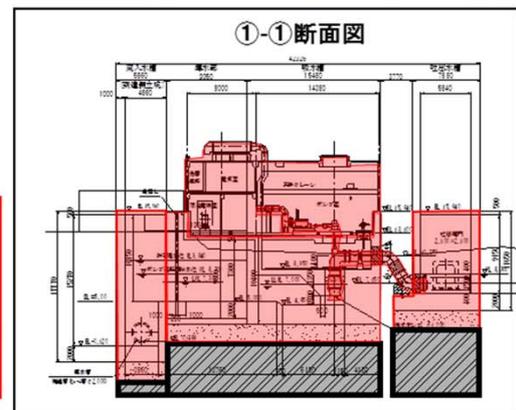
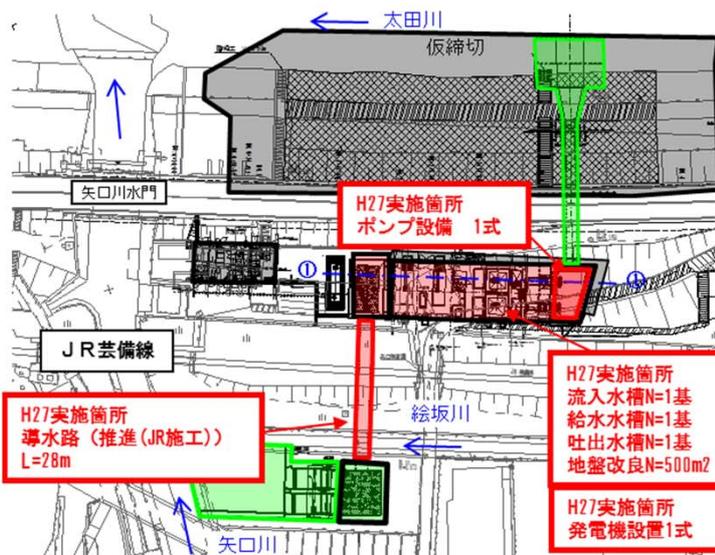


3. 平成27年度 予定事業内容

太田川矢口地区において、排水機場本體工等を実施します。

凡例

平成26年度末迄:	黒色
平成27年度予算:	赤色
平成28年度以降:	緑色



4. 期待される整備効果

矢口川における内水対策の計画規模である年超過確率1/10規模の洪水が発生した場合においても、床上浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

芦田川水系芦田川は、下流域に人口47万人の福山市があり沿川の都市化が進んでいます。しかし、流域の下水道整備率が45.7%(H25年度末)であり、生活雑排水等が河川に流入し水質汚濁が著しく平成26年度末でも環境基準の達成ができていません。

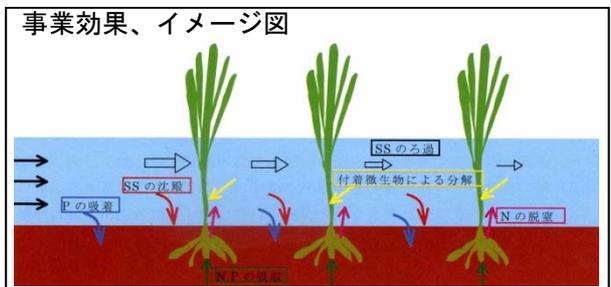
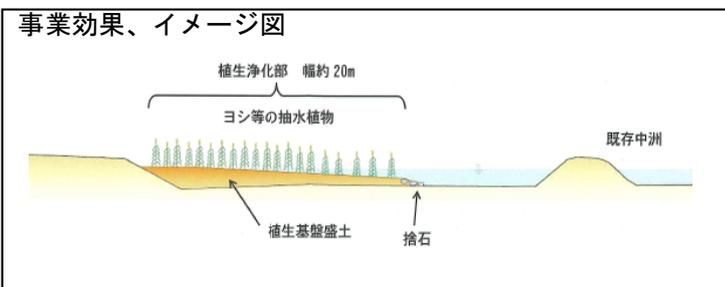
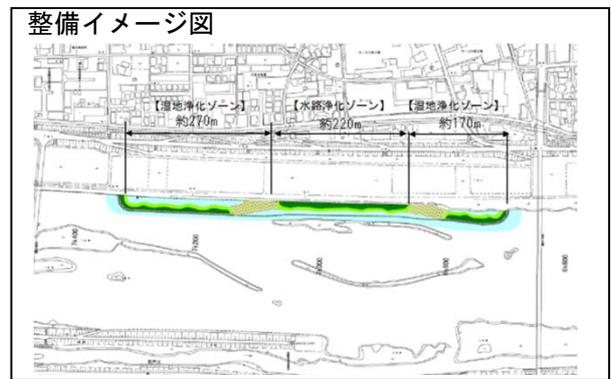
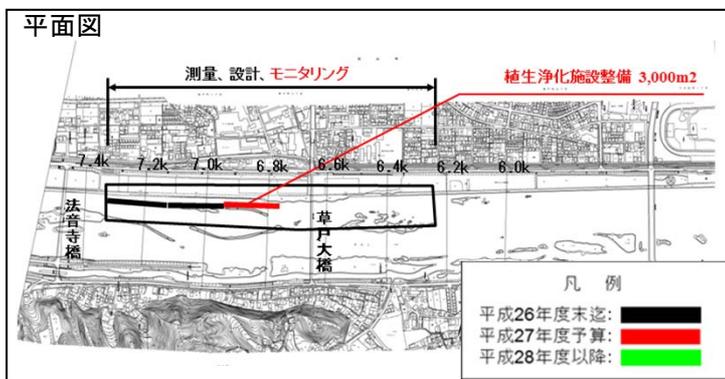
このことから、下流部の水質改善を目的として芦田川下流部に植生浄化施設を整備することにより、下流域の負荷量を効率的に削減し、良好な水環境の創出を図ります。

2. 事業箇所

広島県福山市草戸地区

3. 平成27年度 予定事業内容

芦田川下流地区において、植生浄化施設整備工A=3,000m²、モニタリング等を実施します。



4. 期待される整備効果

植生浄化施設を整備することで、多様な動植物の生息・生育場を創出するとともに、窒素やリンの吸収等による負荷軽減を図ります。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

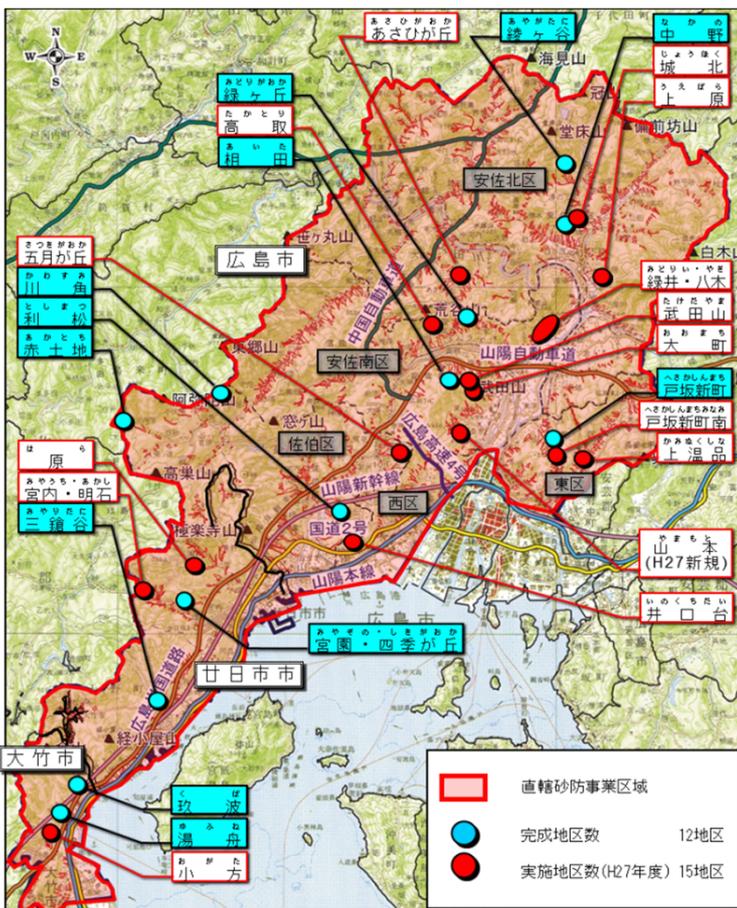
広島西部山系は広島県の西部に位置する広島市、廿日市市、大竹市の3市にまたがる地域で、平成11年の広島豪雨災害を契機に平成13年度より直轄砂防事業に着手しており、直轄砂防事業区域において土砂災害から人命や資産及び主要交通網(山陽自動車道、山陽新幹線等)を保全するために砂防堰堤等の整備を推進します。

2. 事業箇所

広島県広島市、廿日市市、大竹市

3. 平成27年度 予定事業内容

五月が丘地区、武田山地区、緑井・八木地区など15地区で調査測量・設計及び砂防施設の整備等を実施します。



五月が丘地区



武田山地区 (H27完成予定)

4. 期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家や要配慮者利用施設等が位置している地区や平成26年8月豪雨により被害を受けた地域周辺において、「砂防堰堤等の整備」などを推進することにより、土石流から人命や資産等を保全し、安全・安心な地域づくりが図られます。

新規着手

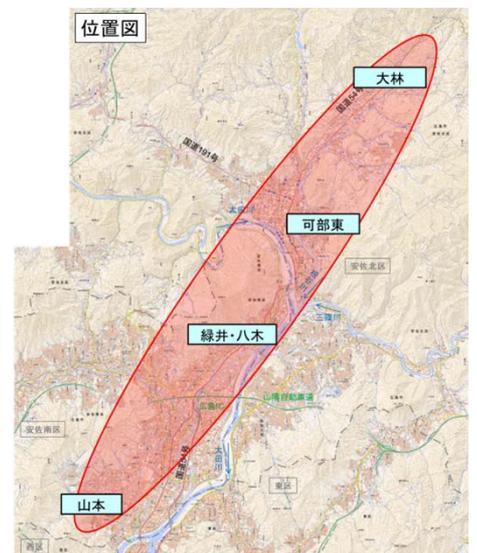
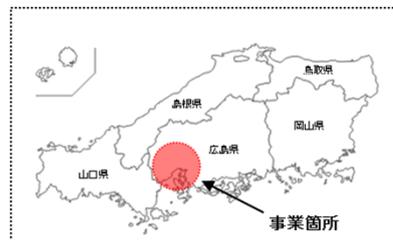
1. 事業の必要性及び概要

平成26年8月豪雨においては、広島市安佐南区から安佐北区を中心に、土砂災害による甚大な被害が発生しました。この災害により被害を受けた地域の溪流は荒廃が進んでおり、今後の降雨により土砂災害の危険性が高くなっているため、早急な対策が必要です。

土砂災害による被害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全するため、緊急的に実施している災害関連緊急事業に引き続いて5年間(H27～H31)で砂防堰堤等を集中的に整備します。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区
広島県広島市安佐南区



3. 平成27年度 予定事業内容

緑井・八木、山本、可部東、大林地区の28溪流において調査測量・設計及び砂防施設の整備等を実施します。



4. 期待される整備効果

平成26年8月豪雨により甚大な被害を受けた溪流において、集中的に砂防堰堤等の整備をおこなうことにより、再度災害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全します。

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

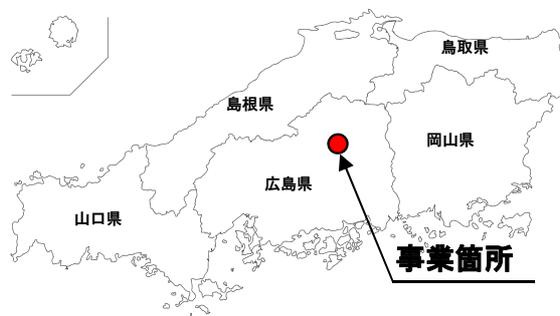
一級河川江の川水系西城川は、過去から度々、洪水被害が発生し、平成22年7月の局地的な豪雨では、庄原市川西町周辺においても大きな被害が発生しました。

また庄原市では、水道の未普及地域の解消や老朽化した明賀池の水源振替として、早期の整備が求められています。

平成27年度は、引き続きダム本体工事等を推進し事業を完成させる予定です。

2. 事業箇所

広島県庄原市川西町地区



3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、ダム本体工事、管理設備工事等を実施します。



ダム本体(平成27年3月撮影)

4. 期待される整備効果

・洪水の調節

庄原生活貯水池整備事業の完成により、西城川及び大戸川沿川地域の洪水被害の軽減を図ります。

・ダム下流の既得用水の安定化及び河川環境の保全のための流量の確保

・水道水の確保

庄原市に最大4,150m³/日の水道用水を新たに供給します。

さばがわ
佐波川一般河川改修事業
なみ
(奈美地区)

事業費391百万円
 ※佐波川水系全体

河-22
【山口県】

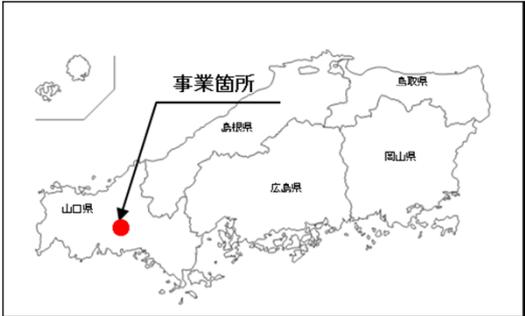
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

奈美地区は、堤防のない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。
 このため、堤防整備等の実施により早期に安全性の向上を図ります。

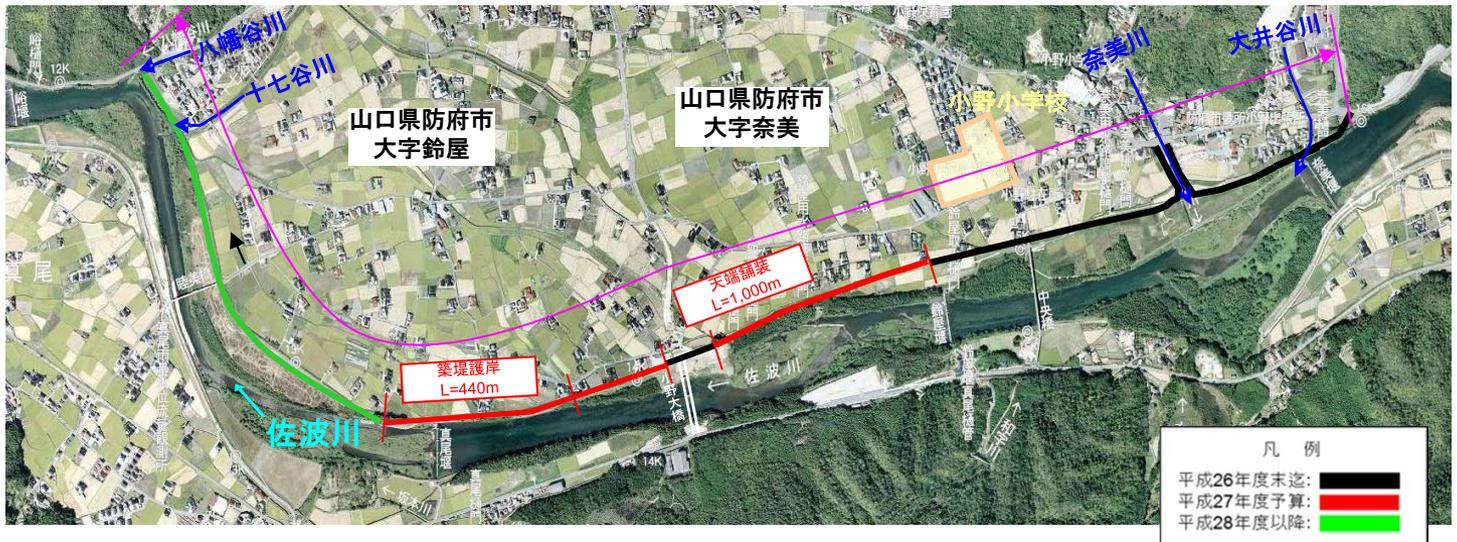
2. 事業箇所

山口県防府市奈美地区

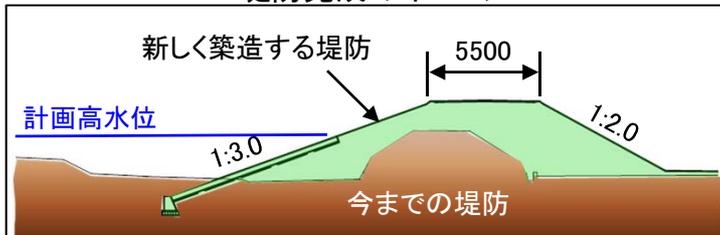


3. 平成27年度 予定事業内容

佐波川奈美地区において、築堤L=440m、天端舗装L=1,000mを実施します。



堤防完成のイメージ



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

おぜがわ
小瀬川一般河川改修事業
なかつはら おぜ
(中津原・小瀬地区)

事業費199百万円
※小瀬川水系全体

河-23

【広島県】 【山口県】

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

小瀬川は、甚大な被害を被った昭和26年のルース台風による洪水等の被害を契機に、本格的に治水事業を実施してきており、堤防の量的整備、洪水調節施設整備(弥栄ダム)、固定堰の可動化(中市堰)を実施することで、下流部の流下能力は計画高水流量をほぼ満足しています。

しかし、中津原・小瀬地区は狭窄部であるため、流下能力の確保が必要です。

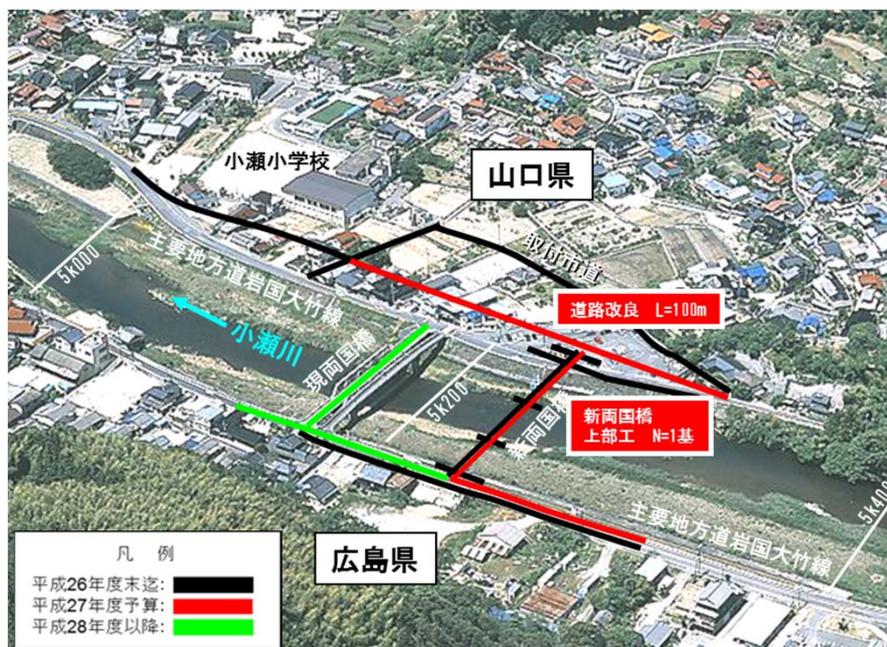
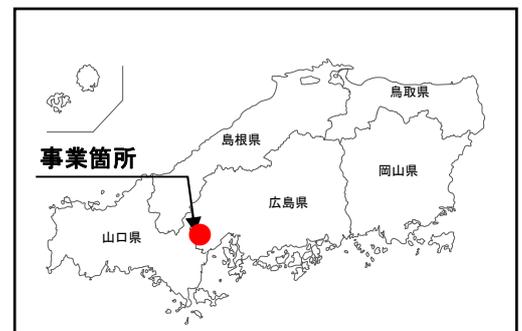
また、当該箇所にかかる両国橋(広島・山口両県を結ぶ主要地方道岩国大竹線)は、幅員拡幅と老朽化対策のため、道路管理者において橋梁改築が必要となっています。

2. 事業箇所

広島県大竹市中津原 ~ 山口県岩国市小瀬地区

3. 平成27年度 予定事業内容

小瀬川中津原・小瀬地区において、橋梁上部工等を実施します。



4. 期待される整備効果

資産が集中している小瀬、中津原箇所より下流域において、計画高水流量 $1,000\text{m}^3/\text{s}$ の概ね9割程度の流下能力が確保されることで、浸水被害の軽減が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

防府市では、第四次防府市総合計画「防府まちづくりプラン2020」において、歴史や文化の色濃いまちとの回遊散策空間を形成させることで、地域の活性化を推進することとしています。

河川管理者である、国土交通省では、防府市及び地域と連携し、水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保されるよう河川管理用通路やワンド整備等を実施します。

2. 事業箇所

山口県防府市新橋地区



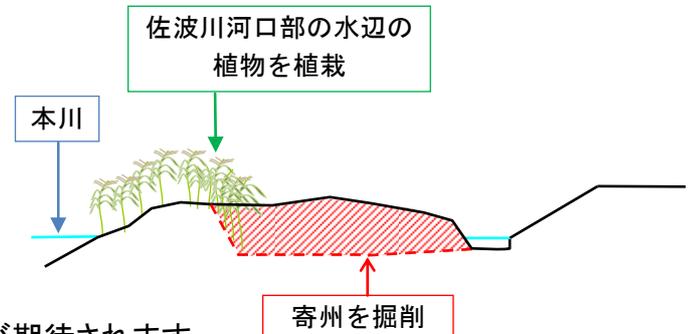
3. 平成27年度 予定事業内容

新橋地区の防府市本橋町において、ワンド整備、法面整正A=750m²等を実施します。

ワンド整備箇所



断面図(イメージ)



佐波川・新橋箇所

4. 期待される整備効果

防府市の賑わいの創出や川に親しむ機会の創出が期待されます。

佐波川とその周辺地域の自然環境、豊富な歴史や文化資産等を繋ぐ場として、市民や他より訪れる方に活用されることが期待されます。

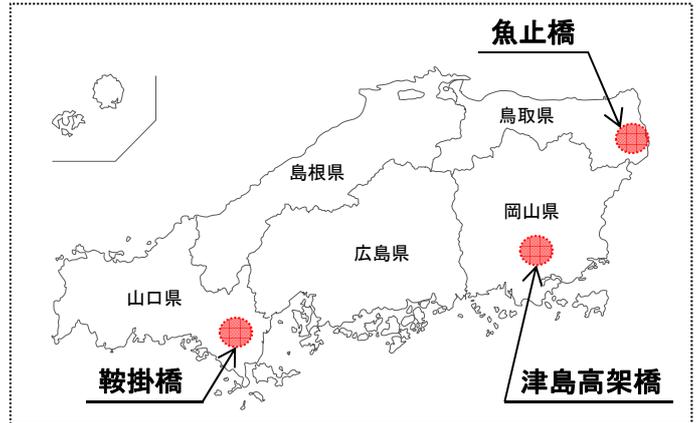
老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

定期点検の結果、修繕が必要と判断された魚止橋・津島高架橋・鞍掛橋等の修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

- ・一般国道29号 魚止橋(鳥取県)
- ・一般国道53号 津島高架橋(岡山県)
- ・一般国道 2号 鞍掛橋(山口県) 等



3. 平成27年度 予定事業内容

【代表事例】

魚止橋

や ず わかさちょうおぶね
(鳥取県八頭郡若桜町小船)
橋桁支持部材の改修等

津島高架橋

お か や ま き た つしまきょうまち
(岡山県岡山市北区津島京町)
壁高欄の補修等

鞍掛橋

い わ く に く が ま ち く ら かけ
(山口県岩国市玖珂町鞍掛)
橋桁の補修等

全景



全景



全景



損傷状況



損傷状況



損傷状況



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷

3. 平成27年度 予定事業内容

鳥取西IC～青谷IC間の事業を実施中であり、埋蔵文化財調査、改良工事、トンネル工事、橋梁工事等を推進します。うち、吉岡温泉IC～青谷IC間の平成29年度の開通を目指します。



※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査が平成27年度迄に完了する場合



写真① 福井地区 (橋を造っています)



写真② 青谷IC付近 (米子方面を望む)

4. 期待される整備効果

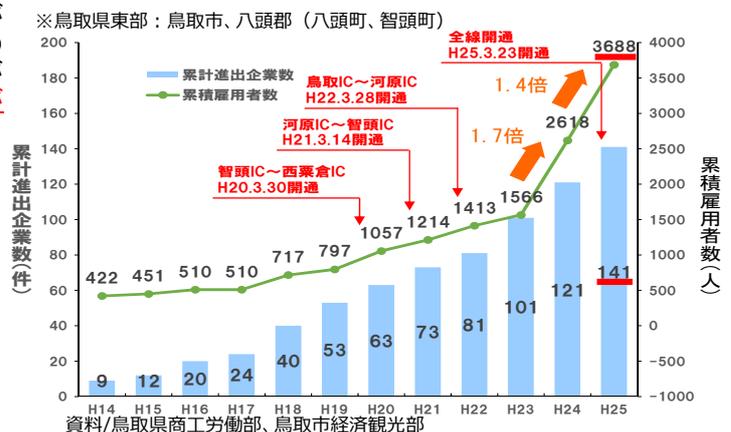
■企業立地の促進・雇用創出の促進

・鳥取自動車道の開通により鳥取県東部の企業進出が増加し、新たな雇用が生まれています。鳥取西道路の開通により鳥取県中部地域にも自専道ネットワークが広がることで企業活動を中心とした地域の活性化が期待されます。



鳥取ICに近接する東郷工業団地(H26.10月撮影)

【鳥取自動車道開通に伴う鳥取県東部の企業進出状況 (H14以降累積)】



1. 事業の必要性及び概要

事業推進

- ・山陰道 ^{よなご} 米子道路は、西伯郡大山町及び米子市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長14.2kmの自動車専用道路です。
- ・山陰道 ^{よなご} 米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

鳥取県西伯郡大山町安原～米子市陰田町
日野川東IC～米子南IC(付加車線整備区間)



3. 平成27年度 予定事業内容

橋梁工事等を推進し、付加車線の早期完成を目指します。 日本海



4. 期待される整備効果

- ・鳥取県中部から島根県東部の自専道ネットワークの整備や尾道松江線の開通により、島根県東部と鳥取県の観光ツアーが大幅に増加しています。
- ・米子道路付加車線の整備により観光シーズンなどで発生している渋滞が緩和され、山陰道の高速性・定時性が増し、広域周遊観光の多様性・広域化による観光産業の活性化が期待されます。

【首都圏発の島根県東部と同一ツアー内で周遊する地域とのツアー件数】



写真① 日野川東IC付近の渋滞状況



写真② 米子南IC付近の渋滞状況



完成予定

1. 事業の必要性及び概要

道の駅「神話の里白うさぎ」は、歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

平成18年のオープンから約10年たった道の駅「神話の里白うさぎ」は、地域の観光ボランティア等による活動を行っていますが、近年の利用者増加、余暇レジャー変化等のニーズ多様化にともない、観光総合窓口としての機能強化等、多方面での改善が必要となっています。

現在、駐車場内での車両・歩行者の輻輳が発生しており、平成27年度は区画線や標識等により場内誘導の改善を行い完成させる予定です。



2. 事業箇所

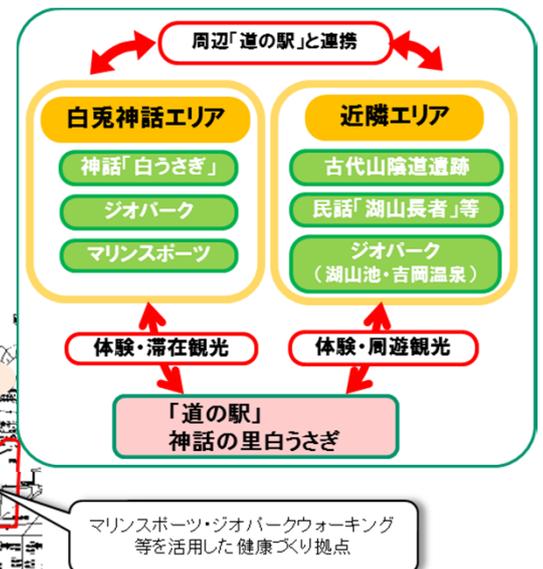
とっとり はくと
鳥取県鳥取市白兎
しんわ さと しろ
道の駅「神話の里 白うさぎ」



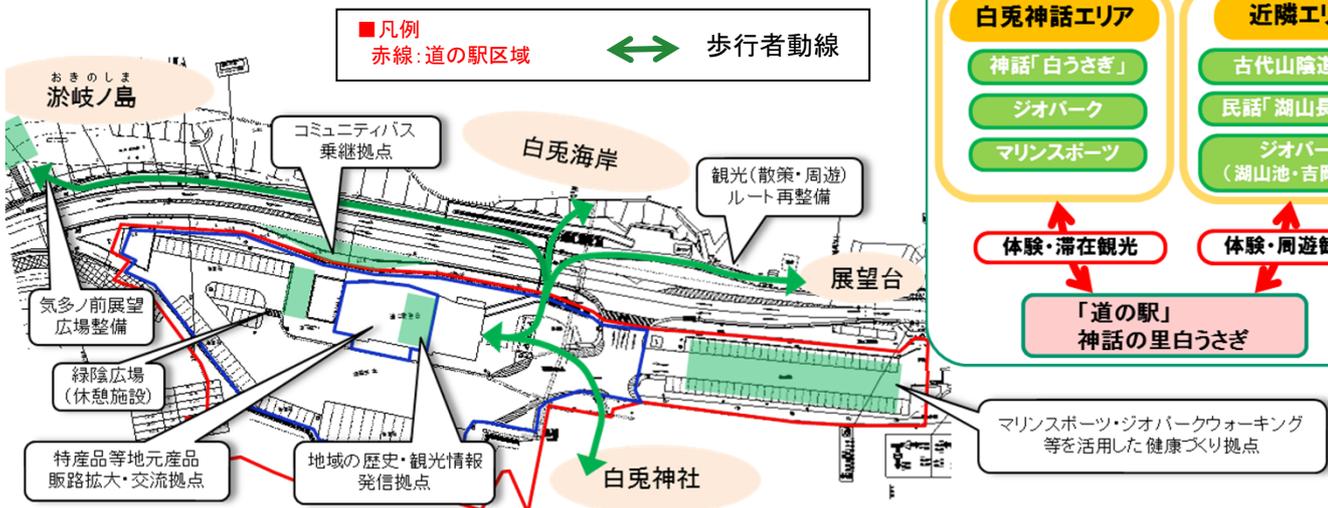
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、調査設計、工事を行います。

<連携拠点イメージ>



<「道の駅」整備提案 平面図(案)>



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策)

道-5

事業費1,200百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間であるため、スピード超過しやすい区間となっており、東方面、西方面いずれの交通も、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

2. 事業箇所

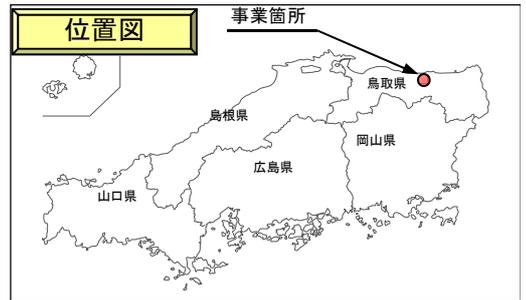
鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬、北栄町国坂～松神

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、湯梨浜・北栄地区の調査・設計、改良工事等を推進します。

4. 期待される整備効果

交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図ります。



写真① 長瀬浜入口交差点と長瀬新川入口交差点

写真② 国道9号の迂回路 (道路の高さまで土を盛っています)

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

国道29号の八頭郡八頭町花に位置する当該箇所では、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所になっています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

位置図

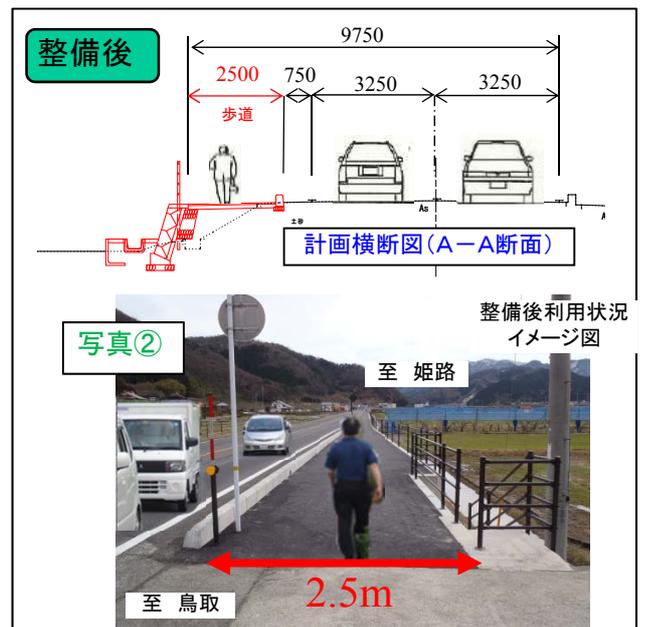
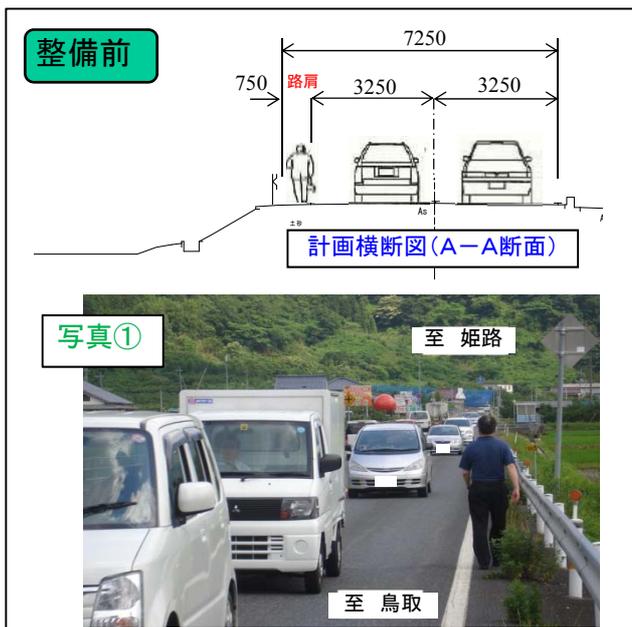
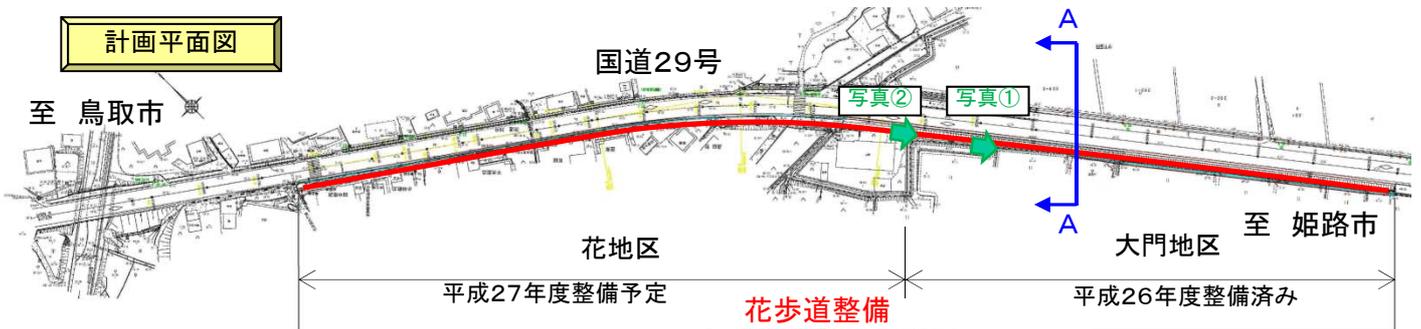


2. 事業箇所

鳥取県八頭郡八頭町花～大門

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、歩道整備工事を推進します。



一般国道178号 岩美道路（鳥取県）

道-7

事業費2,180百万円

部分完成

1. 事業の必要性及び概要

山陰近畿自動車道は、山陰道、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道と一体となって広域的な循環ネットワークを形成する延長約120kmの地域高規格道路です。このうち、岩美道路は、災害時における代替路の確保や山陰海岸ジオパークエリアを活かした広域観光圏の形成等に寄与する延長5.7kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県岩美郡岩美町陸上～本庄



3. 平成27年度予定事業内容

改良工事、橋梁工事、用地買収等を推進します。

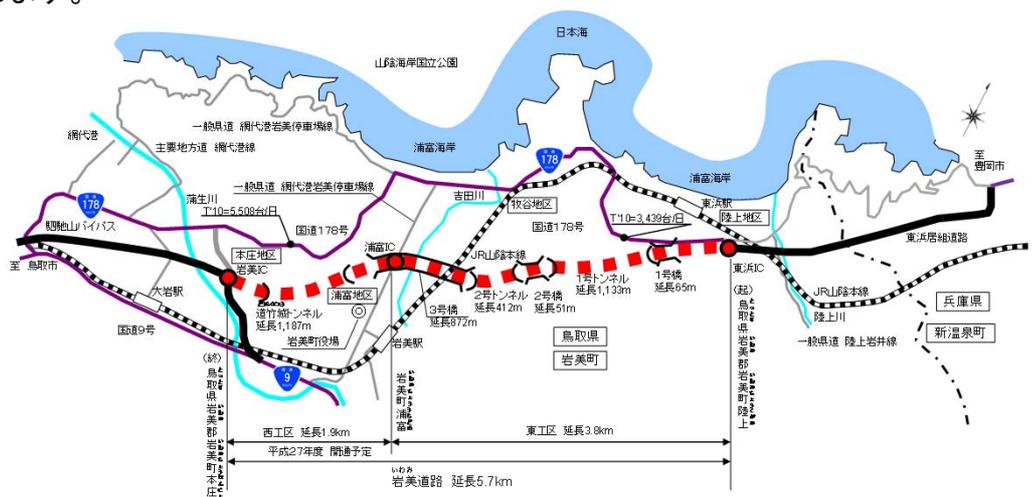
このうち、浦富IC～岩美IC間の1.9kmは、平成27年度の開通に向け、改良工事、安全施設工事、舗装工事等を推進します。



写真①「道竹城トンネル」(H27.2撮影)



写真②「岩美IC」(H26.11撮影)



4. 期待される整備効果

■ 防災幹線ルート強化

国道178号は、線形不良箇所や異常気象時に冠水する区間があり、通行止め等が頻発しています。岩美道路の整備により、代替路が確保されます。

また、大規模地震時の津波浸水想定区域を回避することから、防災幹線ルートとしての機能を強化することができます。

■ 救急医療の支援

県境地域における消防署・高度医療施設へのアクセスが向上し、迅速な救急活動が可能となります。

■ 広域観光圏の形成

山陰海岸ジオパークエリアを活かした広域観光圏の形成を図り、地域の交流、活性化に寄与します。



冠水状況(岩美町浦富)

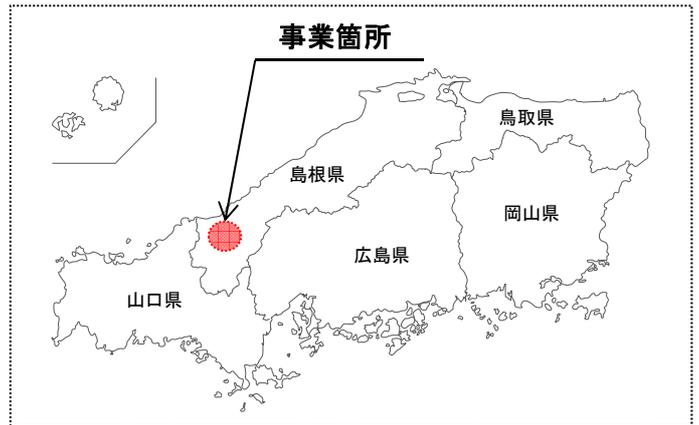
防災・震災対策

1. 事業の必要性及び概要

とみた
富田地区等の防災対策を実施することで、地震発生時等における被害の軽減や、円滑かつ迅速な応急活動を支援し、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

とみた
一般国道9号 富田地区等



3. 平成27年度 予定事業内容

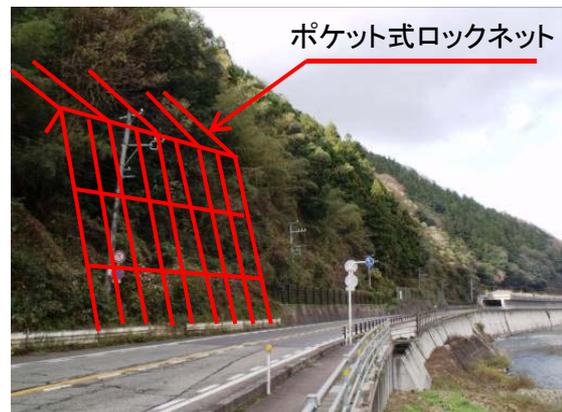
【代表事例】

とみた つわのちようとみた
富田地区(島根県津和野町富田)
ポケット式ロックネットの設置

全景



完成イメージ



岩塊開口状況



対策例



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

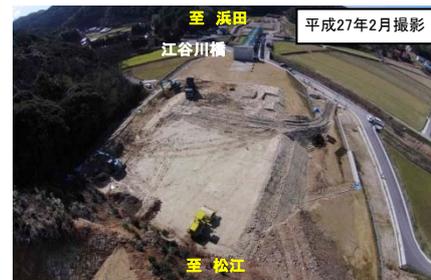
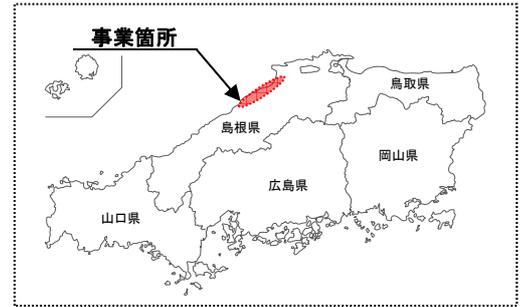
山陰道 出雲～仁摩間は、島根県の東西の連絡性の強化、災害時の代替路の確保、現道の急カーブや急勾配の解消等を目的とした延長37.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県出雲市知井宮町～島根県大田市仁摩町大國

3. 平成27年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。
うち、多伎IC～大田IC間は平成30年度の開通に向け工事を推進します。



写真①江谷川橋東側を浜田方向に望む (道路の高さまで山を切り、土を盛っています)



写真②口田儀第2トンネル内(浜田方向) (トンネルを掘っています)

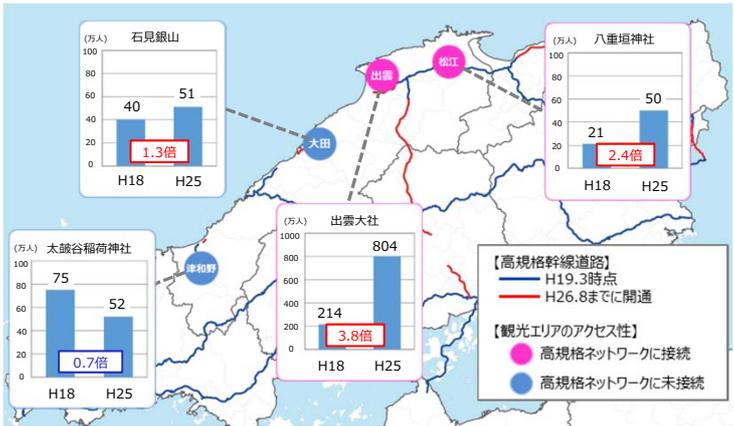


写真③東神西高架橋を松江方向に望む (橋を造っています)

4. 期待される整備効果

■観光・交流の活性化

- 山陰道などの高規格幹線道路の開通により、島根県内の観光地入込客数は増加傾向になっています。
- 自動車専用道でつながっている地域では2倍以上増加していますが、その他の地域ではやや伸び悩みを見せており、今後山陰道の整備により、**周遊観光の拡大が期待**されます。



山陰道 浜田・三隅道路、三隅・益田道路

道-10

事業費6,100百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

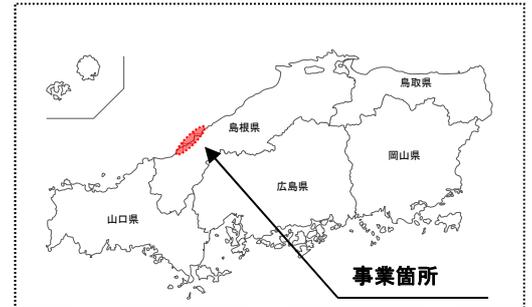
山陰道 浜田・三隅道路(延長14.5km)、三隅・益田道路(延長15.2km)は浜田～益田間の代替路の確保及び国道9号浜田市内の交通混雑の緩和等を目的とした自動車専用道路です。

2. 事業箇所

島根県浜田市原井町～島根県益田市遠田町

3. 平成27年度 予定事業内容

用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、舗装工事等を推進します。うち、浜田・三隅道路は平成28年度全線開通に向け工事を推進します。



【写真②】西村地区施工状況(橋を造っています)



【写真②】三隅益田道路(遠田ICから松江方面側を望む)



4. 期待される整備効果

■貨物輸送時間短縮、流通拡大

・山陰道の整備により、主要都市間が高規格道路でつながり、貨物の輸送時間の短縮、輸送コストの低減、確実な輸送の確保が図られ、**販路の拡大、雇用の確保、地域経済の活性化が期待**されます。

浜田港からの輸出入



※) 図中の輸送先(輸送元)は購入量(搬出量)が多い代表的な地域を示しており、すべてのコンテナがその地域に運ばれているものではない。
資料) 浜田港振興会

部分完成

1. 事業の必要性及び概要

三刀屋拡幅は、雲南市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長4.1kmの道路です。

2. 事業箇所

島根県雲南市三刀屋町三刀屋～雲南市木次町里方

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の4車線開通に向け舗装工事、橋梁工事等を推進します。



写真①里熊大橋を広島方向に望む (橋を架けています)



写真②里方地区を広島方向に望む (道路を広げる工事をしています)

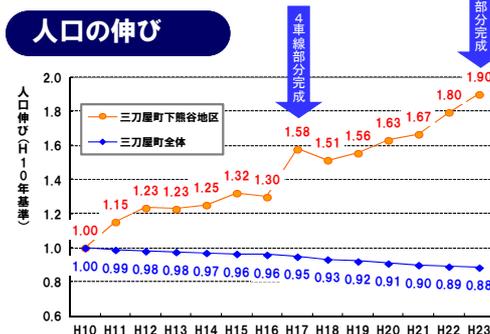


写真③雲南市庁舎建設中

4. 期待される整備効果

雲南市のまちづくりを支援

沿線では宅地化や商業地化が進んでおり、現在整備を行っている沿線には雲南市庁舎の移転が進められ、平成27年度に完成予定など、雲南市のまちづくり、地域活性化を支援しています。



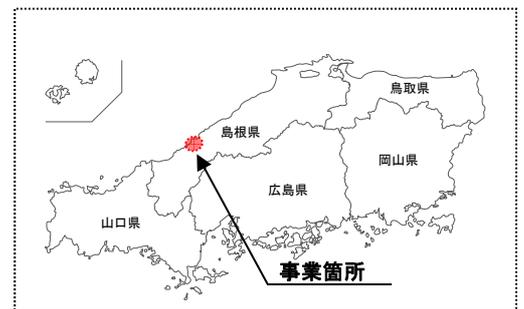
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

道の駅「ゆうひパーク浜田」は、島根県内で唯一山陰道に直結する道の駅であり、夕日と日本海が眺望できる絶好のロケーションを活かし、地域産品のグルメスポット、石見の縁結びスポットとして地域交流の拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

浜田・三隅道路の一部区間(原井IC～西村IC間)が平成27年3月に完成し、市街地中心部への流入経路が転換し、通過車両、観光客の増加のみならず、浜田市民の利用者の増加が期待されています。

平成27年度は、身障者用駐車場の利便性向上のため上屋の設置を完成させる予定です。



2. 事業箇所

島根県浜田市原井町

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は身障者用駐車場の上屋設置の工事を行います。



ゆうひパーク浜田 現況



ゆうひパーク浜田から見た夕日



ゆうひパーク浜田 整備後イメージ



島根9号交差点改良等 (乙吉地区自転車歩行者道整備)

道-13

事業費12百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、周辺に吉田小学校があり、通学路として利用されていますが、歩道が狭く歩行者の安全性が確保されていない状況となっています。

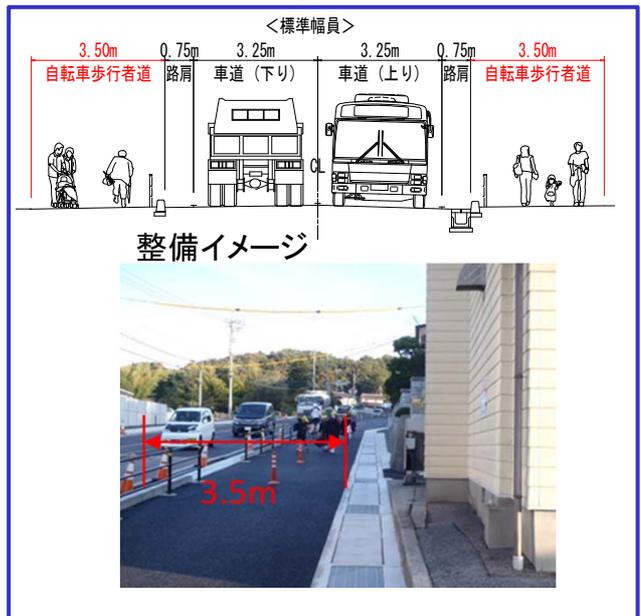
このため、自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

島根県益田市乙吉町

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、歩道整備工事を推進します。



島根54号交差点改良等

道-14

さかもと (坂本歩道整備)

事業費78百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、鍋山小学校の通学路として指定されているが、歩道幅員が0.75mと非常に狭く、また、一部歩道が設置されていないことから歩道の連続性が確保されていないため、学童・高齢者等の歩行者が危険な状況におかれている箇所となっています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、既設橋梁の下り側に側道橋(歩道)を設置することにより、学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

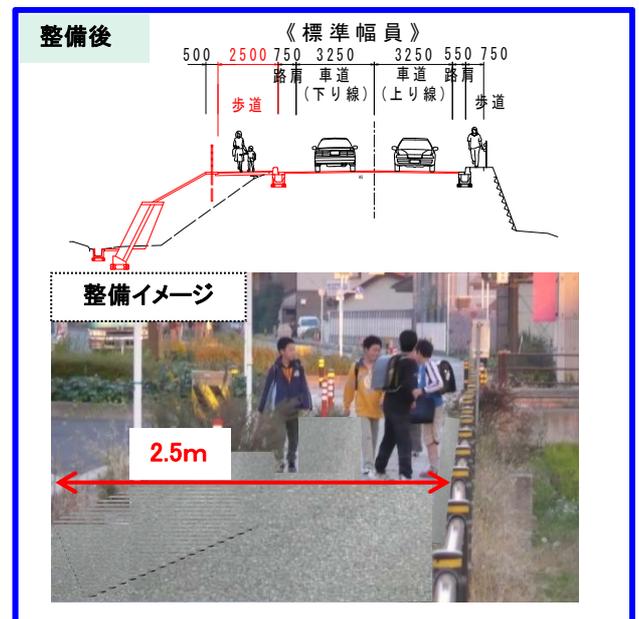
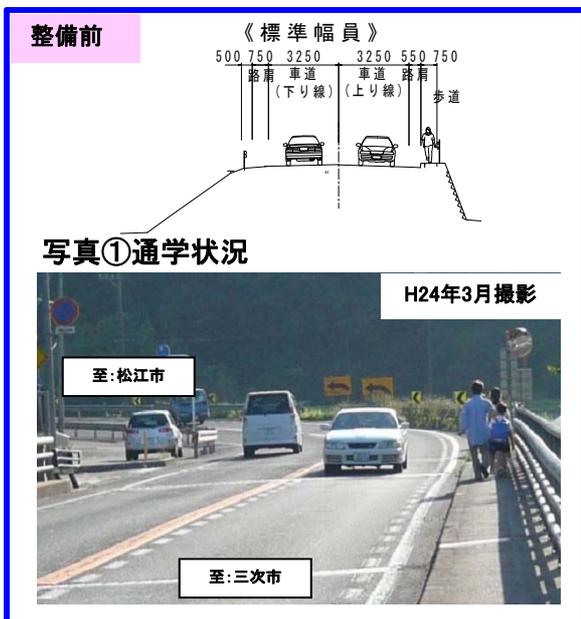
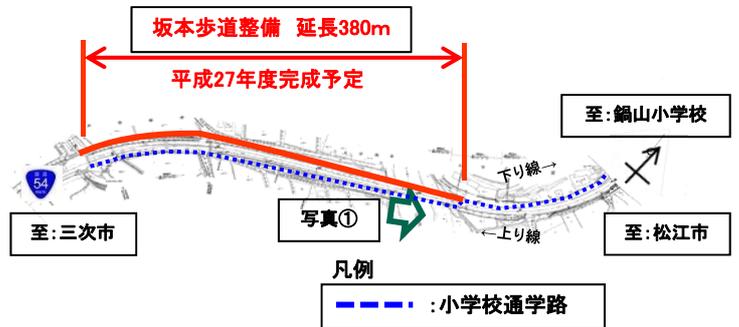
2. 事業箇所

島根県雲南市三刀屋町坂本～乙加宮



3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、用地買収、工事を推進します。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

倉敷立体は倉敷市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、都市機能の充実、地域経済の発展を目的とした延長7.7kmの道路です。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市新田～倉敷市船穂町船穂



3. 平成27年度 予定事業内容

平成31年度の4車線開通に向け橋梁工事等を推進します。



【写真①】高梁川大橋施工予定箇所

4. 期待される整備効果

■ 渋滞の緩和

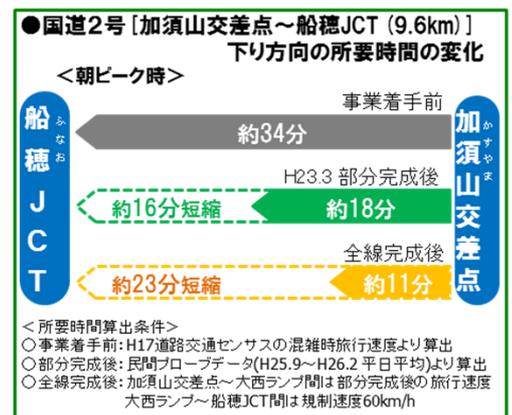
- 高梁川西・東詰合流点付近を先頭に渋滞が発生しており、著しい速度低下が発生しています。
- 倉敷立体の整備により、**渋滞が緩和**、**円滑な物流活動を支援**することが期待されます。



【写真②】国道2号下り方面の渋滞状況 (高梁川東詰合流点手前から西方面を望む)



【写真③】国道2号上り方面の渋滞状況 (船穂JCTから東方面を望む)



一般国道2号 玉島・笠岡道路、笠岡バイパス

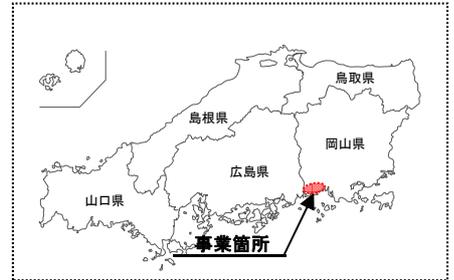
道-16

事業費1,385百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

玉島笠岡道路(延長4.5km)、玉島笠岡道路(Ⅱ期)(延長9.4km)、笠岡バイパス(延長7.6km)の3事業(合計延長21.5km)は、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展等を目的とした道路です。



2. 事業箇所

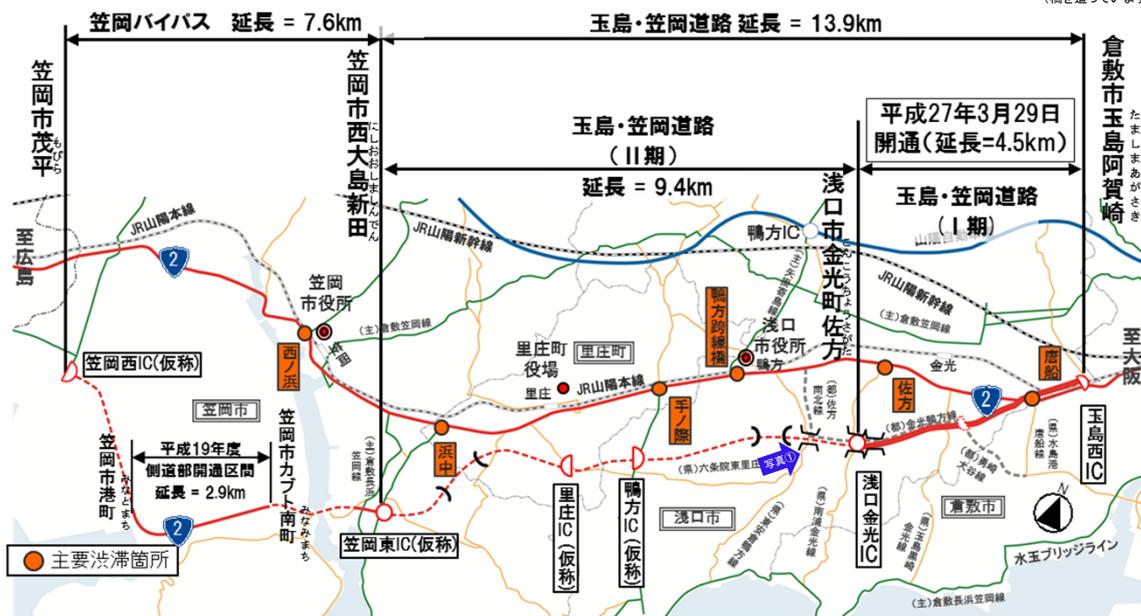
岡山県倉敷市玉島阿賀崎～笠岡市茂平



【写真①】六条院地区施工状況 (橋を造っています)

3. 平成27年度 予定事業内容

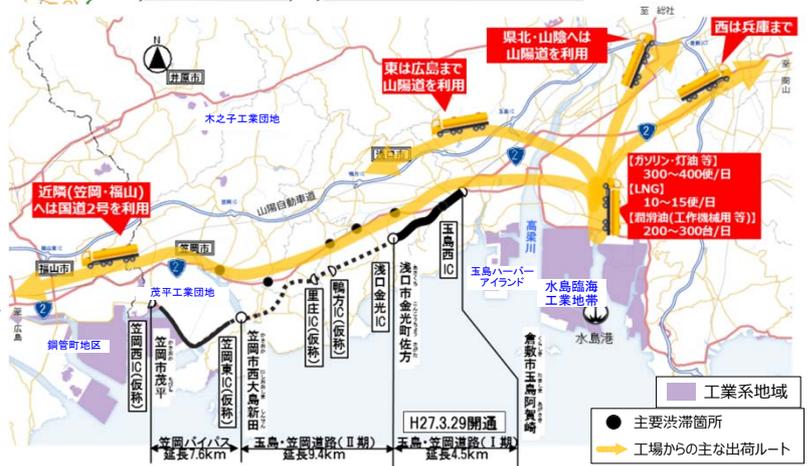
用地買収、改良工事、橋梁工事を推進します。



4. 期待される整備効果

■ 地域産業の活性化

- 玉島・笠岡道路、笠岡バイパス周辺には水島臨海工業地帯等の大規模工業地区が立地しています。
- 現在は福山・笠岡への輸送は国道2号を利用していますが、玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスにより、より安定した製品の輸送が可能となり、**地域の産業活動の活性化**が期待されます。



一般国道180号 総社・一宮バイパス

道-17

事業費3,074百万円

1. 事業の必要性及び概要

部分完成

総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区榎津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路です。

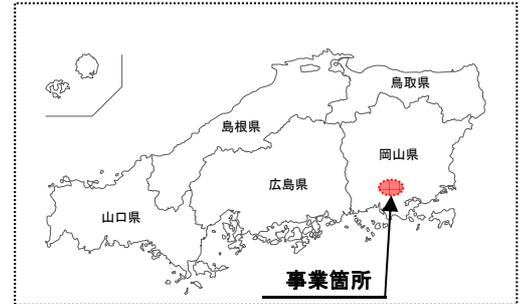
2. 事業箇所

岡山県岡山市北区榎津～岡山県総社市井尻野

3. 平成27年度 予定事業内容

埋蔵文化財調査、舗装工事、改良工事等を推進します。

うち、岡山市北区榎津～岡山市北区一宮山崎間の平成27年度の部分開通を目指します。



【写真①】 榎津地区
(道路の高さまで土を盛っています。)



【写真②】 総社地区
(道路の高さまで土を盛っています。)

4. 期待される整備効果

■ 高速ICアクセスの向上による事業活動支援

- ・中四国の交通結節点となる位置、豊富な水資源、岡山市、倉敷市からの通勤圏であることを主な要因として総社市への企業進出数が増加し、新規雇用者数が増加しています。
- ・一方で、国道180号では渋滞が発生し、道路の幅員も狭いことから、進出企業から岡山総社ICまでのアクセスの改善を望む声が上がっています。
- ・総社・一宮バイパスの整備により、岡山総社IC及び岡山市へのアクセス性が向上し、**更なる企業進出及び雇用増加が期待**されます。

H20年以降の進出企業

● 総社市への進出企業数と新規雇用者数



注1:平成26年8月現在であり、立地予定の企業も含む。
注2:立地後、総社市内の別の箇所へ移転した事業所を含む。
資料:総社市資料

岡山2号交差点改良等 さいだいじなかの (西大寺中野IC改良)

道-18

事業費216百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、連続高架橋の区間ですが、ランプからの本線合流が信号制御となっているため、本線上で信号停止する車両に後続車両が追突する事故が多発しています。平成25年7月には多重追突事故により約4時間にわたり国道2号の上下線が通行止めとなりました。

このため、橋梁を延伸し、信号制御から加速車線により合流する方式に変更することで本線上の信号停止を解消し、追突事故の抑制を図ります。

2. 事業箇所

おかやま ひがし あさごえ さいだいじなかの
岡山市東区浅越～西大寺中野

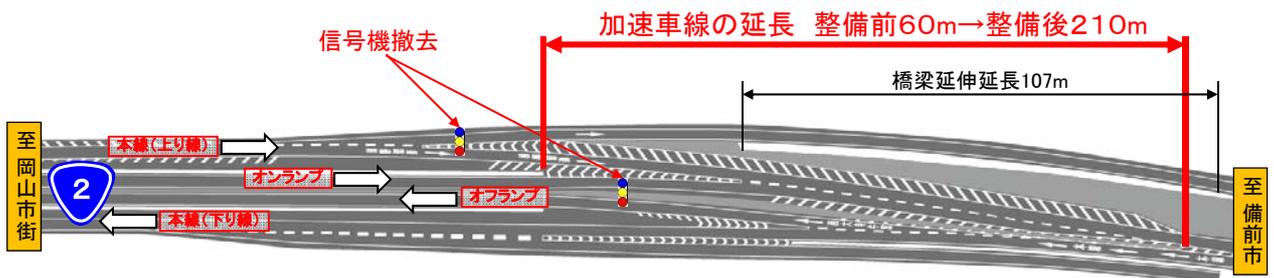
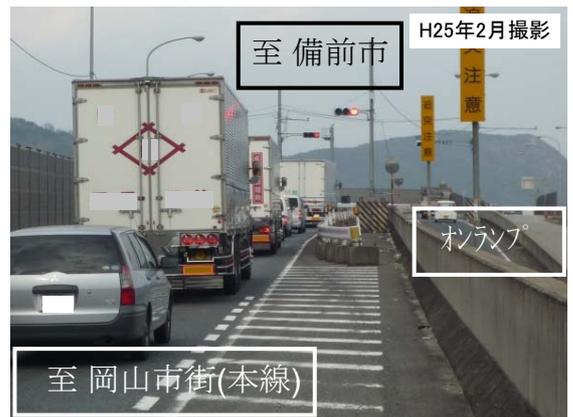


3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度の完成に向け、橋梁上部工事を推進します。



写真①本線信号停止状況



一般国道374号 湯郷勝央道路(延伸) (岡山県)

道-19

事業費1,030百万円

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

「湯郷勝央道路(延伸)」は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成し、勝央JCT(ジャンクション)により中国縦貫自動車道と接続することで、山陽自動車道・中国横断自動車道岡山米子線とも一体となって、県内の循環高速道路網を形成する延長約1.1kmの道路です。

本路線の整備により、美作圏域と岡山圏域の交流促進による地域の活性化が期待されるとともに、沿線の慢性的な交通混雑の解消及び交通の安全確保が図られます。

2. 事業箇所

岡山県勝田郡勝央町黒土

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の開通に向け、改良工事、安全施設工事、舗装工事等を推進します。

進捗状況写真



①勝央JCTランプ部施工状況(H27.3撮影)

4. 期待される整備効果

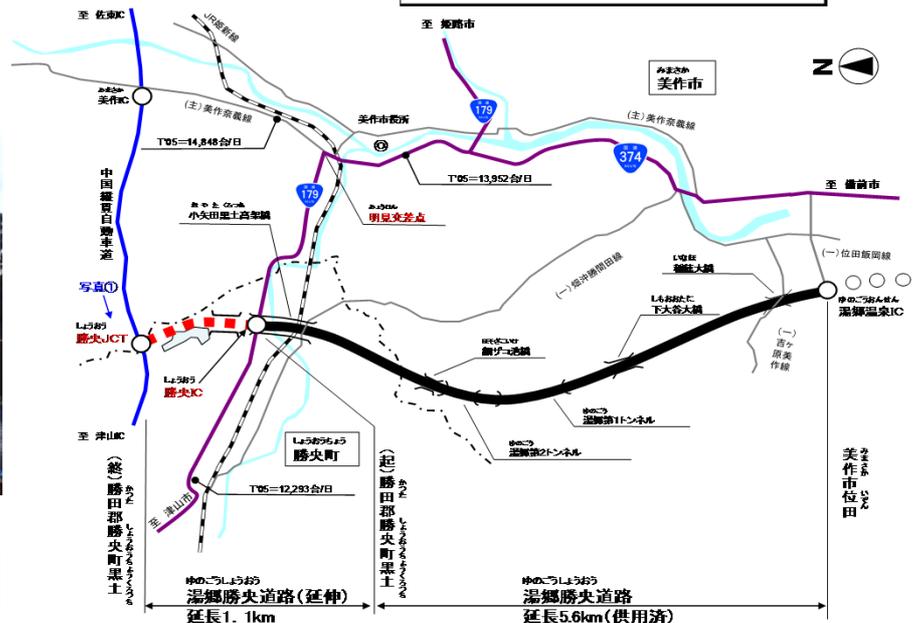
■ 慢性的な交通混雑の回避

現道部の渋滞ポイント(明見交差点:朝ピーク時渋滞長400m)をバイパス回避することで、定時性を確保します。

また、当該交差点への流入交通が減少することにより、現道部の交通混雑の解消が期待されます。



明見交差点渋滞状況



■ 広域的な循環型ネットワークの形成



おかやまあこう なかい しじかい **道-20**
主要地方道 岡山赤穂線(岡山環状道路)中井～宍甘
(岡山市) 事業費 40百万円

1. 事業の必要性及び概要

新規事業化

岡山環状道路は、中心市街地への流出入交通や通過交通を適切に誘導・分散導入することによる交通混雑の解消に資する約40kmの地域高規格道路です。
 岡山環状道路の一部を構成する主要地方道岡山赤穂線は、岡山環状道路の北東部にあたり、国道250号及び周辺道路の交通の円滑化や交通事故の減少等を目的とした事業です。

2. 事業箇所

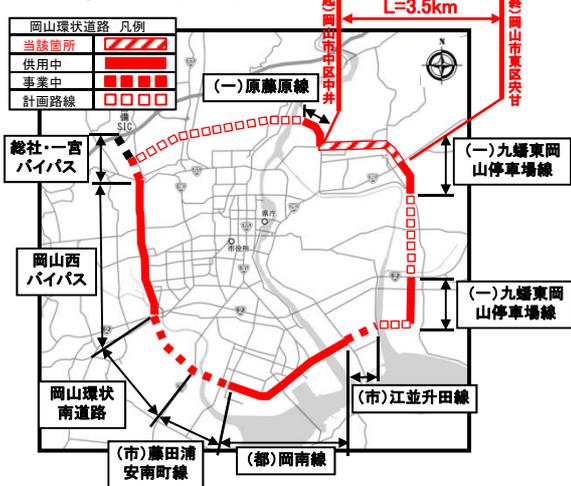
岡山県岡山市中区中井～東区宍甘

3. 平成27年度 予定事業内容

測量・設計を推進します。



岡山環状道路位置図



4. 期待される整備効果

□ 渋滞の解消・緩和

国道250号、県道今在家東岡山停車場線の渋滞が緩和されます。

主要渋滞箇所: 4箇所 ⇒ 3箇所解消、1箇所緩和

□ 交通事故の削減

事故率の高い区間が連続している国道250号、県道今在家東岡山停車場線の交通事故が約3割削減されます。

写真①: 主要渋滞箇所



写真②: 国道250号の渋滞



防災・震災対策

1. 事業の必要性及び概要

かしま
神島橋等の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害の軽減や、円滑かつ迅速な応急活動を支援し、緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

かしま
一般国道2号 神島橋等

3. 平成27年度 予定事業内容

【代表事例】

かしま ふくやま にしかしま
神島橋(広島県福山市西神島)
コンクリート巻立て、落橋防止装置設置



全景



完成イメージ



近景



落橋防止装置設置状況



1. 事業の必要性及び概要

一般国道2号松永道路は、福山市神村町～尾道市高須町に至る全長7.1kmのバイパスで、交通混雑の緩和、交通安全性の向上、都市間の連携強化等を目的とした道路です。

事業推進

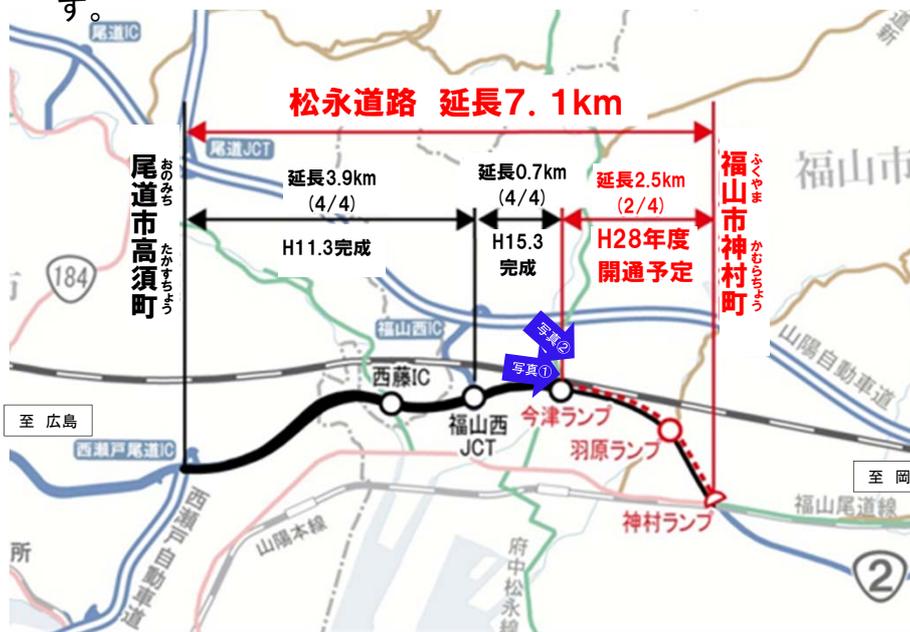
2. 事業箇所

広島県福山市神村町～尾道市高須町



3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度の4車線完成に向け、舗装工事等を推進します。



【写真①】今津ランプ付近から岡山方面を望む（道路を4車線にしています）



【写真②】車線減少区間付近の渋滞状況

4. 期待される整備効果

■物流の効率化の支援

- ・福山港は重要港湾に位置づけられており、物流の拠点となっています。
- ・これまでの松永道路の整備により、大型車が多く利用していますが、2車線区間への車線減少部を先頭とした渋滞が発生しています。
- ・4車線完成により渋滞が緩和し、更なる物流の効率化、企業活動の活性化が期待されます。



一般国道2号 安芸バイパス、東広島バイパス

道-23

事業費2,864百万円

1. 事業の必要性及び概要

安芸バイパス・東広島バイパスは、東広島市と広島市内の地域間連携強化、交通渋滞の緩和、及び交通安全の確保を目的とした延長17.3kmの自動車専用道路です。

事業推進

2. 事業箇所

広島県東広島市八本松町～安芸郡海田町南堀川町

3. 平成27年度 予定事業内容

改良工事、橋梁工事等を推進します。



写真③海田高架橋施工状況 (橋を造っています)



写真②神原高架橋施工状況 (橋を造っています)



写真①大山高架橋施工状況 (橋を架けています)

4. 期待される整備効果

■ 物流の効率化・企業活動の活発化

東広島市内には多くの工業団地が集積し、年々立地企業数も増加しています。また、広島港からのコンテナ取扱量が多い地域でもあり、バイパス整備による所要時間の短縮や定時性の向上に伴い、**物流の効率化、企業活動の活発化**が期待されます。



資料/平成20年度全国輸出入コンテナ 貨物流動調査 陸上流動のみ対象(単位: フレート・トン)

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

やすみやま くれ
休山改良は、呉市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長2.6kmの道路です。

2. 事業箇所

くれ ほんどおり くれ あ がちゅうおう
広島県呉市本通六丁目～呉市阿賀中央六丁目

3. 平成27年度 予定事業内容

平成29年度の4車線開通に向けトンネル工事等を推進します。



【写真①】休山トンネル西口 渋滞状況 (呉市中心部方面を望む)



【写真②】休山トンネル東口 (呉市中心部方面を望む) (道路を4車線にしています)



4. 期待される整備効果

■ 渋滞の緩和

やすみやま
・休山トンネルでは両側坑口付近での車線減少部を先頭とした渋滞が発生しています。

やすみやま
・休山トンネルの4車線化により、**渋滞の緩和**が期待されます。

■ 移動時の定時性の確保

ひがしひろしま くれ
・東広島・呉道路とのネットワーク効果が発揮されることにより、**広島空港などへのアクセス性が向上し移動時の定時性の確保**が期待されます。

期待される道路の役割(効果)



※整備前:H11道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。
※現在:東広島・呉道路は規制速度(70km/h)その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出。
※整備後:東広島・呉道路の設定速度は80km/h、休山改良の設定速度は50km/hとして算出。

広島2号交差点改良等 (瀬戸自転車歩行者道整備)

道-25

事業費231百万円

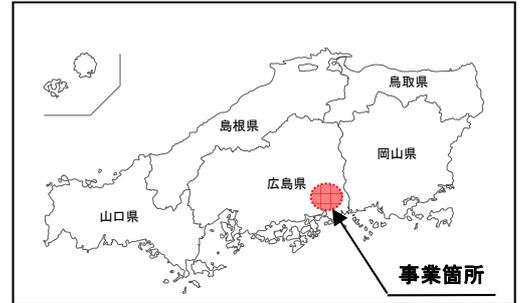
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、周辺に福山中学校や福山高校等があり、歩行者や自転車の通行が多い箇所です。

国道2号の南側は歩道が無く、北側は歩道が狭いため、並行する市道が通学路となっていますが、車両が多く、危険な状況です。

このため、国道2号に自転車歩行者道の整備を行い、児童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。



2. 事業箇所

広島県福山市瀬戸町

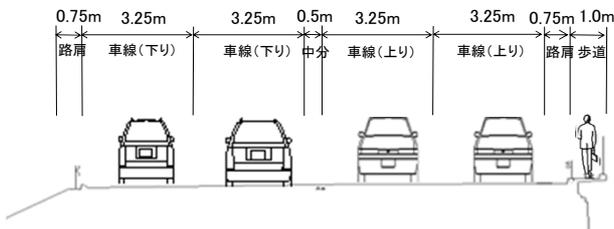
3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、自転車歩行者道整備工事を推進します。



整備前

《標準幅員》



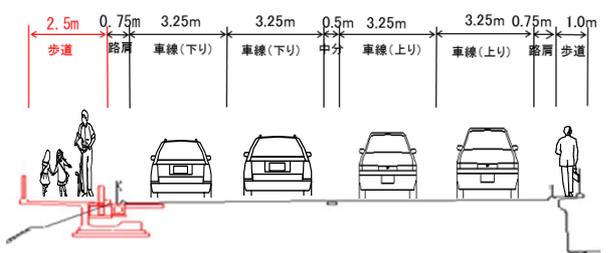
写真①市道通学状況

写真②国道2号の歩道状況



整備後

《標準幅員》



整備中の状況



広島54号交差点改良等 (吉田地区自転車歩行者道整備)

道-26

事業費24百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、吉田小学校や吉田中学校などの通学路として利用されていますが、歩道が狭く、一部区間は歩道が無いため、平成24年度の通学路緊急合同点検では対策として歩道整備を行うことで合意されています。

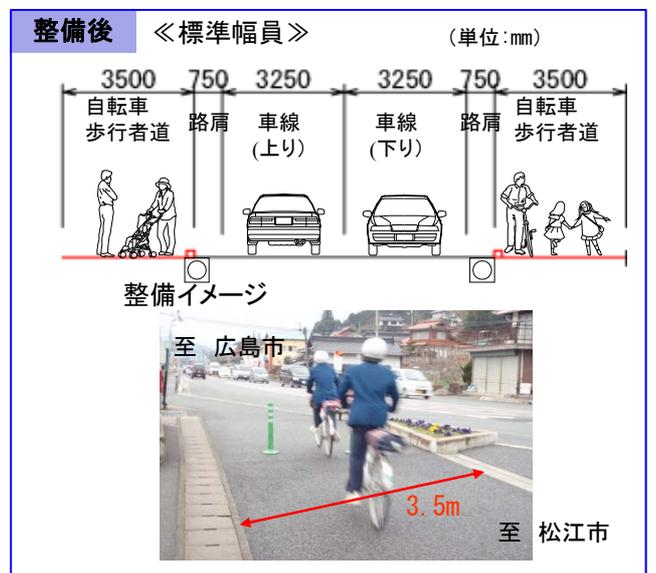
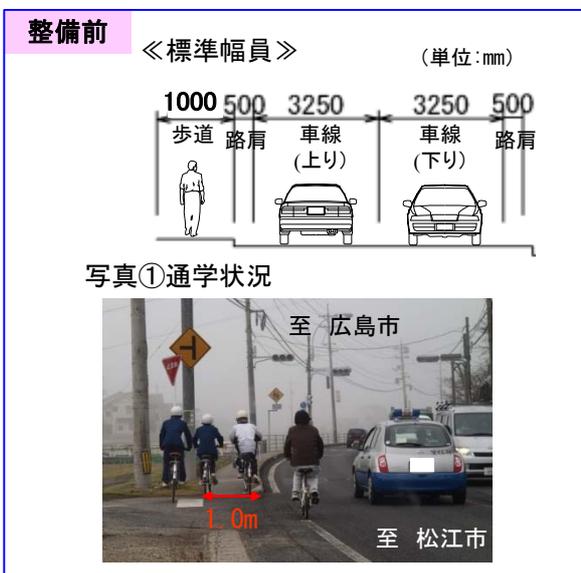
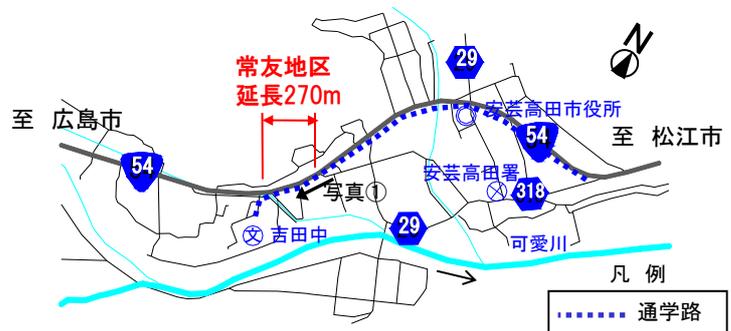
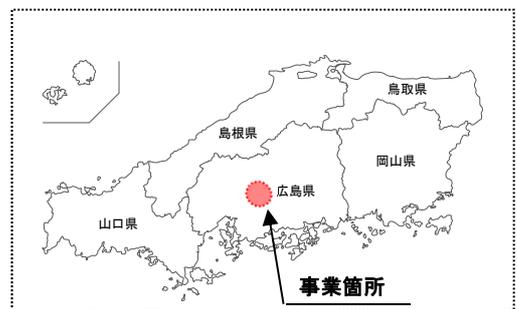
このため、自転車歩行者道の整備を行い、学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

広島県安芸高田市吉田町山手～吉田

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、調査設計を推進します。



広島185号交差点改良等 (広島自転車歩行者道整備事業)

道-27

事業費291百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、JR阿賀駅・広島駅・新広島駅を中心としたバリアフリー重点整備地区の移動経路に指定されています。現在、約5千人/12hの歩行者・自転車が通行しており、特に朝夕の通勤・通学時間帯は離合が困難で、非常に危険な箇所となっています。

このため、自転車及び歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

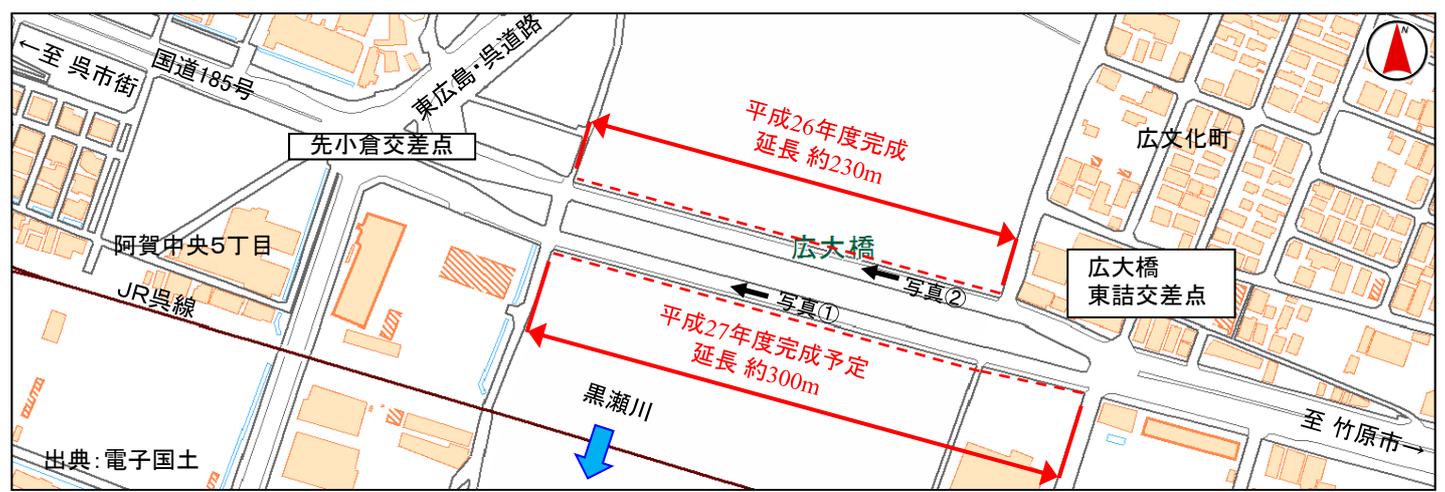
2. 事業箇所

広島県呉市阿賀中央～広文化町



3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、工事を推進します。



整備前 写真①:通勤・通学状況

0.50m	3.25m	3.25m	0.75m	1.40m	0.40m
路肩	車道	車道	路肩	歩道	

9.80m

至 呉市街

至 竹原市

1.4m

整備後 写真②:歩道拡幅後の状況

0.50m	3.25m	3.25m	0.75m	2.50m	0.40m
路肩	車道	車道	路肩	自転車歩行者道	

10.90m

至 呉市街

至 竹原市

2.5m

平成26年度完成区間

広島2号電線共同溝 (福山東電線共同溝)

ふくやまひがし

道-28

事業費700百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

ふくやまひがし

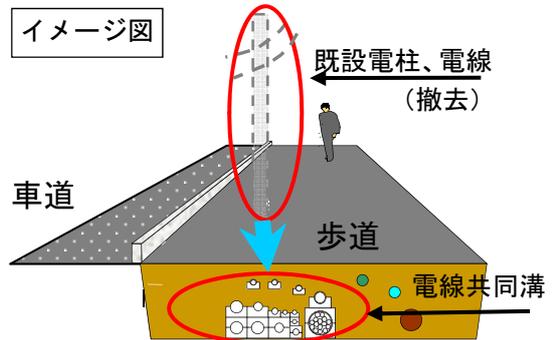
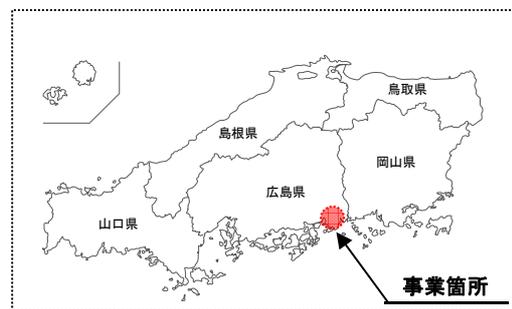
福山東電線共同溝は、電線類を地中化し、歩道の電柱を無くすことにより、安全で快適な通行空間の確保、震災時における緊急輸送道路の確保、都市景観の向上を目的とした事業です。

2. 事業箇所

ふくやま ひがしてしろちょう ふくやま おうじちょう
広島県福山市東手城町～福山市王子町

3. 平成27年度予定事業内容

平成28年度の完成に向け、調査設計、本体工事、
連系管路工事及び連系設備工事を推進します。



4. 期待される整備効果

- 道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な通行空間の確保が図られ、災害時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な景観形成が期待されます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

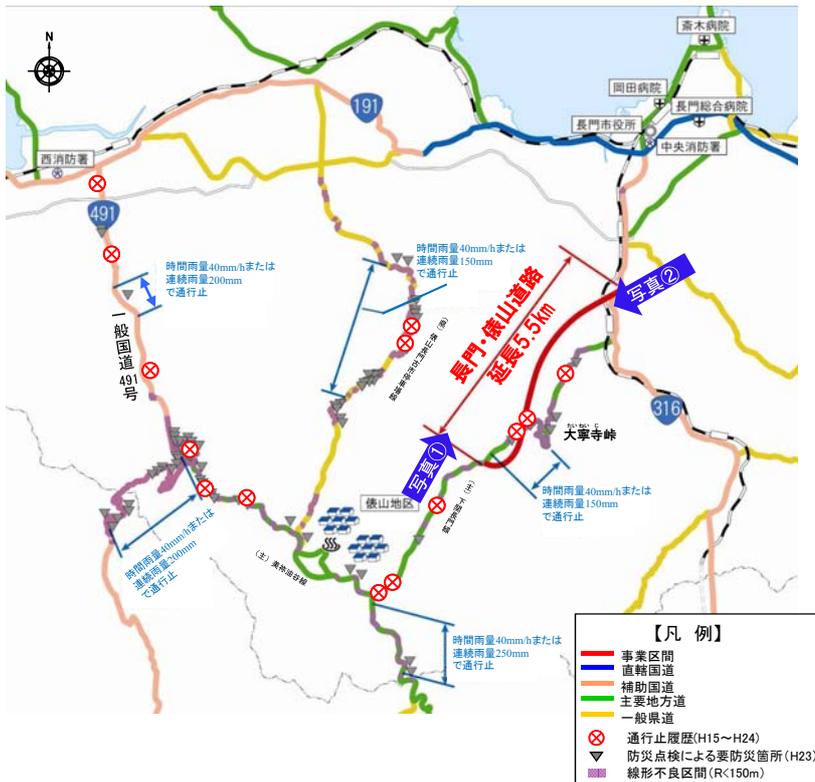
山陰道 長門・俵山道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、俵山地区の災害時の孤立回避を目的とした、延長5.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本

3. 平成27年度 予定事業内容

改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。



写真① 事業進捗状況
(長門市俵山小原から長門市街方面を望む)



写真② 深川湯本地区施工状況
(道路の高さまで土を盛っています)

4. 期待される整備効果

■災害時等の代替路線の確保

平成21年7月の中国・九州北部豪雨では下関長門線大寧寺峠で大規模な道路崩落が発生し交通が途絶しました。長門・俵山道路の整備により、災害時における代替路が確保され、信頼性の高いネットワークが形成されます。

H21年7月中国・九州北部豪雨による大寧寺峠の被災状況

道路の崩落が発生

全面通行止:平成21年7月21日9:00
～平成21年9月28日13:00

約2ヶ月間

片側通行規制:平成21年9月28日13:00
～平成21年11月30日17:00

約2ヶ月間



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

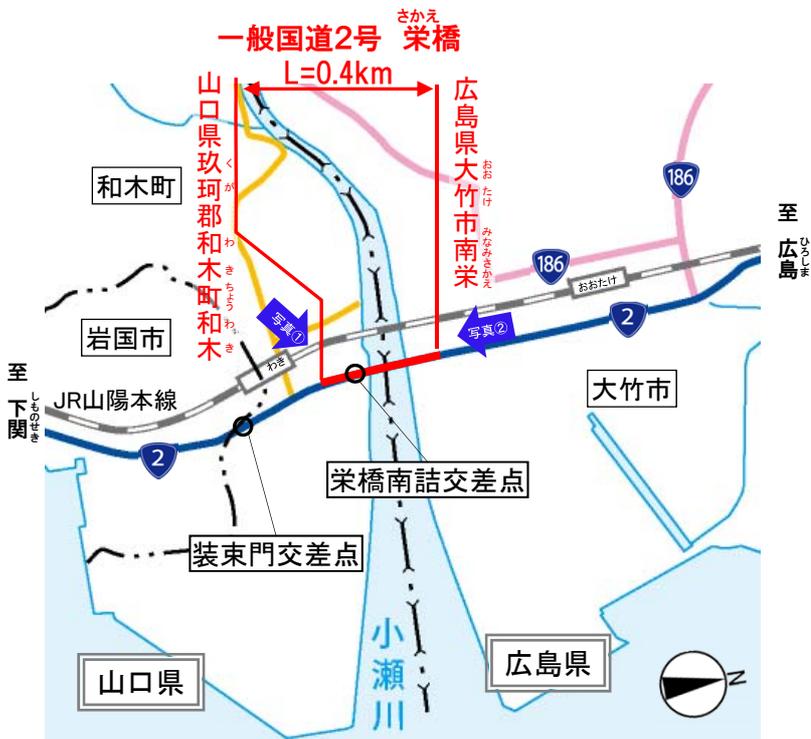
^{さかえ} 栄橋は、^{ひろしま} 広島県及び^{やまぐち} 山口県の県境に位置する老朽化した橋梁の架け替えを目的とした延長0.4kmの橋梁架け替え事業です。

2. 事業箇所

^{おおたけ} 広島県大竹市南栄二丁目～^{くが} 山口県玖珂郡和木町和木五丁目

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度の完成に向け、橋梁工事等を推進します。



【写真①】施工状況(山口県側から広島県側を望む)



【写真②】施工状況(古い橋を撤去しています)

4. 期待される整備効果

- 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性の確保
- 歩道幅員増による安全で快適な歩行空間の確保



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】コンクリート落下

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

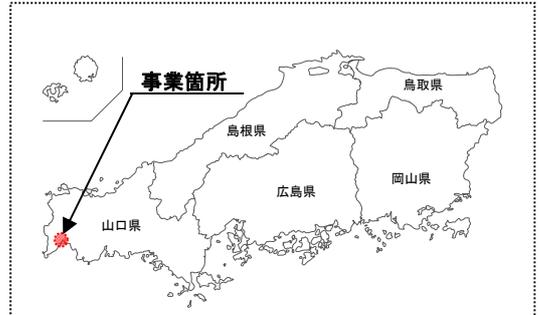
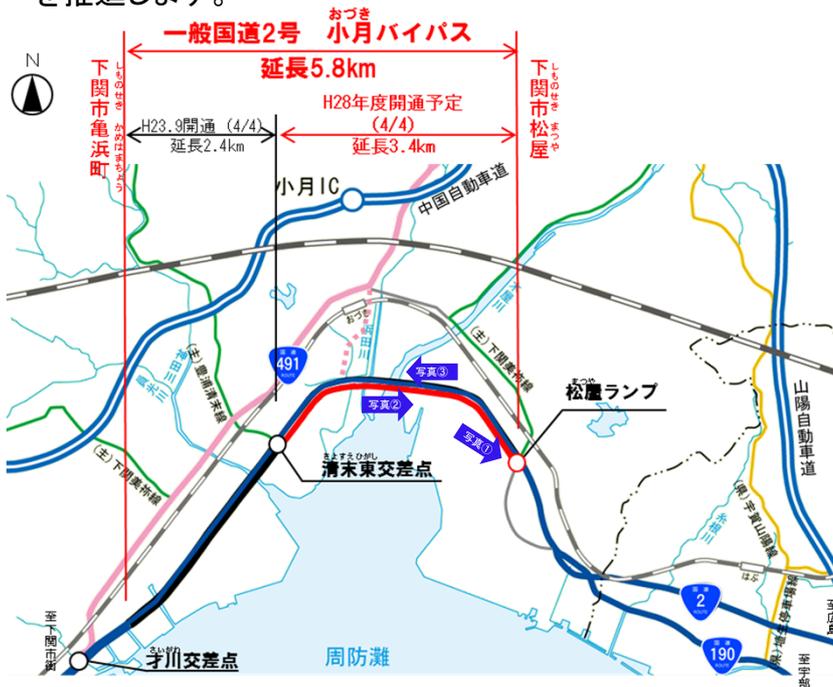
小月バイパスは、下関市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長5.8kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県下関市松屋～下関市亀浜町

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度の4車線開通に向け、改良工事、橋梁工事等を推進します。



【写真①】松屋ランプ施工状況 (橋を造っています)



【写真②】木屋川大橋施工状況 (橋を架けています)

4. 期待される整備効果

交通混雑の緩和

- ・清末東交差点以東の2車線区間は交通量が多く、渋滞が発生しています。
- ・併行している国道491号においても渋滞が発生しており、小月バイパスの4車線化により混雑緩和が期待されています。



【写真③】木屋川付近渋滞状況

山口190号交差点改良等 (小野田地区交差点改良)

事業費123百万円

道-32

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、右折車線が設置されていない交差点、交通量に対し必要な車線数の不足及び車線数減少部における渋滞・滞留車両への追突事故が発生する危険な箇所である。また、小野田中学校の通学路として利用されていますが、歩道が狭く学童等の利用者の安全性が確保されていない状況です。

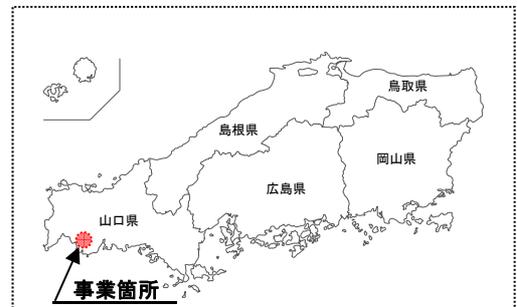
このため、右折車線の確保などの交差点改良と自転車歩行者道の整備を行い、交通事故の削減を図るとともに、学童等の歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

山口県山陽小野田市稲荷町

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、改良や舗装の工事を推進します。



整備前

2.50	《標準幅員》			
0.75	3.25	3.25	0.75	
	車道	車道		

写真①通学状況

H24年10月撮影
至下関市
至宇部市

整備後

3.50	《標準幅員》						3.50		
0.75	3.25	3.25	1.00	0.25	0.25	3.00	3.25	3.25	0.75
自転車歩行者道	車道	車道	右折車線	車道			車道	車道	自転車歩行者道

整備イメージ

3.5m

山口2号電線共同溝 みなみはなおか (南花岡電線共同溝)

道-33

事業費870百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

みなみはなおか

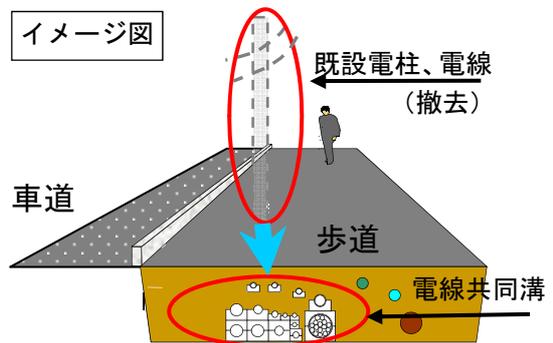
南花岡電線共同溝は、電線類を地中化し、歩道の電柱を無くすことにより、安全で快適な通行空間の確保、震災時における緊急輸送道路の確保、都市景観の向上を目的とした事業です。

2. 事業箇所

くだまつ みなみはなおか 山口県下松市南花岡1丁目～くだまつ みなみはなおか 下松市南花岡6丁目

3. 平成27年度予定事業内容

平成27年度の完成に向け、調査設計、本体工事、連系管路工事、連系設備工事及び路面復旧工事を推進します。



施工前

施工後(イメージ)

4. 期待される整備効果

・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な通行空間の確保が図られ、災害時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な景観形成が期待されます。

主要地方道 山口宇部線(朝田～江崎)

道-34

(山口県) 事業費2,000百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

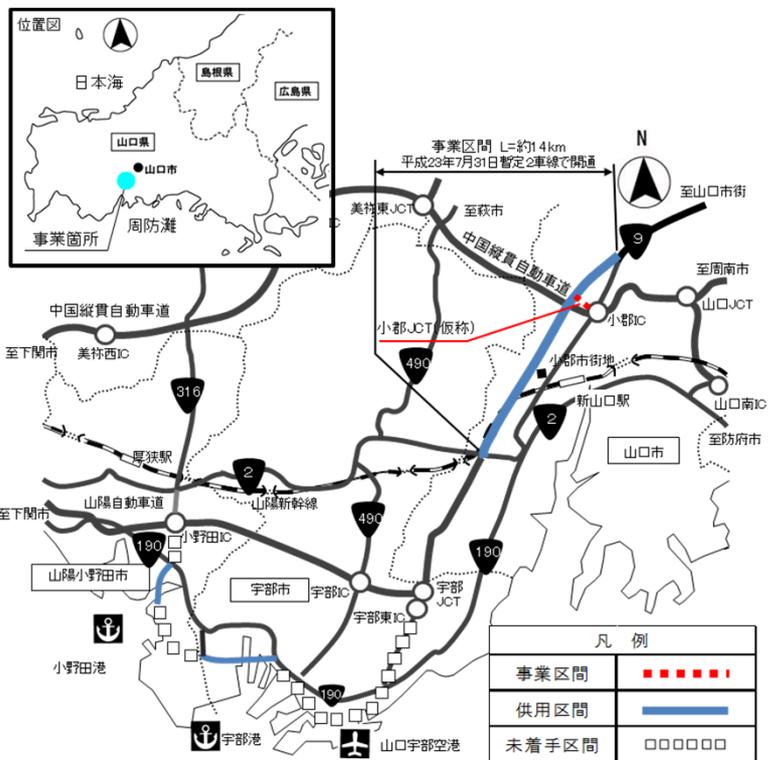
主要地方道山口宇部線(朝田～江崎)は、県央部の中心「山口」から交通の要衝「小郡」を經由して、県内有数の産業集積地「宇部・山陽小野田」を結ぶ地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」の一部を形成し、山陽新幹線 新山口駅や山口宇部空港などの高速交通拠点へのアクセス強化、市街地の渋滞緩和などを目的とした延長約14kmの自動車専用道路で、平成23年度に開通しました。現在、平成27年度の完成に向け、中国縦貫自動車道と連結する小郡JCT(ジャンクション)(仮称)の工事を実施しています。

2. 事業箇所

山口県 山口市 朝田～江崎

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、改良工事、橋梁上部工事、舗装工事等を推進します。

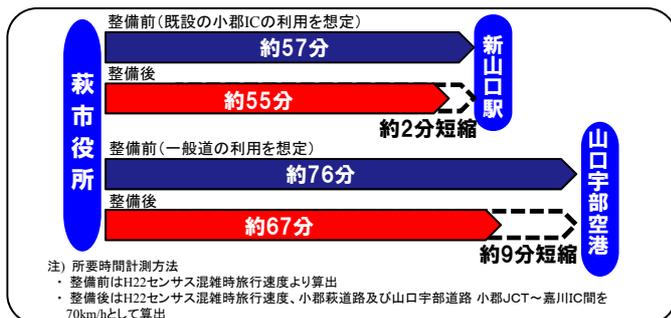


地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」の整備状況

4. 期待される整備効果

■ 高速交通拠点へのアクセス強化

小郡JCT(仮称)の整備により、高速道路の相互の乗り入れが可能となり、萩市役所～新山口駅の所要時間が約2分、山口宇部空港間が約9分の短縮が期待される。同時に、定時性も確保され、利便性の向上が期待できる。



完成予定

1. 事業の必要性及び概要

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路では、冬季風浪や台風等により港口付近で大小の波が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

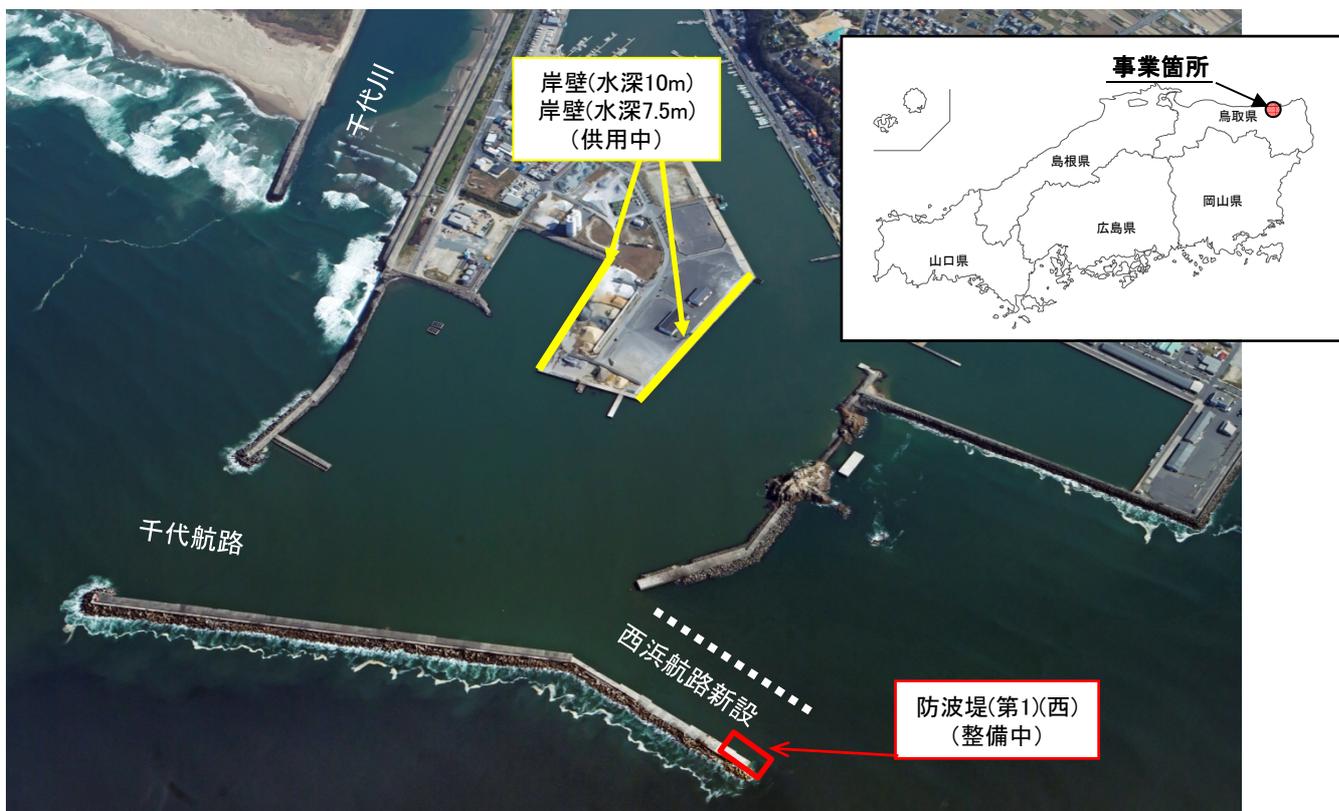
このため、西浜航路を新設するとともに、港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、防波堤(第1)(西)の基礎工、消波工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方には国内海上輸送網にミッシングリンクがあり、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられています。また、境水道沿いの既存施設は老朽化や背後用地の不足、船舶航行の安全性の課題から、他地区への移転・集約が急務となっています。さらに、境港に定期就航している航路が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流機能確保並びに離島航路等の継続的な就航が課題となっています。

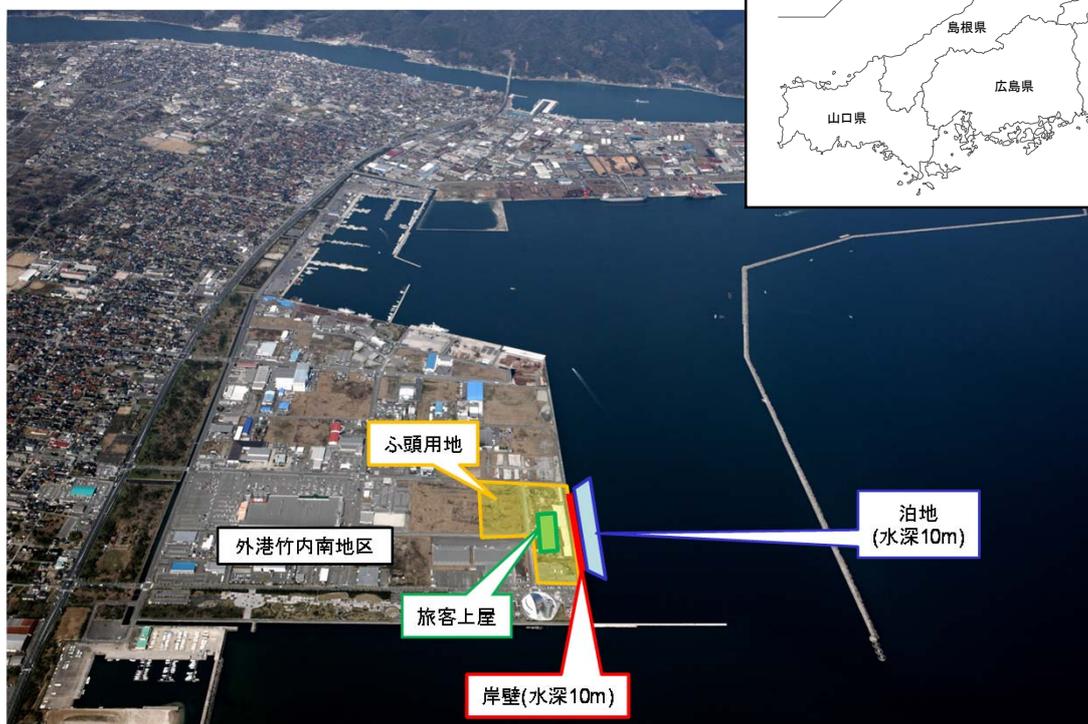
このため、境水道側の既存施設の移転や新たな内貿RORO船に対応したターミナルを整備・耐震化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

岸壁(水深10m)の整備に必要な調査、設計等を実施します。



4. 期待される整備効果

本事業により、既存ストックが整理され、維持管理コストが削減されるとともに、国内海上物流のミッシングリンクの解消、並びに物流効率化により、境港背後圏をはじめとした山陰地域の産業競争力強化が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えており、日本海沿岸地域を代表する国際物流拠点として更なる役割を担うことが期待されています。

しかし、貨物量の増加や船舶の大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

このため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備します。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、岸壁(水深12m)の裏込・裏埋工、上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の国際競争力強化、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要ふ頭を擁しているが、福井地区と背後圏を結ぶ臨港道路福井1号線は、国道9号接続部周辺において、増加する港湾車両の渋滞が慢性化しています。また、同地区には耐震強化岸壁が整備されていることから、大規模地震時において、耐震強化岸壁と背後圏とを結ぶ円滑な輸送路の確保が必要となっています。

このため、本事業では浜田港周辺で整備が進められている山陰自動車道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる港湾貨物の安全かつ効率的な輸送を図るため、また、大規模地震時の緊急物資等の円滑な輸送を図るために、浜田港福井地区において臨港道路の整備を行います。

2. 事業箇所

島根県浜田市

3. 平成27年度 予定事業内容

臨港道路福井4号線の橋梁下部工事、橋梁上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、山陰自動車道等の道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、利用企業の国際競争力強化を通じ、地域産業の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模地震発生時には、福井地区の耐震強化岸壁を活用した緊急物資輸送等を通じて、背後圏の経済活動を出来る限り早期に回復することに寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

島根県東部に位置する河下港は、石材、石灰石、スラグ、LPG(液化石油ガス)などを扱う物流拠点港であり、また、島根県地域防災計画で防災拠点として位置づけられている港です。

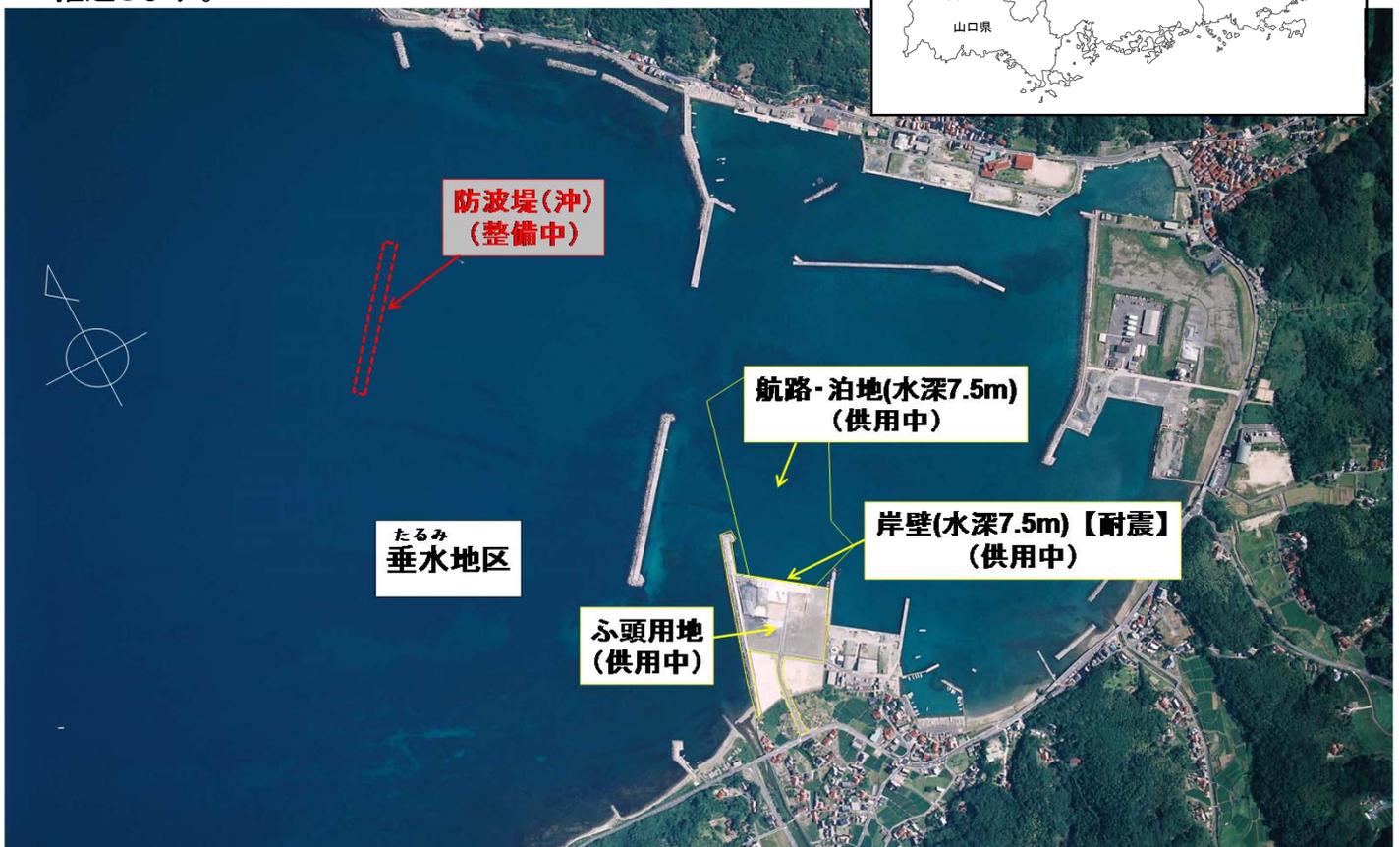
しかし、北西に開く湾口からの風浪による岸壁の稼働率低下が課題となっていることから、港内静穏度の確保を図るための防波堤(沖)の整備を推進します。

2. 事業箇所

島根県出雲市

3. 平成27年度 予定事業内容

防波堤(沖)の本体工事、消波工事、被覆・根固工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、災害活動時の拠点港として地域全体の防災機能の向上に寄与します。
また、背後の荷主等事業者の物流機能の効率化が促進され、地域産業の競争力の強化に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(穀物、鉄鉱石)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や、玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

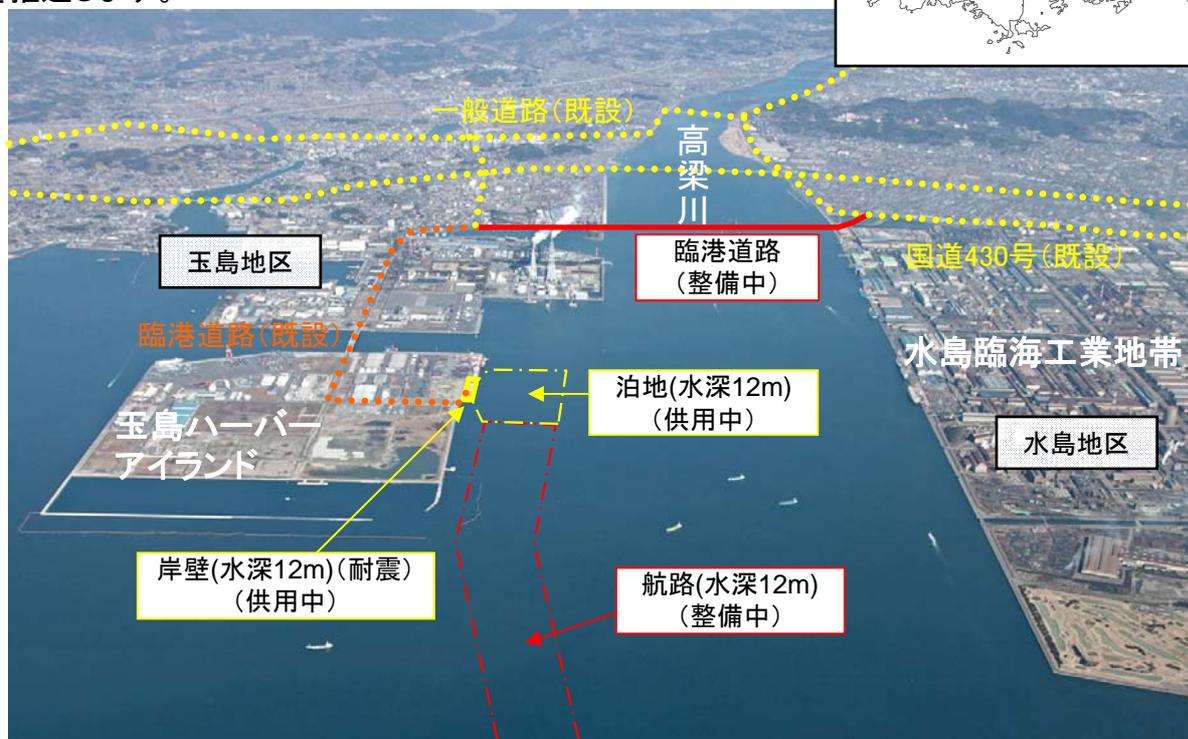
このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度臨港道路部分の完成に向け、橋梁上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、物流コストを削減し、基幹産業の国際競争力の強化を図り、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化を通じ、地域防災力向上に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

国際拠点港湾であり、平成23年5月には国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）にも選定された水島港においては、今後、船舶の大型化への対応等の機能強化を効率的に進めるため、浚渫土砂の処分先を確保することが喫緊の課題となっています。

このため、^{たましま}玉島地区において、浚渫土砂を受け入れるための埋立護岸の整備を推進します。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成27年度 予定事業内容

廃棄物埋立護岸の上部工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、航路・泊地の機能強化に伴う浚渫土砂の効率的な処分が可能となり、水島港における事業効果の早期発現に寄与します。

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

広島港廿日市地区^{はつかいち}は、広島港における輸入貨物量の約5割を占め、各種製造業のエネルギー源としての需要が拡大しているLNG(都市ガスの主原料となる液化天然ガス)の一大輸入拠点です。

しかし、広島港の施設は、水深の制約により世界標準の大型船が利用できないことから、輸送コストの増加を招いており、その対策が急務となっています。

このため、安定的かつ安価なエネルギー供給による各種製造業の競争力の確保を図るべく、官民の連携により、水深12mの航路・泊地の整備を推進します。

2. 事業箇所

広島県廿日市市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、航路・泊地(水深12m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、LNGの安定的かつ安価な供給が図られ、LNGを利用する各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

完成自動車輸出用の自動車運搬船は、近年大型化が進み6万GT級が主流となっていますが、広島港には対応する岸壁がないため、背後圏の自動車関連産業は非効率な海上輸送を強いられています。また、海外向け自動車部品の輸出コンテナは近年増加していますが、狭隘なターミナルで一般貨物と輻輳した荷役を行っています。一方、宇品地区の既設岸壁は、昭和30～40年代に建設された施設であり、老朽化対策・耐震強化対策が求められています。

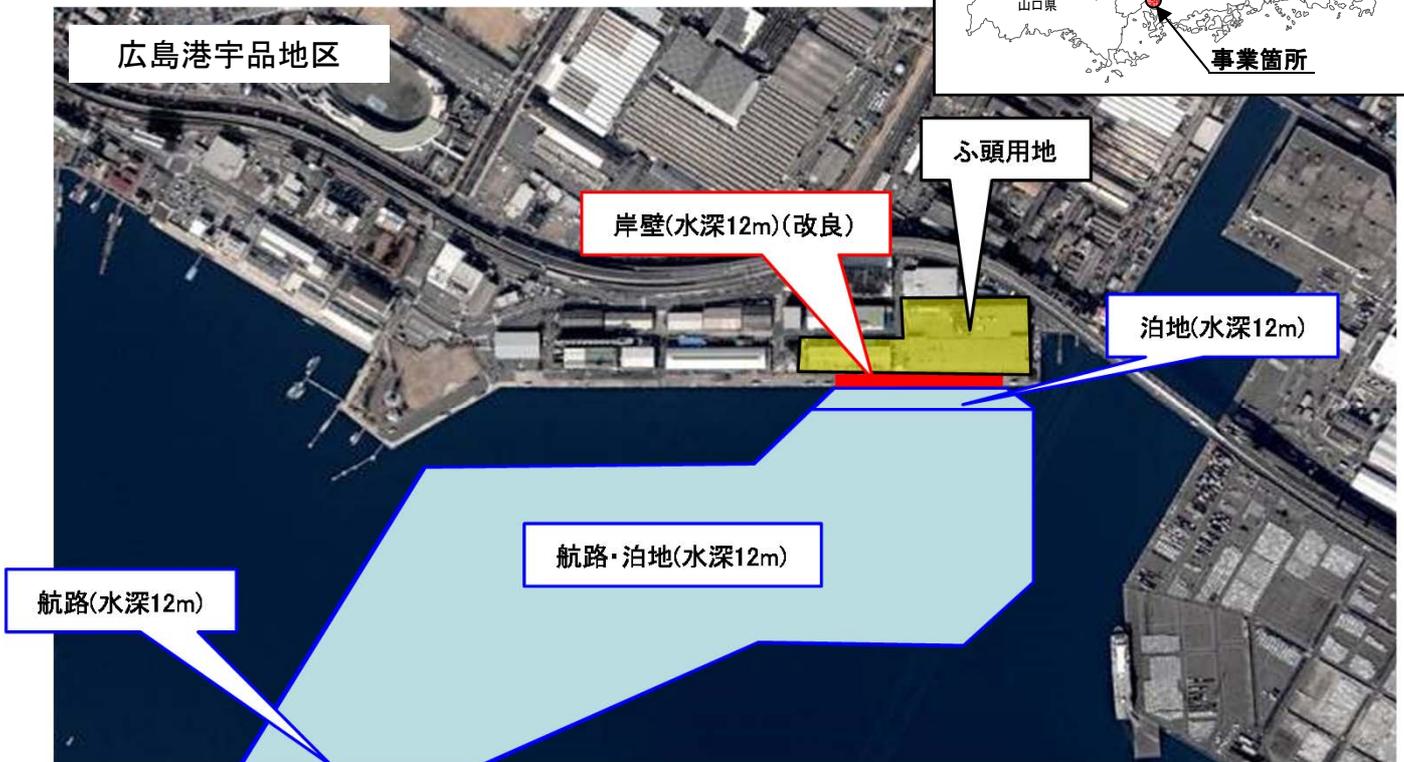
このため、自動車運搬船の大型化や完成自動車の輸出増大に早期に対応するため、既存ストックを有効活用したふ頭再編を行います。

2. 事業箇所

広島県広島市

3. 平成27年度 予定事業内容

岸壁(水深12m)(改良)の整備に必要な調査・設計を実施します。



4. 期待される整備効果

本事業により、完成自動車、自動車部品及びRORO貨物の効率的な海上輸送を実現し、地域基幹産業の国際競争力の維持・強化を図ります。

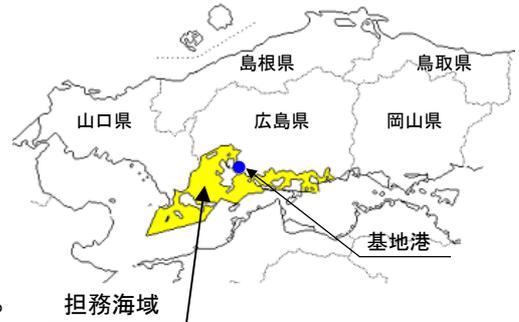
1. 事業の必要性及び概要

事業推進

海面清掃船「おんど2000」により、『航行船舶の安全確保』『海洋の汚染の防除』を目的に、海面に浮遊するごみの回収を実施します。

2. 事業箇所

広島県福山市沖 ~ 山口県柳井市沖



3. 平成27年度 予定事業内容

担務海域(2,400km²)内の海面浮遊ごみの回収を実施します。



海面清掃船「おんど2000」

H26.8.21撮影

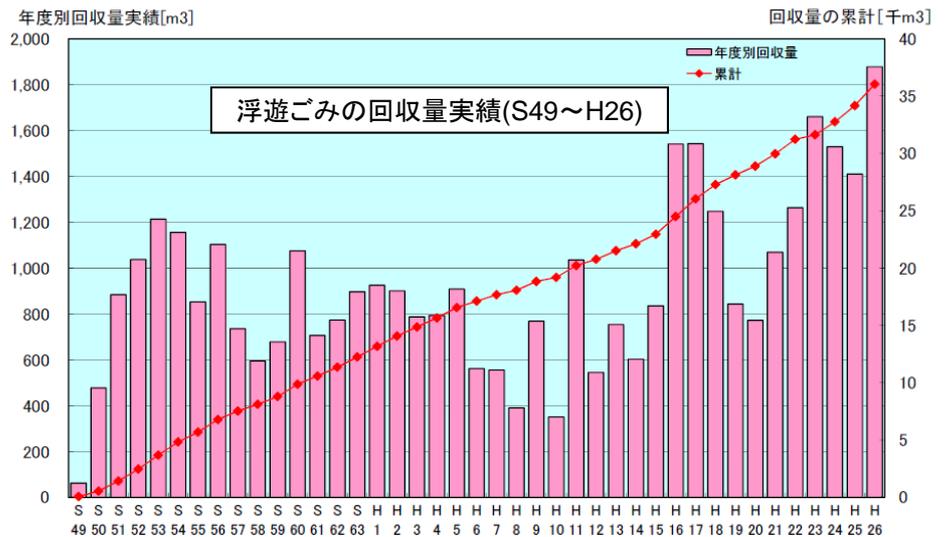


流木の回収状況

H26.8.25撮影

海面清掃船「おんど2000」諸元

1. 全長 30.70m
2. 全幅 11.60m
3. 深さ 3.34m
4. 総トン数 144トン
5. 航行速力 14.5ノット
6. 機関出力 749kW×2台
7. ごみコンテナ 25m³×2台



4. 期待される整備効果

本事業により、流木などを原因とする海難事故を未然に防ぎ、また、海岸等に漂着するごみの低減にもつながることから、航行船舶の安全確保や海洋の汚染の防除に寄与しています。

老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

広島空港は、中国地方の拠点空港であり、背後圏の経済活動を支える重要な役割を担っています。

しかし、滑走路及び誘導路については、前回の舗装から約10年が経過し、舗装の経年劣化による強度低下やひび割れなどが確認されたことから、航空機の安全運航を維持するため、老朽化した舗装の改良工事を行います。

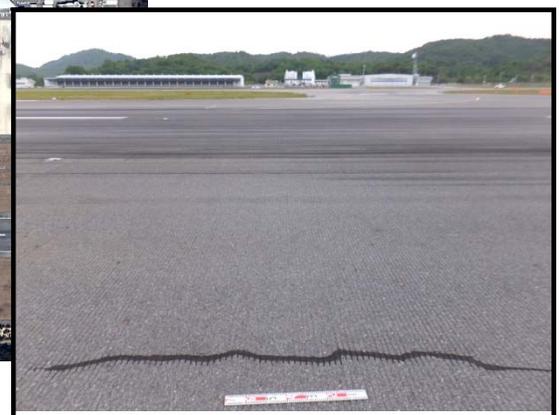
2. 事業箇所

広島県三原市本郷町



3. 平成27年度予定事業内容

滑走路及び誘導路について、痛んだ舗装を切削した後、新たに舗装を行います。



舗装表面の経年劣化によるひび割れの発生

4. 期待される整備効果

航空機の安全かつ安定した運航を確保することができるため、今後も国際・国内航空ネットワークの拠点としての重要な機能を発揮することができます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

近年、背後企業の生産設備、発電設備等の増強に伴い、発電用燃料の石炭輸入が増加しているものの、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深が不足していることから、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、新南陽地区^{しんなんよう}および徳山地区^{とくやま}において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

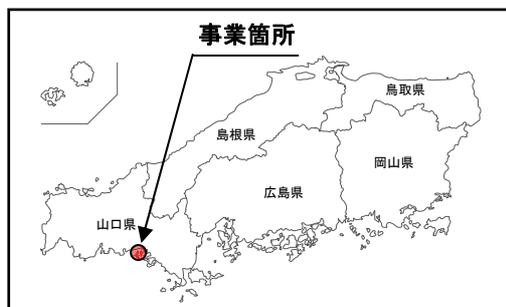
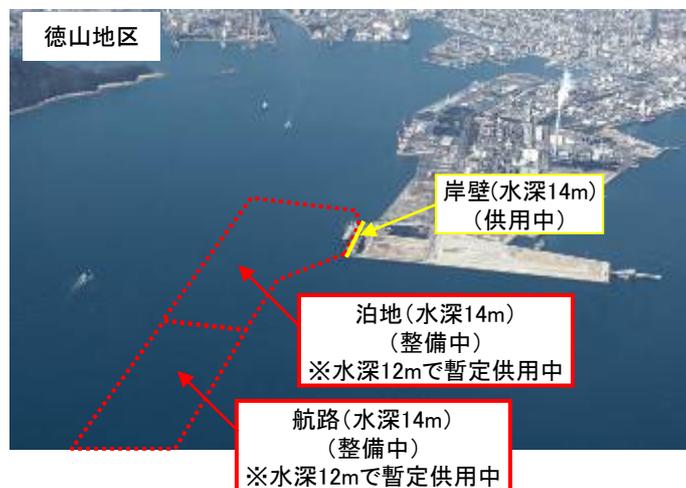
2. 事業箇所

山口県周南市

3. 平成27年度 予定事業内容

新南陽地区：航路（水深12m）、泊地（水深12m）の浚渫工事等を推進します。

徳山地区：航路（水深14m）、泊地（水深14m）の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

**H27完成予定
(部分)**

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県岩国市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度部分完成に向け、臨港道路の基礎工事、舗装工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

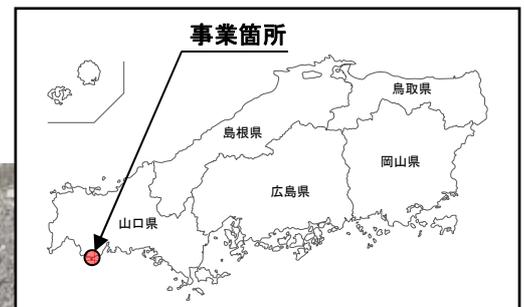
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市

3. 平成27年度 予定事業内容

航路(水深13m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

高度成長期に集中的に整備された港湾施設については、今後一斉に老朽化を迎えることが予測され、これにより、社会資本のライフサイクルコストの増大、老朽化を起因とした事故等による国民への公共サービスの低下などが大きな課題とされています。

このため、老朽化により港湾機能に支障が生じないように、効率的・戦略的な港湾施設の老朽化対策を実施します。

2. 事業箇所

広島港(広島県広島市、安芸郡坂町)、呉港(広島県呉市)、徳山下松港(山口県光市)、岩国港(山口県岩国市)、三田尻中関港(山口県防府市)、宇部港(山口県宇部市)

3. 平成27年度 予定事業内容

広島港(直轄事業):老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な調査・設計を実施します。

呉港(直轄事業):老朽化した岸壁(水深10m)の舗装工事等を実施します。

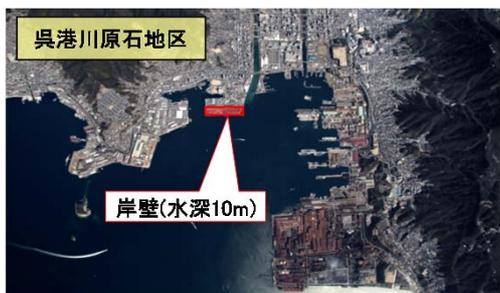
徳山下松港(山口県事業):老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な調査・設計、基礎工事を実施します。

岩国港(直轄事業):老朽化した岸壁(水深10m)の本体工事を実施します。

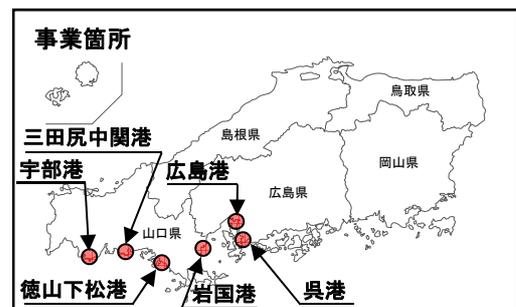
岩国港(山口県事業):老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な調査・設計を実施します。

三田尻中関港(山口県事業):老朽化した岸壁(水深7.5m)の本体工事、地盤改良工事、老朽化した橋梁の対策に必要な調査・設計を実施します。

宇部港(直轄事業):老朽化した岸壁(水深13m)の上部工事等を実施します。



老朽化しエプロンに亀裂が生じた岸壁



老朽化しエプロンに段差が生じた岸壁

港湾施設の老朽化状況の一例:呉港川原石地区岸壁(水深10m)

4. 期待される整備効果

本事業により、既設港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

～官庁施設の老朽化対策～

鳥取第3地方合同庁舎は、建設後37年が経過しており老朽化の進行を防ぐ必要があることから、長寿命化のために躯体の保護や建物ライフライン設備の機能維持などの改修を計画的に実施することで、トータルコストを縮減する。

新規着手



2. 事業箇所

鳥取県鳥取市吉方109

3. 平成27年度 予定事業内容

■ 構造・規模

庁舎：鉄筋コンクリート造3階建
延べ面積 3,017㎡
車庫：鉄筋コンクリート造平屋建
309㎡

■ 入居官署

鳥取地方気象台
他3官署

■ 工事概要

◆ 庁舎

屋根防水改修
建具改修
給排水衛生設備改修

◆ 車庫

外壁改修

■ 整備予定年度

平成27～28年度



鳥取第3地方合同庁舎(現況)

1. 事業の必要性及び概要

～官庁施設の耐震化対策～

水島港湾合同庁舎2号館は、災害応急対策活動拠点としての所要の耐震性能が確保されていないことから、緊急に耐震改修を実施し、災害発生時における災害応急対策活動の拠点として機能確保を図ります。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市水島福崎町2-15

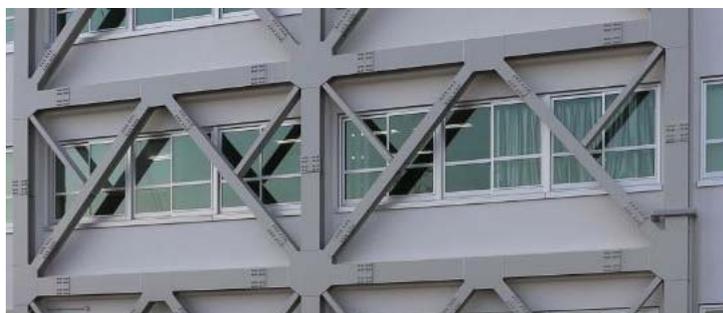
3. 平成27年度予定事業内容

平成27年度の完成に向け、工事を推進します。

完成予定



水島港湾合同庁舎2号館現況外観



補強イメージ

【整備概要】

- 構造・規模
鉄筋コンクリート造6階地下1階建
延べ面積 2,889㎡
- 入居官署
水島海上保安部
他2官署
- 耐震工法
 - ◆ 南北面
外付鉄骨フレーム補強
 - ◆ 内部
柱コンクリート巻き補強
壁梁炭素繊維巻補強
- 整備予定年度
平成26～27年度

地域居住機能再生推進事業(岡山市)

都-1

事業費1,548百万円

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

さくら住座(昭和28年度築 72戸)をはじめとする市営住宅等の建替事業及びその他団地の改善事業について、順次関係団体と連携を図り、適切な管理戸数を確保するとともに、生活支援施設の誘致等により地域の居住機能の再生を推進します。

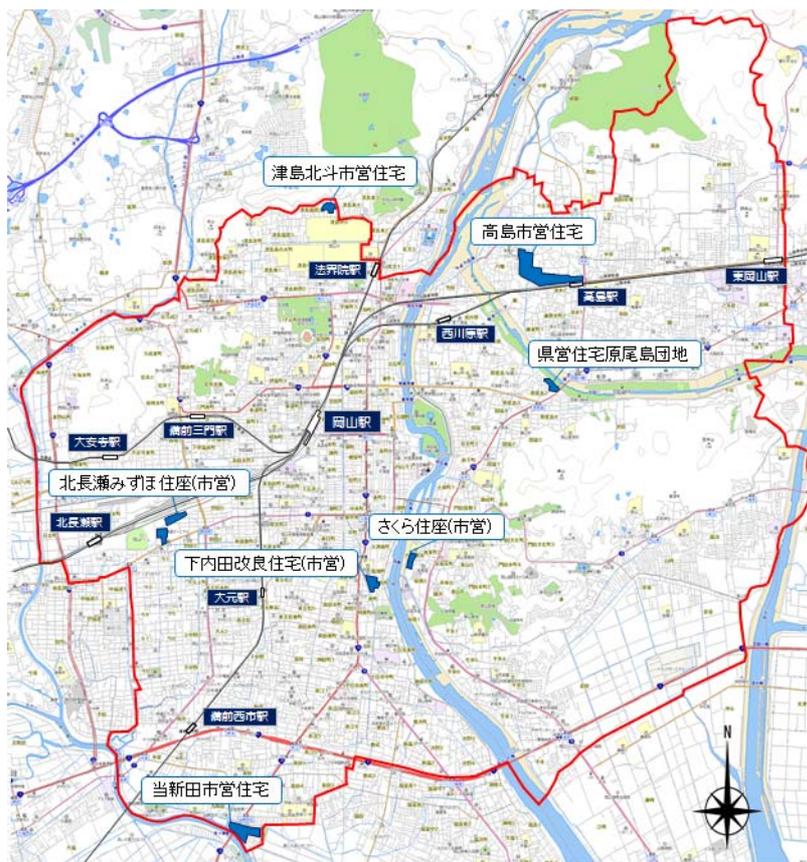
2. 事業箇所

岡山県岡山市中心地区



3. 平成27年度 予定事業内容

建替(本体工事)1団地、建替(設計)1団地



4. 期待される整備効果

- ・老朽化した市営住宅の建替により、耐震性等の安全性確保。
- ・団地戸数の適正化を図り、併せて余剰地への生活支援施設を誘致することにより、地域の居住機能の再生。

Ⅲ. 社会資本総合整備事業の概要

1. 社会資本総合整備事業

◇社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

◇活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備等を総合的・一体的に支援。

◇平成24年度補正予算において、地方公共団体が行う、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するため、防災・安全交付金を創設。

2. 予算の概要

社会資本総合整備事業関係 [2, 637億円 (1.03)]
(再掲)

※「社会資本総合整備事業」は、「社会資本整備総合交付金」、「防災・安全交付金」をいう。

社会資本総合整備事業については、地方公共団体等が作成した社会資本総合整備計画に基づき、同計画の目標を実現するための事業に対し、地方公共団体の要望を踏まえ、下記の方針のとおり所要額を配分します。

1. 社会資本整備総合交付金

経済・地域の活性化を推進する観点から、都市・地域の競争力を強化する成長基盤の整備、「コンパクト＋ネットワーク」の推進や豊かな生活環境の整備、観光・産業振興の取組の強化など、PPP/PFIの活用等により官民の多様な関係者が連携して取り組む、あるいは民間投資を喚起する総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

2. 防災・安全交付金

国土強靱化等の取組により国民の安全・安心の確保を推進する観点から、頻発する風水害・土砂災害や大規模地震・津波に対する総合的な防災・減災対策、インフラ長寿命化計画を踏まえた総合的な老朽化対策等を緊急に進める総合的な整備計画に対して重点配分を行います。

その際、以下の整備計画への配分に特に配慮します。

- 各事業の重点配分の対象事業を総合的に組み合わせて以下のイメージのように横串・大括り化した整備計画
 - ・ 防災・減災に関する総合的な計画に基づき、広域的かつ関係機関が共同して分野横断的に、ハード・ソフト事業に取り組む整備計画
 - ・ インフラ長寿命化基本計画の考え方に則って、地方公共団体の区域内のインフラを総点検した上で、地方公共団体等が策定した長寿命化計画に基づいて取り組む整備計画
- 効果促進事業を効果的に組み合わせて効率的に目標を達成する創意工夫がなされている整備計画

■都道府県・政令市が管理する道路の平成27年度開通予定事業
【改築事業】

防災・安全交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画	
				計画名	配分国費 [百万円]
鳥取県	鳥取市	(主) 鳥取河原用瀬線 (横原工区)	0.7	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
鳥取県	鳥取市佐治町	(一) 小河内加茂線 (福園工区)	0.7	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
鳥取県	鳥取市	(主) 鳥取河原用瀬線 (金原工区)	0.3	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
鳥取県	米子市	(一) 東福原樋口線 (濱田橋)	0.1	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
鳥取県	米子市	(主) 米子大山線 (尾高～岡成工区)	0.9	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
鳥取県	江府町	(国) 482号 (江尾工区)	0.2	安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出	6,432
島根県	邑南町	(主) 浜田作木線 雷田工区	2.4	災害に強く、安全安心な暮らしを守る道路整備 (防災・安全)	5,778
島根県	出雲市	(都) 神門通り線	0.5	島根県内市街地における通学路の安全対策	1,154
岡山県	真庭市	(国) 313号 北房拡幅	0.2	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現 (防災・安全)	4,187
岡山県	真庭市	(国) 313号 仲間拡幅	0.7	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現 (防災・安全)	4,187
岡山県	倉敷市	(一) 下原船穂線 (柳井原)	0.6	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現 (防災・安全)	4,187
広島県	庄原市	(都) 高小路線 1工区 (一) 中領家庄原線	0.4	安全・安心な通学路の確保	2,832
山口県	周防大島町	(国) 437号 久賀拡幅	0.4	子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり	2,402
山口県	美祢市	(主) 美祢油谷線 日永工区	1.0	子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり	2,402
山口県	下関市	(主) 豊浦清末線 阿内中組工区	0.7	だれもが安心して快適に通行できる交通環境をめざしたやまぐちのみちづくり	1,411

社会資本整備総合交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画	
				計画名	配分国費 [百万円]
鳥取県	鳥取市	(主) 鳥取河原線 (菖蒲工区)	1.1	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	鳥取市	(主) 倉吉川上青谷線 (澄水工区)	0.5	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	鳥取市	(都) 滝山桜谷線	1.0	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	八頭町	(一) 大坪集停車場線 (大坪工区)	1.0	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	琴浦町	(主) 東伯野添線 (下伊勢工区)	0.8	高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援	688
鳥取県	北栄町	(主) 倉吉由良線 (瀬戸工区)	2.0	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	伯耆町	(一) 大山高原スマートインター線	0.2	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	米子市	(一) 米子岸本線 (古市工区)	0.4	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	江府町	(国) 482号 (助沢工区)	0.2	交通の円滑化による地域活性化支援	961
鳥取県	日南町	(主) 新見日南線 (生山工区)	0.1	交通の円滑化による地域活性化支援	961
島根県	松江市	(国) 432号 大庭バイパス2工区	0.7	産業活動を支えるIC等の重要交通拠点へアクセスする道路の整備	2,115
岡山県	倉敷市	(一) 吉備津松島線 (足守川橋梁)	0.3	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,780
岡山県	倉敷市	(一) 柳井原上二万線 (柳井原～上二万)	0.7	晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,780
岡山県	美咲町	(主) 久米建部線 (境)	0.5	岡山県における晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,780
岡山県	倉敷市	(主) 勝山栗原線 (佐引2工区)	0.8	岡山県における晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現	1,780
広島県	東広島市	(都) 吉行飯田線 3工区 (一) 飯田吉行線	0.4	高速道路IC等へのアクセス向上による新たな経済成長	1,265
山口県	岩国市	(主) 岩国玖珂線 欽明路～柳井田上工区	2.3	高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり	861
山口県	上関町	(主) 光上関線 赤石工区	0.2	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,644
山口県	宇部市	(国) 490号 宇部拡幅	0.7	高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり	861
山口県	美祢市	(主) 美祢油谷線 日永工区	0.6	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,644
山口県	下関市	(一) 下関川棚線 吉見工区	1.3	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,644
岡山市	岡山市	(一) 吉備津松島線	0.6	都市の成長力・競争力向上のための都市基盤整備	508

社会資本総合整備事業(鳥取県)

交-1

事業費32,130百万円

(社会資本整備総合交付金10,019百万円、防災・安全交付金22,111百万円)

●社会資本整備総合交付金

○交通の円滑化による地域活性化支援

【鳥取県】 計画期間:H25~H29

地域間において交通の難所となっている箇所への道路整備を行い、交通の円滑化を図るとともに、県内の主要観光地へのアクセスの向上を図り、活力のある地域づくりのための基盤整備を図ります。

○鳥取県における流域一体となった総合的な水域の安全・安心対策の推進

【鳥取県及び5市町】 計画期間:H27~H31

地球温暖化に伴う集中豪雨の多発、海面上昇、都市化の進展による被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な水域の対策を実施することにより、災害に強い地域を作るとともに、良好な水質環境を保持した安心安全な市民生活の確保を図ることを目標とした下水道事業を行います。

○鳥取県社会資本総合整備計画(地域住宅計画Ⅱ期)

【鳥取県】 計画期間:H23~H27

1. 事業の必要性及び概要

「真の住宅困窮者の居住の安定のための住宅セーフティーネットの構築」「安全・安心・快適な住まいづくり、まちづくりの実現」「地域と地場産業の活性化のため、県産材の活用など地域に根ざした住まいづくりの推進」を目標とした住宅事業を行います。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●県営住宅の建替(木造低層化)



【建替前】



【建替後(イメージ)】

●防災・安全交付金

○鳥取県における流域一体となった総合的な水域の安全・安心対策の推進(防災・安全)

【鳥取県及び15市町】 計画期間:H27~H31

地球温暖化に伴う集中豪雨の多発、海面上昇、都市化の進展による被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な水域の対策を実施することにより、災害に強い地域を作るとともに、良好な水資源環境を保持した安全安心な県民生活の確保を図ります。

○安全で安心できる生活空間の整備による「あんしん鳥取」の創出

【鳥取県及び19市町村】 計画期間:H27~H31

鳥取県は、平成12年鳥取県西部地震以降、安全で安心できる生活空間の整備を求められており、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、安全で安心できる幅広い生活空間を創出します。

○鳥取県管理港湾及び境港における物流機能向上・施設の長寿命化による安全・安心な港湾環境の創出(防災・安全)

【鳥取県及び境港管理組合】 計画期間:H27~H31

1. 事業の必要性及び概要

鳥取自動車道や山陰道、米子自動車道等の高速道路網に近接する鳥取県管理港湾(鳥取港・田後港・米子港)及び境港は海陸交通の結節点であり、物流拠点や地域の重要な基盤産業である漁業の基地港としての役割が今まで以上に期待されています。経年劣化による老朽化が進行している港湾施設の改良を行うことにより、海上物流機能の確保や施設の延命化を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)

港湾施設の維持管理計画に基づき既存の港湾施設の補修及を行い、施設の長寿命化を図り、港湾施設利用の利便性・安全性の向上を図ります。

また、鳥取港では、賀露地区の物揚場(-4m)及び物揚場(-3m)の補修を行います。



施設利用状況写真



老朽化現況写真

エプロン部の陥没



鋼管杭の老朽化



社会資本総合整備事業(島根県)

交-2

事業費47,208百万円

(社会資本整備総合交付金15,752百万円、防災・安全交付金31,456百万円)

●社会資本整備総合交付金

○江津駅前のにぎわいの再生

【島根県及び江津市】 計画期間:H24~H28

中心市街地である江津駅前周辺は、鉄道の敷設とともに発展してきたが、近年ではJR江津駅利用者の減少、空き店舗の発生や大型店舗の撤去等により商業機能が低下し、大規模低未利用地や居住人口の減少などの問題を抱えています。また、周辺道路の未整備もあいまって、地域住民や来訪者の回遊性に乏しく、賑わいが失われつつあります。

これらの課題に対応し、町中の利便性と回遊性を向上させるとともに、都市福利施設の移転集約を図り、あらゆる人が訪れ、交流できる賑わい空間を実現させていきます。

○地域資源を活かした地域の活性化と安心安全な生活を支える基盤整備

【島根県】 計画期間:H26~H30

豊富な地域資源を活かした地域の活性化を支え、ここに生活する人々の産業活動と安心安全な生活を支える基盤整備を進め、豊かで活気のある地域を形成します。

○尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上にむけた広域観光活性化計画

【島根県(広島県と連携)】 計画期間:H25~H29

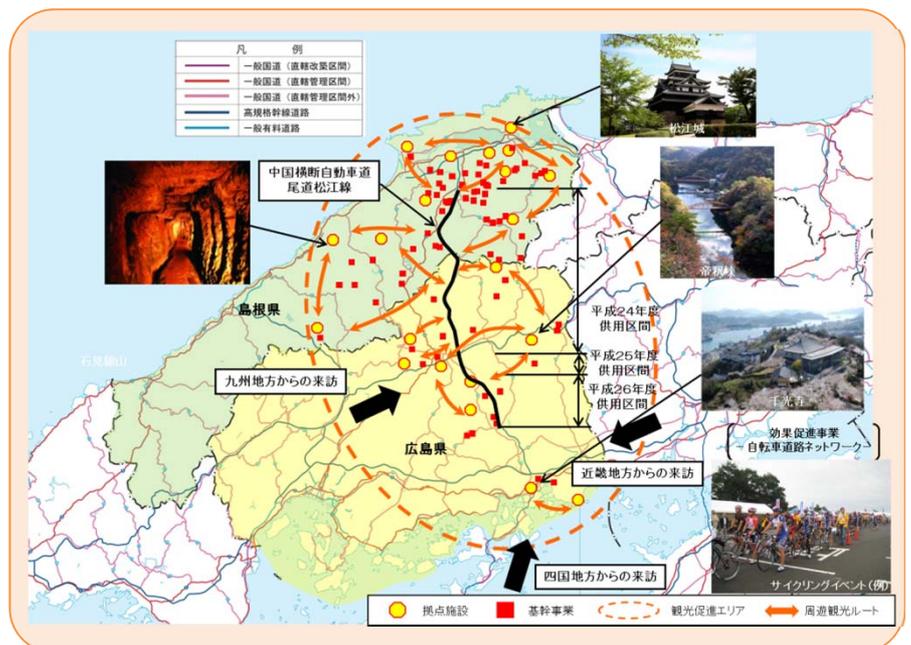
1. 事業の必要性及び概要

「風光明媚な鞆の浦」、「世界遺産の石見銀山」、「尾道市周辺の神社仏閣」といった歴史的資産など多くの観光施設を有する広島県と島根県が連携し、広域的な周遊観光ルートを形成することにより、広く地域外からの来訪者の増加を図り地域の活性化に寄与します。

このため、観光地周辺の道路を整備し尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)

尾道松江線のインターチェンジと観光文化資源をつなぐ交通ネットワークの強化や観光地周辺の環境整備



●防災・安全交付金

○総合的な水の安全・安心基盤整備(防災・安全)

【島根県、2市町及び境港管理組合】 計画期間:H27~H31

総合的な水の安全・安心基盤整備を実施することにより、清らかで親しみやすい水環境の創造と、災害に強い地域を作り、安全・安心で快適な生活の確保を図ります。

○島根県安全で安心できる住まい・まちづくり計画(地域住宅計画 第2期島根県地域)

【島根県及び19市町村】 計画期間:H24~H28

公営住宅の整備、密集市街地における老朽建築物の耐震化等を実施することにより、安全で安心な居住環境づくりを行います。

○島根県における下水道事業の推進(防災・安全)

【島根県及び10市町】 計画期間:H27~H30

1. 事業の必要性及び概要

浸水対策の推進により安全・安心な地域の形成を目指すとともに、処理場における長寿命化対策を計画的に実施します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●老朽化した下水道設備の更新



【島根県宍道湖東部浄化センター全景】



(汚泥掻き寄せ機)

【経年劣化にともなう腐食状況】

社会資本総合整備事業(岡山県)

交-3

事業費44,855百万円

(社会資本整備総合交付金19,399百万円、防災・安全交付金25,457百万円)

●社会資本整備総合交付金

○晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現

【岡山県及び15市町村】 計画期間:H26~H30

ICアクセス道整備や渋滞対策、隘路対策等を実施し、物流円滑化により地域を支える産業の振興を図るとともに、道路交通網の強化により安心して豊かさが実感できる地域の創造を図り、生き生き岡山を実現します。

○安全・安心で快適な緑あふれる公園整備の推進

【倉敷市】 計画期間:H24~H28

老朽化した施設の改良を行い、公園施設の長寿命化及び機能性・安全性の向上を図ります。

○庭園都市おかやま水環境整備計画

【岡山市】 計画期間:H27~H31

1. 事業の必要性及び概要

下水道の整備により、公衆衛生を向上させ快適な生活環境を創出し、旭川等の河川や児島湖及び児島湾の水質保全に寄与し、水と緑が魅せる心豊かな庭園都市の創造を目指します。

2. 事業内容(代表事業箇所)

●下水道整備による水質改善



【岡山駅周辺】



【水質の改善によりホタルが生息】

【能登川用水路】

●防災・安全交付金

○川の安全安心確保による「生き生き岡山」の実現(防災・安全)

【岡山県及び2市】 計画期間:H27~H29

ゲリラ的集中豪雨や大型台風による水害を軽減するための河川改修や、ダム、水門、排水機場などの河川管理施設を適切に運用するための老朽化対策を推進し、川の安全安心を確保することにより、全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」を実現します。

○岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画(防災・安全)

【岡山県】 計画期間:H27~H31

老朽化した施設の改良を行い、港湾施設の長寿命化及び機能性・安全性の向上を図ります。

○晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現(防災・安全)

【岡山県及び26市町村】 計画期間:H26~H30

1. 事業の必要性及び概要

「道路の防災・震災対策」や「歩道整備・交差点改良等による交通事故防止対策」等の命と暮らしを守るインフラ再構築及び生活空間の確保に資する施設の整備・更新を行い、安心して豊かさが実感できる地域の創造を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)



社会資本総合整備事業(広島県)

交-4

事業費78,879百万円

(社会資本整備総合交付金36,782百万円、防災・安全交付金42,097百万円)

●社会資本整備総合交付金

○広島都市圏及び備後都市圏の中核拠点機能向上と周辺地域の魅力ある地域づくりの支援

【広島県及び17市町】 計画期間:H26~H30

地域間を結ぶ道路のアクセス性強化や、生活に密着した道路の円滑化を図ることにより、連携機能や生活利便性を高め、地域の自立と活性化を支援します。また、交通インフラの整備・充実を図ることにより、観光地へのアクセス性を強化し、集客・交流機能を高めます。

○まちづくりを支援する骨格道路等整備

【広島市】 計画期間:H22~H27

骨格道路の整備を核としたまちづくりを目指している都市再生整備計画地区等において、関連する道路整備等を行い、暮らしやコミュニティーに配慮した、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進します。

広島駅周辺地区(新都心成長点)では、拠点機能を強化し、陸の玄関にふさわしい新たな賑わい空間の創出を図ります。

○広島駅南口地区の再生とにぎわいの創出

【広島市】 計画期間:H23~H28

1. 事業の必要性及び概要

広島駅南口B・Cブロック地区は、広島市の交通結節点として重要な位置にありながら、老朽建築物が密集して有効な土地利用がなされていない状況にあります。

そこで、本地区において市街地再開発事業を施行し、建築物の不燃化と土地の高度利用を推進して都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生します。

また、地区の再生とあわせて歩行者空間を整備し、回遊性の向上とにぎわいの創出を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)

広島駅南口Bブロック



外観イメージ

広島駅南口Cブロック



外観イメージ

●防災・安全交付金

○広島県における安全・安心な道づくり

【広島県及び20市町】 計画期間：H25～H29

地震や頻発する風水害・土砂災害に対する防災・減災対策及び道路ストックの点検・老朽化対策の実施と、通学路の交通安全事業及び無電柱化事業の推進を図り、道路利用者にとって安全・安心な道づくりを目指します。

○安全で安心な都市生活をささえる下水道事業(防災・安全)

【広島市】 計画期間：H23～H27

集中豪雨に備えた内水排除のための浸水対策や老朽化した施設の改築更新及び地震時における下水道施設の機能確保を目的とした地震対策などの下水道整備を行い、「災害につよいまちづくりの推進」を図ります。

○広島県域における県土一体となった総合的な土砂災害対策の推進(防災・安全)

【広島県】 計画期間：H27～H31

全国で最も土砂災害危険箇所が多い広島県では、8.20土砂災害の早期復旧・復興を目指しハード対策のより一層の推進を図るとともに、県民に向けた土砂災害情報の提供等のソフト対策を併せた土砂災害対策を積極的に行うことにより、近年多発する豪雨災害に対して安全で安心な県土を築きます。

○土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進

【広島県】 計画期間：H26～H30

1. 事業の必要性及び概要

平成26年8月豪雨により広島市北部で発生した土砂災害等を踏まえ、土砂災害防止法が改正されました。最も土砂災害危険箇所が多い広島県では、土砂災害防止法に基づく基礎調査を積極的に行うことにより、近年多発する豪雨に対して安全で安心な県土を築きます。

2. 事業内容

●基礎調査の実施

渓流や斜面など土砂災害により被害を受ける恐れのある区域の地形、地質、土地利用状況についての調査を実施。



写真：国土地理院提供(H26.8.20撮影)

H26.8月豪雨被災状況

社会資本総合整備事業(山口県)

交-5

事業費60,610百万円

(社会資本整備総合交付金21,575百万円、防災・安全交付金39,035百万円)

●社会資本整備総合交付金

○高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり

【山口県】 計画期間:H25~H29

山陽自動車道・中国自動車道のインターチェンジや岩国錦帯橋空港等の高速交通拠点及び港湾等の物流拠点へのアクセス道路を整備することで、瀬戸内の基幹産業の強化や観光産業の振興を図ります。

○山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり

【山口県】 計画期間:H25~H29

国内物流ターミナル等の整備により、内貿貨物の集約による物流コスト削減や地域の活性化を図り、山口県の産業力・観光力の強化を目指します。

○新山口駅周辺における機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

【山口県】 計画期間:H27~H31

1. 事業の必要性及び概要

新山口駅周辺は、山口県のほぼ中央に位置する交通の要衝、陸の玄関として、新山口駅の駅南地区を中心に広域的なエリアを管轄する事業所やホテル等の集積が進み、経済・産業部門における広域的な拠点性を高めています。

駅前広場をはじめとした都市基盤の整備を行うことにより、「山口らしさ」を考慮した市及び県の玄関としてふさわしい都市空間を創出するとともに、周辺地域の回遊性、交流に配慮した整備を行い、利用者の利便性やにぎわいの向上を図ります。

2. 事業内容(代表事業箇所)



【整備前】



新山口駅完成イメージ

●防災・安全交付金

○山口県における総合的な水の安全・安心基盤整備の推進(防災・安全)

【山口県及び17市町】 計画期間:H25~H29

平成21年7月中国・九州北部豪雨や平成25年7月豪雨などにより近年浸水被害や土砂災害が各地で多発している現状を踏まえ、県下一円でハード整備とソフト対策を一体的に推進することにより、県民の生命と財産を守り、県土の保全と活用を図ります。

○山口県における住宅・建築物安全性向上計画

【山口県及び19市町】 計画期間:H25~H29

住宅確保要配慮者の居住の安定を確保するため、地域の実情に応じた適切な住宅セーフティーネットの構築を図ります。

○安心安全な山口県のみちせいび

【山口県】 計画期間:H25~H29

1. 事業の必要性及び概要

橋梁、トンネル等の定期点検や個別施設計画に基づく計画的な修繕・更新、耐震補強等を実施し、道路施設の長寿命化を図り、適確な老朽化対策を推進する。

2. 事業内容(代表事業箇所)

「一般国道437号・大島大橋工区

